

平成22年度

# 大分県地域リハビリテーション 活動報告書



大分県リハビリテーション支援センター

財団法人 厚生年金事業振興団

湯布院厚生年金病院

# 目 次

○はじめに .....	1
-------------	---

## ○大分県における支援体制

1. 大分県における地域リハビリテーション支援体制 .....	2
・大分県リハビリテーション支援センター運営部運用規程	
2. 県下関係機関との連携 .....	4
・三者会議運用規程、拡大運営会議運用規程、イメージ図	

## ○大分県リハビリテーション支援センター

1. 平成22年度大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ .....	9
2. 平成22年度実施事業の詳細 .....	10
3. 地域リハビリテーション関連活動報告 .....	15
4. 転倒予防プロジェクト班活動報告 .....	23
5. 山ぼうしの会活動報告 .....	24
6. 医科一歯科連携の構築 .....	25
7. 大分県転倒予防教室研究会活動報告 .....	28
8. おおいた食のリハビリテーション研究会活動報告 .....	29
9. 大分県訪問リハ・通所リハ研究会活動報告 .....	32
10. 大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会活動報告 .....	34
11. 資料 .....	35

資料1) H22年度地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修2日目グループワークのまとめ

資料2) H22年度地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修3日目グループワークのまとめ

資料3) 地域リハ調整者・地域リハ協力員 圏域別人数

## ○大分県リハビリテーション広域支援センター

・東部圏域 東国東地域 .....	51
・東部圏域 別杵速見地域 .....	54
・中部圏域 大分地域 .....	57
・中部圏域 白津地域 .....	59
・南部圏域 佐伯地域 .....	64
・豊肥圏域 大野地域 .....	70
・豊肥圏域 竹田地域 .....	72
・西部圏域 日田玖珠地域 .....	77
・北部圏域 中津地域 .....	82
・北部圏域 宇佐高田地域 .....	87

## ○県内職能団体活動報告（五十音順）

・大分県医療ソーシャルワーカー協会	93
・(社) 大分県栄養士会	95
・NPO法人 大分県介護支援専門員協会	97
・(一社) 大分県介護福祉士会	98
・(社) 大分県看護協会	100
・大分県言語聴覚士会	102
・(社) 大分県作業療法協会	104
・(社) 大分県歯科医師会	106
・(一社) 大分県歯科衛生士会	108
・大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会	110
・大分県地域リハビリテーション研究会	112
・(一社) 大分県病院協会	115
・(社) 大分県放射線技師会	119
・(社) 大分県薬剤師会	121
・(公社) 大分県理学療法士協会	123
・(社) 大分県臨床検査技師会	127
・(社) 大分県臨床工学技士会	129
・大分県臨床心理士会	131

## 連絡先一覧

1. 県リハセンター、広域支援センター所在地・連絡先	133
2. 県内職能団体連絡先	134
3. 介護保険サービス事業所連絡先一覧	135



## ごあいさつ

大分県リハビリテーション支援センター長 森 照明

大分県では、「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」が県単独事業へ移行した後も地域リハビリテーション活動による関係機関、関係職種のネットワーク推進の重要性を鑑み、引き続き事業を継続しています。これも一重に地域リハビリテーションの普及・発展の意義を理解し、ご支援を頂いております県行政のサポートがあるからと感謝しております。

さて、H22年3月に地域包括ケアシステム研究会から地域包括ケアシステム構築に関する報告書が出されました。ここに謳われている理念、そして具体的の方策の多くはこれまで私共が推し進めてきました「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業」と共通しており、これまで培ってきたネットワークは、地域包括ケアシステム構築の面からも極めて有効に活かせると考えます。このような考え方のもとH22年度県リハセンター事業は研修会において「地域包括ケア」という言葉を意識して使用してまいりました。関係者間では、少しづつではありますが高齢社会の道標として地域リハビリテーションの推進が不可欠であり、地域リハビリテーションの充実なくして地域包括ケアシステムの構築もありえないとの認識ができたものと考えます。

H23年度も広域支援センター、関係職能団体はもとより、地域包括支援センター、保健所、更には社会福祉協議会等との連携強化を図り、一層活動を推し進めてまいりたいと考えております。

さて、本冊子の作成にあたっては、昨年以上に各広域支援センターの取り組みの中で地域の実情に応じたユニークな取り組みを具体的に掲載するように工夫しました。また、この1冊を見れば地域リハビリテーションを支援して頂ける主要機関・団体等の連絡先が分かるように内容を充実させました。是非、ご一読されご活用下さいましたら幸いです。

これからも多くの皆様に大分県の地域リハビリテーション活動を知って頂くと共に、より一層地域リハビリテーション活動の輪が広がり地域包括ケアシステムの構築に向けて貢献していきたいと思います。どうぞ引き続き、温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後に、広域支援センター、県下専門職能団体（拡大運営会議構成団体※）の皆様のご協力を頂き本冊子を完成させることができましたことに対し、心より感謝申し上げます。

※P5参照

**湯布院厚生年金病院**  
**大分県リハビリテーション支援センター運営部**  
**運用規程**

(目的)

1. 大分県リハビリテーション支援センター（以下「県リハセンター」という）の円滑な事業運営を推進し、広域支援センターをはじめとする関係機関・関係団体との連携を図ることを目的とし、湯布院厚生年金病院に県リハセンター運営部（以下「運営部」という）を設置する。

(組織)

2. 病院長は県リハセンターの事業全般を統括・指揮する。副院長は病院長を補佐し、県リハセンターの円滑な事業運営を図るため、運営部長として運営部を管理・運営する。運営部に企画調整室、支援連携室を置く（組織図参照）。

(企画調整室)

3. 企画調整室は医局、看護部、リハビリテーション室、医療福祉相談室、事務局から病院長が指名する職員をもって構成し、事業計画の策定、事業内容の企画・調整、調査・研究等を担当する。また院内において、すでに活動している介護予防推進活動（転倒予防プロジェクト班、生活習慣病予防プロジェクト班、摂食・嚥下障害対策プロジェクト班）を県リハセンターの協同事業として位置づけ、各プロジェクト班の係と密接な連携を図る。なお、計画の策定にあたっては、大分県福祉保健部健康対策課ならびに大分県地域リハビリテーション研究会と連絡・連携を図るものとする。

(支援連携室)

4. 支援連携室はリハビリテーション室、医療福祉相談室から病院長が指名する職員若干名をもって構成し、企画調整室で策定された事業計画の実施にあたるほか、県リハセンターの窓口として、関係機関・関係団体との連絡、調整等を行う。また、運営部としての事務を担当する。

(協力部門)

5. 医局、看護部及び診療協力機関の各部門（リハビリテーション室、医療福祉相談室、栄養部、薬剤部、臨床心理室）は、事業の円滑な実施が図られるよう、協力部門として積極的な事業協力をを行う。

(任期)

6. 企画調整室、支援連携室の職員の任期は原則として1年とする。ただし、任期満了の1ヵ月前までに病院長、職員双方から何らかの意思表示がないときは、任期を1年毎に延長するものとする。

(運営委員会)

7. 運営部の円滑な運営を図るため、運営委員会を置く。

(1)運営委員会は運営部長、企画調整室、支援連携室の職員で構成され、運営部長を議長とする。

(2)議長は原則として毎月1回定例の運営委員会を開催し、次の事項を審議する。

- ・事業計画、事業予算の検討、策定

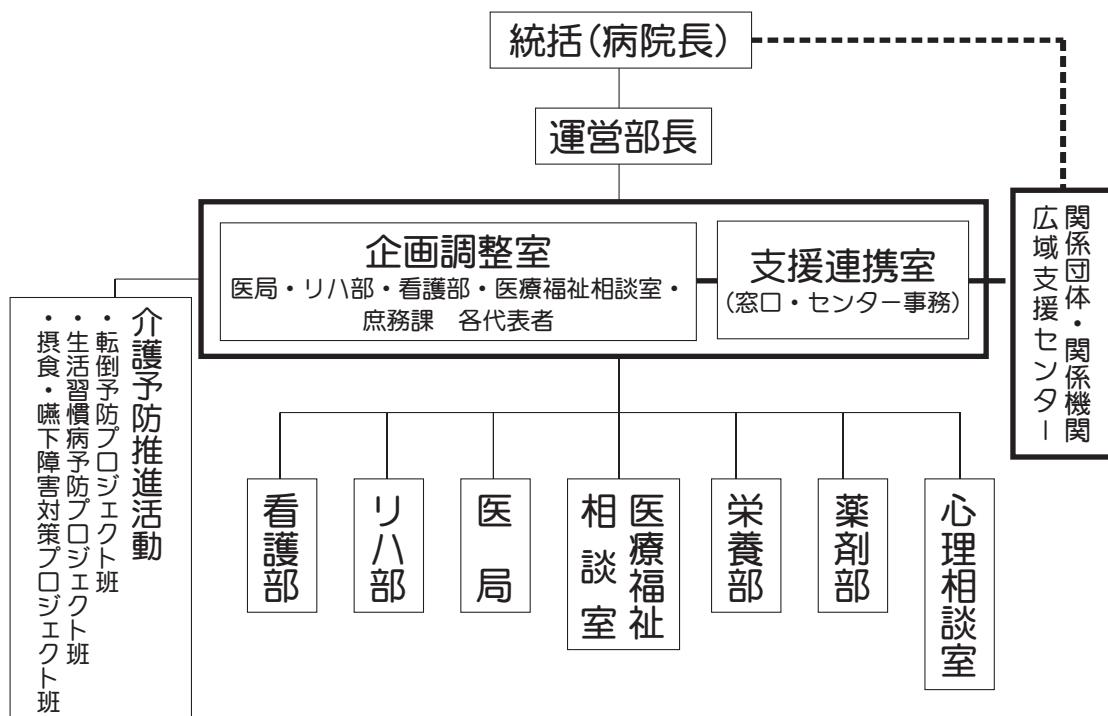
- ・事業内容の検討、実施
- ・研修計画の検討、実施
- ・関係機関、関係団体との連絡調整
- ・事業報告、事業決算の検討、策定
- ・その他必要な事項

(3)議長は必要に応じて臨時に運営委員会を開催できるものとする。

(4)議長は必要に応じて運営委員会に、協力部門等に所属する職員の出席を要請し、意見を聞くことができるものとする。

附 則 この運用規程は平成15年4月1日から施行する。

### 湯布院厚生年金病院 大分県リハビリテーション支援センター(県リハセンター)運営部の組織図



## 大分県・県リハセンター・広域支援センター合同会議（三者会議） 運用規定

### （目的）

1. 県下における地域リハビリテーション支援体制事業を、大分県・県リハセンター及び広域支援センターの3者が協調し地域の実情を踏まえバランス良く展開するための協議機関として大分県・県リハセンター・広域支援センター合同会議（略称：三者会議）を設置する。

### （構成）

2. 会議の構成は以下の通りとする。

- 1) 県健康対策課：代表者若干名

- 2) 県リハセンター：10名

（院長・副院長・事務局長・看護部長・企画調整室及び支援連携室職員）

- 3) 広域支援センター：各センター代表者1名

（希望があれば同伴者2名以内可能とする）

### （会議）

3. 会議の開催は原則年2回とする。

- 1) 会議には議長及び副議長を置く。議長は県リハセンター統括（院長）が務め、副議長は県リハセンター運営部長（副院長）が務める。

- 2) 副議長は、議長を補佐し事故あるときはその職務を代行する。

附 則 この運用規定は平成15年6月4日から施行する。

---

## 県リハセンター拡大運営会議（略称：拡大運営会議） 運用規定

### （目的）

1. 大分県リハビリテーション支援センターの事業立案に向けた情報収集、並びに事業の円滑な運営に向け、県内の保健・医療・福祉分野における専門職能団体間の緊密な協力と調整を図ることを目的に、県リハセンター拡大運営会議（略称：拡大運営会議）を設置する。

### （構成）

2. 会議の構成は、県リハセンター10名（院長・副院長・事務局長・看護部長・企画調整室及び支援連携室職員）、県健康対策課代表者若干名、及び必要と認める各種団体の代表者とする。各種団体については別に定める。

### （会議）

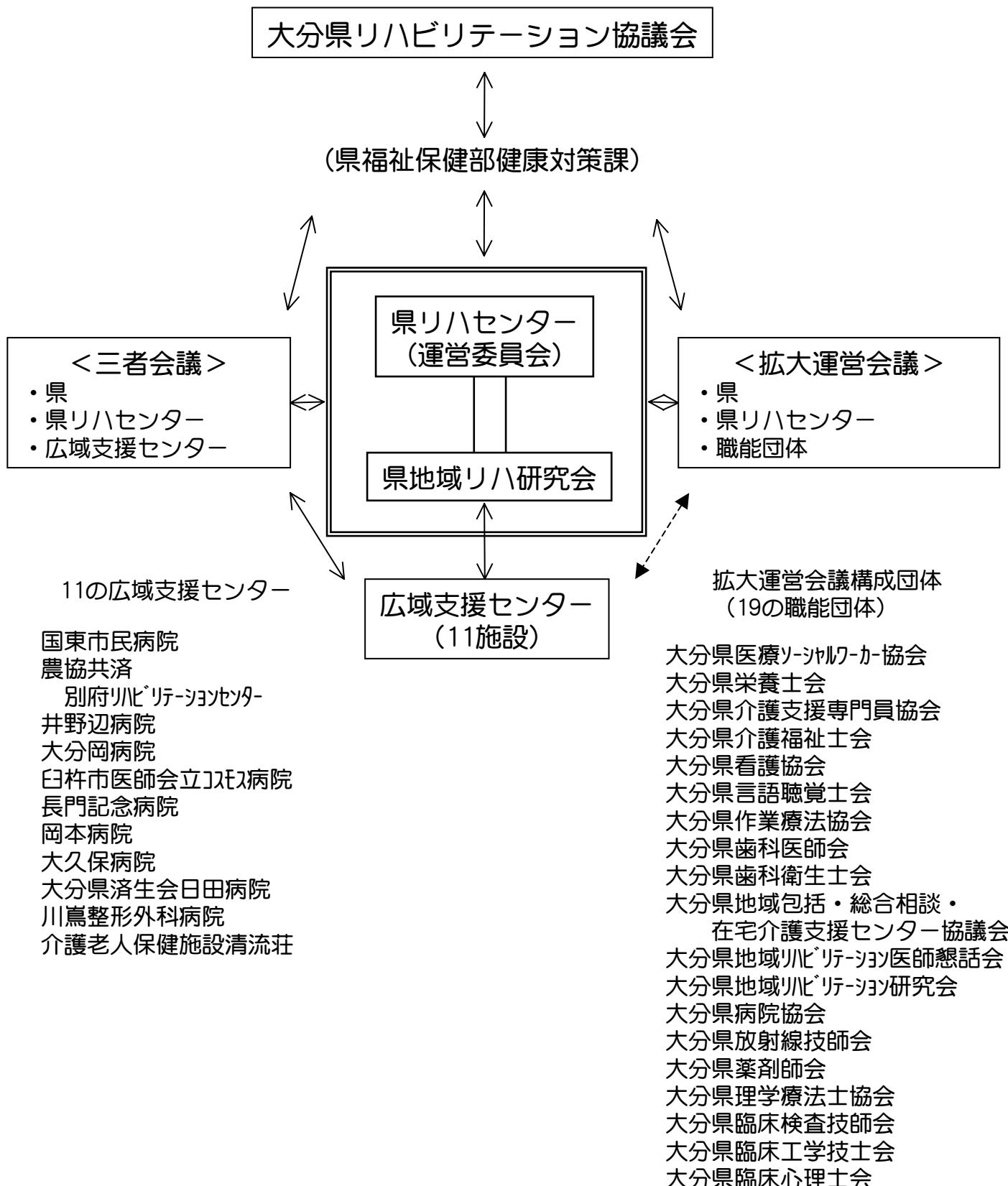
3. 会議の開催は、原則年1回とする。

- 1) 会議には議長及び副議長を置く。議長は県リハセンター統括（院長）が務め、副議長は県リハセンター運営部長（副院長）が務める。

- 2) 副議長は、議長を補佐し事故あるときはその職務を代行する。

附 則 この運用規定は平成15年11月12日から施行する。

## 三者会議・拡大運営会議の位置づけ



# 広域支援センター

介護老人保健施設清流荘(高橋・室)

宇佐市大字山本1658  
TEL:0978(33)5200

川島整形外科病院(島澤・杉木)

中津市宮夫14-1  
TEL:0979(24)0464

日田玖珠

大分県済生会日田病院(諫山・久恒)

日田市大字三和643-7  
TEL:0973(24)1100

大久保病院(甲斐・小河)

竹田市久住町大字栢木6026-2  
TEL:0974(64)7777

※()内は連絡担当窓口  
平成22年9月現在

国東市民病院(中村・石井)

国東市安岐町下原1456番地  
TEL:0978(67)1211

農協共済

別府リハビリテーションセンター(山形・毛井)

別府市大字鶴見字中山田1026-10  
TEL:0977(67)1711

井野辺病院(佐藤(豊秀)・佐藤(暁))

大分市大字中尾字平255番地  
TEL:097(586)5522

大分岡病院(山田・大塚)

大分市西鶴崎3-7-11  
TEL:097(522)3131

臼杵市医師会立  
コスモス病院(竹村・藤澤)

臼杵市大字戸室字長谷1131-1  
TEL:0972(62)5599

長門記念病院(土谷・河村)

佐伯市鶴岡町1-11-59  
TEL:0972(24)3000

湯布院厚生年金病院

<http://www.yufuin-hp.com>

大分県リハビリテーション支援センター支援連携室(稲積・梅野・日隈)

〒879-5193 大分県由布市湯布院町川南252

TEL : 0977(84)3171(代表) FAX : 0977(85)5880

## 「地域リハ調整者・地域リハ協力員」とは?

在宅の寝たきり老人等に対して、地域における社会資源を活用しつつ、一人ひとりの需要及び心身の状況等に応じて最も適していると認められるリハビリテーションサービスを提供するため、地域におけるリハビリテーションに関する調整相談及び指導等を行う者として、一定の研修を修了した者を言う。

### [地域リハ調整者の養成対象となる職種]

市町村、市町村直営の地域包括支援センター、保健所、地域リハビリテーション広域支援センター、県リハセンター所属の保健師、看護師、PT、OT、ST、社会福祉士、介護福祉士等

[研修修了者数] 平成22年度

11月末現在

地域リハ調整者 198名

### [地域リハ協力員の養成対象となる職種]

市町村直営以外の地域包括支援センター所属の保健師、看護師、社会福祉士等

地域リハ協力員 58名

## 地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会 (平成22年11月末現在)会員数 107名

事務局:由布市湯布院町川南252 湯布院厚生年金在宅総合ケアセンター“ムーミン”内 TEL:0977(84)3171(代表)

# **大分県リハビリテーション支援センター**

## **活動報告**



## 平成22年度大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ

月日	活動内容	派遣者
H22.4.28	第14回三者会議(由布市 湯布院厚生年金病院)	
5.12	第8回拡大運営会議(由布市 湯布院厚生年金病院)	
7.11	県リハセンター・県地域リハ研究会第7回合同研修会 …地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修1日目を兼ねる	
7.14	大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会  平成22年度第1回役員会(大分市)	MSW稻積
6.26～27	全国地域リハビリテーション研究会研修大会in札幌	センター長(森院長) 運営部長 PT永徳
8.1	第5回目標指向的介護・リハ研修会(由布市 湯布院厚生年金病院)	
8.5	大分県脳卒中回復期維持期地域連携推進協議会	センター長
9.11	宇佐高田地域リハ広域支援センター研修会	センター長 日隈技師長
9.15	地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修2日目(由布市 湯布院厚生年金病院)	
9.27	大分県介護予防市町村支援委員会  平成22年度第1回運動機能向上専門部会(大分市)	センター長 桑野副院長
10.3	第17回大分地域リハ広域支援センター研修会	日隈技師長
10.13	第15回三者会議(由布市 湯布院厚生年金病院)	
10.28	大分県介護予防市町村支援委員会(大分市)	センター長
10.31	第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会(由布市 はさま未来館)  主催:県地域リハ研究会 共催:県リハセンター	
11.17	地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修3日目(由布市 湯布院厚生年金病院)	
11.24	中津地域広域支援センター連絡協議会(中津市)	運営部長
11.20.	豊肥圏域竹田地域広域支援センター第7回研修会講師(竹田市)	転倒予防教室プロジェクト班より3名
11.30.	平成21年度大分県介護予防市町村支援委員会  第1回運動機能向上専門部会(大分市)	センター長 桑野副院長
12.1	第2回実務者会議(由布市 湯布院厚生年金病院)	
H23.1.25	大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会  平成22年度第2回役員会(大分市)	MSW稻積
2.6	第18回大分地域リハ広域支援センター研修会	日隈技師長 MSW稻積
2.18	大分県リハビリテーション協議会(大分市)	センター長
2.27	第1回地域包括ケアシステム研修会(由布市 湯布院厚生年金病院)	
3.6	中津地域リハ広域支援センター研修会	MSW稻積
3.14	大分県介護予防市町村支援委員会(大分市)	センター長
3.14	大分県地域リハビリテーション研究会 第16回役員会(大分市)	運営部長
3.18	別杵速見地域リハ広域支援センター研修会	主任PT梅野
3.23	平成22年度福祉用具・住宅改修事業者協議会(大分市)	主任PT梅野

※中部圏域大分地域で2カ月に1回程度開催される実行委員会へ梅野主任PTが出席している。

※大分県地域リハビリテーション研究会が開催する運営部会へ主任PT梅野またはMSW稻積が出席している。

※県リハセンターでは毎月第2火曜日に運営委員会を実施している。

## 平成 22 年度実施事業の詳細

### (1) 第 14 回三者会議

日 時：平成 22 年 4 月 28 日(水)

場 所：湯布院厚生年金病院保健学習棟 研修室

出席者：県健康対策課より佐藤参事、池邊課長補佐

　広域支援センター代表者

　地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会より衛藤会長

主な議題：県リハセンター並びに広域支援センターの H21 年度活動報告

　本事業に対する県の方向性について

　県リハセンター並びに広域支援センターの H22 年度活動計画

### (2) 第 8 回拡大運営会議

日 時：平成 22 年 5 月 12 日(水)

場 所：湯布院厚生年金病院保健学習棟 研修室

出席者：県健康対策課より藤内課長、佐藤参事、池邊課長補佐、関係団体代表者

主な議題：H21 年度県リハセンター並びに広域支援センター活動報告の紹介

　H22 年度県リハセンター並びに広域支援センター事業計画の紹介

　本事業に対する県の方向性について

　地域リハ活動の普及に向けた各職能団体の取り組み等の報告

### (3) 第 7 回合同研修会(大分県地域リハビリテーション研究会共催)

日 時：平成 22 年 7 月 11 日(日)

場 所：別府ビーコンプラザ 国際会議場

内 容：

①H21 年度地域リハビリテーション活動報告と H22 年度の事業計画

　県リハセンター及び広域支援センター代表者

②講演「地域包括ケアシステム構築に向けて

　～介護支援専門員の取り組みと地域リハビリテーション活動～」

　講 師：日本介護専門員協会 会長 木村隆次 先生

③シンポジウム「地域連携を考える～認知症を地域でどう支えるか～」

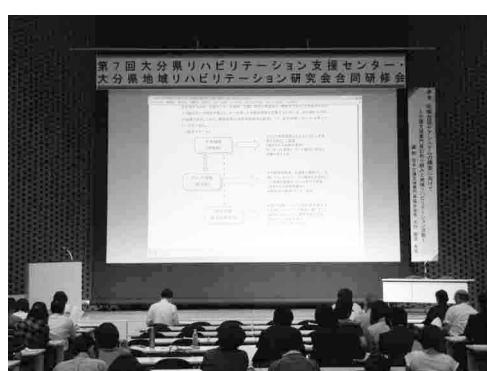
　シンポジスト：(社)大分県看護協会 松本まり

　大分県言語聴覚士会 佐藤英未映

　大分県介護福祉士会 梶原キヌ子

　大分県医療ソーシャルワーカー協会 井元哲也

参加者数：約 290 名



#### (4) 第5回目標指向的介護技術講習会

日 時：平成22年8月1日(日)

場 所：湯布院厚生年金病院 教育室

参加者数：81名

内 容：

講義1 「ICFと目標指向的介護・リハ」

講師：湯布院厚生年金病院 リハ部 部長 佐藤浩二

講義2 「目標指向的介護・リハの実践に向けた看護」

講師：湯布院厚生年金病院 看護部 看護師長 古椎久美

講義3 「目標指向的介護・リハにおける理学療法士のあるべき姿」

講師：湯布院厚生年金病院 リハ部 理学療法士 渡辺亜紀

講義4 「目標指向的介護・リハにおける作業療法士のあるべき姿」

講師：湯布院厚生年金病院 リハ部 作業療法士 矢野高正

講義5 「目標指向的介護・リハにおける言語聴覚士のあるべき姿」

講師：湯布院厚生年金病院 リハ部 言語聴覚士 木村暢夫

ミニ講座1 「歩行補助具の診方と活用方法」

講師：湯布院厚生年金病院 リハ部 理学療法士 黒瀬一郎

ミニ講座2 「福祉用具の活用と住環境整備」

講師：湯布院厚生年金病院 リハ部 作業療法士 太田有美

総合討論



#### (5) 第15回第三者会議

日 時：平成22年10月13日(水)

場 所：湯布院厚生年金病院保健学習棟 研修室

出席者：県健康対策課より佐藤参事、池邊課長補佐、広域支援センター代表者

主な議題：今年度事業の進捗状況報告

県より報告・相談

H22年度事業計画策定に向けて

(6) 第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会（県リハセンター共催）

日 時：平成22年10月31日(日)

場 所：はさま未来館

参加数：195名

テーマ：「くらしを支えるリハビリテーション～ネットワークを深めよう～」

内 容：

(午前)

特別講演「高齢者・障害者のくらしを支える住環境」

講師：大分大学工学部福祉環境工学科 准教授 鈴木義弘先生

シンポジウム「高齢者・障害者が安心して暮らせる街づくり」

シンポジスト：

大分県地域福祉推進室 室長 河野成典

大分県介護支援専門員協会 栗原洋一

NPO法人自立支援センターおおいた 五反田法行

(午後)

口述発表、ポスター発表

(7) 平成22年度地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修

日 時：平成22年7月11日(日)、9月15日(水)、11月17日(水)

場 所：(1日目) 別府ビーコンプラザ

(2・3日目) 湯布院厚生年金病院

2日目内容：講義、グループワーク

講義1「地域リハビリテーション支援体制整備推進事業のこれまでの

取り組みとその成果～地域リハビリテーション推進指針を踏まえて～」

講師：大分県健康対策課 参事 佐藤玉枝

講義2「地域リハ調整者・地域リハ協力員への期待

～これまでの経過を踏まえて～」

講師：湯布院厚生年金病院 名誉院長 有田 真

講義3「戦略的地域づくりについて考える」

講師：兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター西播磨病院

リハビリテーション科部長 総合相談・地域連携室室長 逢坂悟郎

グループワーク

3日目内容：グループワーク

※今年度は22名の地域リハ調整者、10名の地域リハ協力員(市町村から委託された地域包括支援センター職員の場合)が誕生し、養成総数は256名となった。

※養成研修におけるグループワーク内容の要約資料「養成研修グループワークのまとめ」(資料1・2)及び「地域リハ調整者・地域リハ協力員圏域別人数」(資料2)を巻末に添付した。



## (8) 第2回実務者会議

日 時：平成 22 年 12 月 1 日(水)

場 所：湯布院厚生年金病院

出席者：県健康対策課より佐藤参事、高齢者福祉課より前田課長補佐、甲斐主幹  
広域支援センター実務担当者

主な議題：H23 年度事業計画策定にあたって

## (9) 第1回地域包括ケアシステム研修会

日 時：平成 23 年 2 月 27 日(日)

場 所：湯布院厚生年金病院

参加数：126 名

(内訳：医師 2 名、看護師 8 名、保健師 17 名、PT9 名、OT9 名、ST7 名  
社会福祉士・相談員 10 名、介護支援専門員 22 名、その他・職種不明 18 名)

内 容：

講義 1 「医療機関と介護支援専門員・介護サービス事業者との連携  
～医療機関から望むこと～」

講師：湯布院厚生年金病院 副院長 桑野慎一郎

講義 2 「医療機関と介護支援専門員・介護サービス事業者との連携  
～介護支援専門員・介護サービス事業者から望むこと～」

講師：九重町社会福祉協議会 介護支援専門員 熊谷京子

講義 3 「地域連携に向けた大分県の取り組み」

講師：大分県福祉保健企画課 主幹 甲斐優子

講義 4 「ICF でつなぐリハビリテーション（総合）実施計画書とケアプラン」

講師：在宅総合ケアセンター“ムーミン” 介護支援専門員 日隈武治

講義 5 「地域リハ調整者の活躍の可能性について」

講師：豊後大野市保健福祉部健康推進課 衛藤浩子

(大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会会長)

総合討論 ①情報提供のあり方

②サービス担当者会議が果たすもの

③ケアプランに求めるもの をテーマに意見交換



# 地域リハビリテーション関連活動報告

## I. 転倒予防教室

派遣日	派遣先	用 務	派遣者職種
H22. 6.15	湯布院町	転倒予防教室	転倒予防班
7.22	別府市	転倒予防教室	転倒予防班
10. 7	湯布院町	転倒予防教室	転倒予防班
11. 6	湯布院町	転倒予防教室	転倒予防班
11.25	宇佐市	転倒予防教室	転倒予防班
H23. 2.15	湯布院町	転倒予防教室	転倒予防班
2.23	宇佐市	転倒予防教室	転倒予防班
3. 2	宇佐市	転倒予防教室	転倒予防班

## II. 地域支援事業

派遣日	派遣先	用 務	派遣者職種
H22.10.19～12.28のうち3回	湯布院町(1クール目)	地域支援事業	転倒予防班
H23.1.18～3.29のうち3回	湯布院町(2クール目)	地域支援事業	転倒予防班

## III. 研修会等の講師派遣

派遣日	派遣先	用 務	派遣者職種
H22. 4.12	大分市	第8回グラフ化体重日記研究会 「単純性肥満と摂食障害：食行動異常の質的差異と相互移行の可能性について」	医師
4.12	宇佐市	九州総合スポーツカレッジ講義	院長
4.16	日田市	日田市立東部中学校へ講師「中体連に勝つ！メンタルトレーニング」	院長
4.16・23	福岡県福岡市	麻生リハビリテーション専門学校へ非常勤講師「失語症IV(臨床Ⅱ)」	リハ副部長
4.25	中津市	中津歯科医師会による研修会の講師	リハ副部長他1名
4.25	大分市	「アセスメント、ニーズの把握の方法」	リハ技師長
5. 8・15	延岡市	「臨床特論」	リハ部長
5.14	大分市	第18回大分心臓リハビリテーションセミナーの座長	医師
5.14	別府市	畠病院へ医療安全講演「医療安全～クレーム対応～」	院長
5.15～16	由布市	がん診療に関わる医師を対象とした緩和ケア研修会	臨床心理士
5.16	大分市	地域医療懇話会にて「地域連携バスの現状について」	副院長
5.18	竹田市	竹田高校にて講演	院長
5.19	大分市	大分南高校へ講義「ベストコンディションで戦うために～健康管理と危機管理～」	院長
5.22・23 6.26・27	別府市	平成21年度合格者介護支援専門員実務研修2組の講師	リハ技師長
6. 5	日田市	日田市東部中学校卓球メンタルトレーニング講義	院長
6. 7	宇佐市	九州総合スポーツカレッジ講義	院長
6.10	大分市	実習指導案演習オリエンテーション	看護師
6.25	湯布院町	難病患者・家族相談会における講師	PT
6.26	別府市	別府大学懇談会開催に伴う講師	栄養士
6.27	別府市	がん診療に関わる医師を対象とした緩和ケア研修会「コミュニケーションについて」	臨床心理士
6.29	庄内町	難病患者・家族相談会における講師	PT
7. 2	由布市	「メタボリックシンドロームとその予防」	医師
7.2・8・8.19	大分市	大分県社会福祉介護研修センターへ平成22年度摂食嚥下セミナーの講師	リハ副部長
7. 3	大分市	「地域作業療法」	リハ技師長
7. 3	日田市	日田ボーリング連盟メンタルトレーニング	院長
7. 4	大分市	ホームヘルパー2級養成講座「医学の基礎知識」	院長
7. 8	大分市	大分県社会福祉介護研修センターへ講師「摂食・嚥下障害患者をもつ、患者の介護」	看護師長
7. 8	由布市	鶴見高校先生へメンタルトレーニング講義	院長
7.11	日田市	津江中学校家庭教育講演会の講師「自分で作る元気な体、自分で守る自分の体、運動・栄養・睡眠」	院長
7.14	宮崎県延岡市	九州保健福祉大学 言語聴覚療法学科の講師 「ICFの視点に立った自立支援と言語聴覚療法－制度のなかの回復期リハ病棟、失語症訓練の立案と実践」	ST
7.15	大分市	大分県社会福祉介護研修センターへ講師として	主任PT他2名
7.16～17	宮崎県日南市	宮崎県立日南病院 医療安全講演の講師	院長
7.20	九重町	九重町「みなみの風」施設内研修会の講師「脳卒中後のコミュニケーション障害と対応方法」	ST
7.22	別府市	鉄輪長寿セミナー「かいごの学校」の講師「リハビリと運動について」	主任OT他1名
7.24	大分市	井野辺病院 医療安全研修会の講師	副看護部長他3名
7.24～25	福岡県福岡市	脳卒中患者の作業療法～急性期、回復期から地域生活につなげる理論と臨床実践について～	リハ部長
7.24～25	福岡県福岡市	認定作業療法士に求められるもの	主任OT
7.25	別府市	大分乳がんの会 オードリーの会にて「がんと上手に向き合うために」	臨床心理士
7.25	大分市	職業倫理	リハ技師長
7.27	大分市	佐賀関病院の院内研修会の講師「回復期リハ病棟における看護師の役割」	看護師長
7.28	大分市	大分県社会福祉介護研修センターにおいて大分食のリハビリ研究会の講師	歯科衛生士
8. 1	由布市	「ICFと目標指向的介護・リハ」	リハ部長他5名

8. 1	大分市	大分県社会福祉介護研修センターにおいて摂食嚥下セミナーの講師	ST2名
8. 3	日田市	日田市教育庁教育センターにおいて「メンタルトレーニング講座」	院長
8. 7	別府市	青山高校内にてシンクロメンタルトレーニングの講師	院長
8. 8	由布市	口腔ケア時のリスク管理	看護師長
8. 8	大分市	歯科衛生士と嚥下障害の取り組みについて	リハ副部長
8.19	大分市	「摂食嚥下障害の取り組みをいかに現場に落とし込むか」	リハ副部長
8.20	大分市	学校職員研修・講義	院長
8.23	豊後大野市	豊後大野市学校教育振興協議会における教育講演会の講師	院長
8.26	別府市	鉄輪長寿セミナー「かいごの学校」の講師 「食べることと健康づくり」	リハ副部長
8.28	宇佐市	ヘルパー2級講座の「医学の基礎知識」の講師	院長
9. 4	山梨県甲府市	山梨県甲府病院講演「臨床脳スポーツ医学の現状と課題」	院長
9. 6	杵築市	平成22年度杵築市杵築中央公民館において「中央女性講座」第2回学習会の講師	院長
9. 7	玖珠郡玖珠町	大分県西部保健所による看護連携強化フォーラムの講師	看護師
9. 9	大分市	大分県作業療法協会による研修会の講師「通所系サービスと作業療法」	リハ部長
9.10	福岡県久留米市	医療法人天神会古賀病院21へ職員研修会の講師	臨床心理士
9.16~17	東京都	中堅看護師研修会の講師「摂食嚥下障害の看護」	看護師長
9.18	大分市	ボーリングメンタルトレーニング講義	院長
9.24	大分県大分市	附属中学校メンタルトレーニング講義	院長
9.24	臼杵市	社会福祉法人同心会 職員研修会の講師「良くする介護のあり方、食べることを通じて」	リハ副部長
9.26	大分県日田市	がん診療に関わる医師を対象とした緩和ケア研修会	臨床心理士
9.27	由布市	介護予防における口腔機能向上の取り組み	主任ST
10. 5	玖珠郡玖珠町	うつへの対応	臨床心理士
10.7~11.4	由布市	中部保健所由布保健部によつ平成22年度「生命と看護の授業」の講師	看護師
10.20	大分市	大分県立大分西高等学校へ講師「職業人に学ぶ“リハビリ”ってどんな仕事！？」	PT
10.22	大分市	日本ペーリングガーアイネルハイムによる社内勉強会の講師	医師
10.24	大分市	ホームヘルパー2級講座「医学の基礎知識」	院長
10.25	大分市	摂食嚥下障害およびコミュニケーション障害のリハ・ケア	リハ副部長
11. 1	大分市	大分県立看護科学大学講演「看護に必要な医療安全」	院長
11.1~4	大分市	在宅医療技術管理演習(訪問看護認定看護師教育課程の講師)	看護師長
11. 2	別府市	医療安全管理勉強会講演	院長
11. 5	別府市	高次脳機能障がい支援者養成研修会	MSW
11.10	由布市	由布市健康増進課によるアクティブヘルス教室の講師	医師
11.10	大分市	大分県立看護科学大学講演「事例から学ぶ医療安全」	院長
11.10	豊後大野市犬飼町	有料老人ホームケンコーによる職員研修会の講師「食のリハ・ケアについて」	リハ副部長
11.10	宇佐市	介護予防～転倒予防について(骨密度)～、転倒予防の実技指導	GT
11.11	日田市	大分県西部保健所による看護連携強化フォーラムの講師	看護師
11.12	佐賀県佐賀市	運動部活動指導者研修会講演	院長
11.16	宇佐市	九州総合スポーツカレッジ講義	院長
11.17	由布市	アクティブヘルス教室	医師
11.17	由布市	由布市健康増進課によるアクティブヘルス教室の講師	医師
11.18	大分市	伊予銀行大分支店講演「ベストコンディションでベストパフォーマンスを発揮する方法」	院長
11.19	由布市	由布市健康増進課によるアクティブヘルス教室の講師	医師
11.19	福岡県北九州市	第26回NPO法人日本脳神経外科血管内治療学会 学術総会コメディカル教育セミナーの講師	看護師長
11.19	杵築市	杵築高校講演「ベストパフォーマンス心技体知の向上をめざして」	院長
11.21	由布市湯布院町	並柳自治区産業文化祭記念講演会	医師
11.21	大分市	作業療法の可能性	OT
11.22	佐伯市	南海病院医療安全講演「事例に学ぶ医療安全～あなたならどうする～」	院長
11.23	別府市	食のリハビリテーション	リハ副部長
11.24	別府市	鶴見病院医療安全講演	院長
11.25	大分市	大分県立看護科学大学へ講師 「言語障害及び嚥下障害の援助について」	リハ副部長
12. 1	大分市	大分県立看護科学大学講演	院長
12. 1	大分市	第2回介護予防関連事業従事者研修会の講師「口腔機能向上の意義」	リハ副部長
12. 2	別府市	がん患者とその家族への支援-心のつらさの理解と援助的コミュニケーション	臨床心理士
12. 3	大分市	大分大学医学部第三次生臨床講義の講師「心身症」	医師
12. 3	大分市	労災保険情報センター研修会講演	院長
12. 3	別府市	別府自衛隊病院医療安全研修会講演	院長
12.10	東京都	医療安全対策・各病院の取り組み(医療安全管理者養成講習会)	副看護部長
12.14	宇佐市	九州総合スポーツカレッジ講義	院長
12.18	由布市	日田剣道部メンタルトレーニング講義	院長
12.19	別府市	介護支援専門員が求める言語聴覚士について	リハ技師長
H23. 1.14	別府市	大分県青色申告会連合会女性部による研修会の講師「医療機関における社会福祉士の役割」	MSW
1.15	大分市	ボーリングメンタルトレーニング講義	院長
1.18	宇佐市	九州総合スポーツカレッジ講義	院長
1.18~2.1	大分市	平成22年度介護支援専門員実務従事者基礎研修の講師「サービス担当者会議について」	リハ技師長
1.21	大分市	大分県看護協会において平成22年度研修会の講師「摂食・嚥下障害のリハ・ケア」	リハ副部長

1.23・2.19・20	大分市	平成22年度介護支援専門員実務研修の講師「介護サービス計画の作成とチームアプローチ」	リハ技師長
1.26	由布市	大分県中部保健所による福祉施設栄養士研修会の講師「嚥下障害の病態」	リハ副部長
1.29	大分市	空手トレーニング事業	院長
1.30	大分市	2級ホームヘルパー講義	院長
2. 4	別府市	うつとその対応(こころの健康づくり講演)	臨床心理士
2.10	宮崎県宮崎市	医療安全研修会「患者暴言暴力への対応～模擬患者と共に事例に学ぶ～」	院長
2.14	別府市	嚥下障害患者と看護師の関わり	看護師長
2.18	大分市	大分県看護協会の講師	看護師
2.19	東京都	日本理学療法士協会による平成22年度通所系リハビリテーション研修会の講師 「通所系リハと訪問リハの一體的サービスの提供の重要性とその効果」	PT
2.22	大野圏域	やさしく理解する地域リハビリテーション	リハ部長
2.23～25	大分県別府市	医療安全体制について	副看護部長
2.25	延岡市	包括的言語機能評価と日常生活評価	ST
2.27	由布市	ICFで繋ぐ介護サービス計画とりハ総合実施計画書	リハ技師長
3. 1	別府市	国際ライ&メディカルコミュニケーション協会講師	院長
3. 7	大分市	嚥下アセスメントと摂食訓練	看護師長
3.11	大分市	大分県看護協会の講師	看護師
3.14	大分市	嚥下アセスメントと摂食訓練	看護師長
3.23	別府市	別府中央病院医療安全講義	院長
3.24	大分市	大分リハビリテーション専門学校において特別講義の講師「ICFの臨床的応用」	リハ副部長

#### IV.研修会・学会、講演会等出席

派遣日	派遣先	用 務	派遣者職種
H22.4. 9	大分市	大分県看護協会による社会経済福祉委員会	看護師
4. 9	福岡県福岡市	福岡国際医療福祉学院において平成22年度理学療法学科臨床実習指導者会議	主任PT
4.10	北九州市	北九州リハ学院において平成22年度臨床実習Ⅱ指導者会議	PT・OT
4.10～11	沖縄県	沖縄リハ福祉学院において理学療法学科平成22年度長期実習指導者会議	PT
4.16	長崎県大村市	長崎リハビリテーション学院において平成22年度言語療法臨床実習指導者会議	ST
4.17	大分市	高次脳機能障害特別講演会	院長
4.17	熊本市	熊本保健科学大学へ臨床実習指導者会議	主任PT
4.17	三重町	藤華医療技術専門学校へ平成22年度作業療法士学科臨床実習指導者会議	OT
4.17	大分市	大分リハビリテーション専門学校の平成22年度臨床実習指導者会議	ST
4.17～18	沖縄県	沖縄リハ福祉学院において平成22年度言語聴覚学科臨床実習指導者会議	ST
4.20	庄内町	第1回由布地区看護ネットワーク推進会議	看護部長
4.22	庄内町	地域ささえあい事業・地域支援事業等に係る事業者説明会	リハ技師長他1名
4.22～24	兵庫県神戸市	第54回日本リウマチ学会総会	医師
4.23	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会・平成22年度第1回看護全体委員会	看護師長
4.23～24	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会・理事会・POS委員会	リハ部長
4.24	福岡県福岡市	麻生リハビリテーション専門学校において平成22年度言語聴覚学科臨床実習指導者会議	ST
4.24	大分市	大分県看護協会による平成22年度実習指導者講習会・講師運営委員合同打合せ会議	主任看護師
4.24	神戸市	神戸医療福祉専門学校須磨校による平成22年度言語聴覚科臨床実習指導者会議	ST
4.24～25	熊本県	九州看護福祉大学において平成22年度臨床実習指導者会議及びセミナーの開催	主任PT
4.24～2.12	大分市	平成22年度レクレーション・インストラクター養成講習会	CW2名
5.7～9.24	大分市	第18回認定看護管理者教育課程ファーストレベル	主任看護師2名
5.14	大分市	第18回大分心臓リハセミナー	看護師
5.15	大分市	大分SP協議会総会	院長
5.17	大分市	中部圏域大分地域リハビリ広域支援センター実行委員会	主任PT
5.17～7. 9	大分市	平成22年度実習指導者講習会	看護師
5.18	大分市	老健協会第1回通常理事会・同第1回報行役員会	リハ部長
5.20～22	鹿児島市	第47回日本リハビリテーション医学会 学術集会	リハ部長他3名
5.21～22	東京都	公認スポーツファーマシスト認定制度基礎講習会	薬剤部長
5.22	福岡県福岡市	第3回医療関連感染対策セミナー	薬剤師
5.24	大分市	大分県地域リハ研究会 平成22年度第1回運営部会	MSW
5.25	大分市	平成22年度第1回大分脳卒中クリティカルパス情報交換会	副院長他4名
5.26	大分市	大分大学社会福祉援助技術現場実習及び精神保健福祉援助実習協議会	MSW
5.26～29	岐阜市	第45回日本理学療法学会	主任PT他4名
5.27～29	長崎市	第58回日本医療社会事業全国大会・第30回日本医療社会事業学会	MSW
5.29～30	東京都	平成22年度感染制御講習会(第1クール)	看護師他2名
6. 3	大分市	大分県急性心筋梗塞医療連携協議会	医師
6. 3	大分市	大分県看護研修センターにおいて専従リスクマネージャー会	副看護部長
6. 4～6	横浜市	第10回日本整形外科看護研究会学術集会	看護師2名
6. 4～7	大阪府	平成22年度認定輸血検査技師合同研修会	臨床検査技師
6. 5	福岡県福岡市	福岡国際医療福祉学院において平成22年度言語聴覚科臨床実習指導者会議	ST
6. 7～9	横浜市	第22回気管支鏡セミナー・第33回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	医師
6.10～12	札幌市	第12回日本医療マネジメント学会学術総会	主任PT他3名

6.10～13	仙台市	第44回日本作業療法学会	リハ部長他3名
6.14	大分市	大分県地域リハ研究会 平成22年度第2回運営部会	主任PT
6.15	庄内町	第2回由布地区看護ネットワーク推進会議	看護部長
6.16	豊後大野市	豊後大野市地域包括支援センター研修会	地域連携室長他2名
6.18～20	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会 POS委員会・第18回リハスタッフ研修運営	リハ部長他3名
6.19～20	東京都	第10回日本健康栄養システム学会	主任栄養士
6.21	大分市	大分県スポーツ学会・運営委員・専門委員会	リハ部長他5名
6.21～22	長崎市	長崎リハビリテーション病院へ歯科衛生士の業務の実際と医科～歯科連携等の見学研修	リハ副部長他1名
6.22	由布市庄内町	第3回由布物忘れネットワーク研修会	OT・CM2名
6.22～27	さいたま市大宮	第11回日本言語聴覚学会	リハ副部長他4名
6.23	庄内町	福祉施設栄養士研修会	主任栄養士
6.25～26	東京都	全国回復期リハビリテーション病棟研修会・第3回病棟長研修会	看護師長
6.25～27	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会 平成22年度第30回全職種研修会	看護師他3名
6.25～27	仙台市	第51回日本心身医学会総会ならびに学術講演会	医師2名
6.26～27	札幌市	平成22年全国地域リハビリテーション合同研修会 札幌	リハ部長他1名
6.26～27	大分市	第3回大分DMAT隊員養成研修	看護師2名
6.30	三重町	大分県豊肥圏域地域連携作業部会	主任PT他1名
7. 1～4	東京都	第26回放射線技師総合学術大会・第15回東アジア学術交流会	主任放射線技師
7. 2～4	東京都	平成22年度全国回復期リハ病棟連絡協議会・第19回PT・OT・ST研修会	リハ部長他3名
7. 3～4	佐世保	響き合いネットワーク長崎SP研修会・長崎国際大学薬学部見学	薬剤部長
7. 3～7	大分市	新人看護職員研修責任者研修	看護師長
7.3・8.3・4・21・22	大分市	平成22年度大分県介護支援専門員更新研修(更新課程Ⅰ)	介護支援専門員
7. 9～11	広島市	医療薬学フォーラム2010	薬剤部長
7. 9～11	福井市	第22回日本嚥下障害臨床研究会	看護師長
7.11・24・25	大分市	介護支援専門員(更新)研修課程Ⅱ居宅	介護支援専門員2名
7.14	庄内町	平成22年度由布市介護予防研修会	介護支援専門員他2名
7.14	大分市	平成22年度大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会・第1回役員会	MSW
7.16～18	鹿児島市	第16回日本心臓リハビリテーション学会学術大会	医師他5名
7.16～18	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会 平成22年度SW研修会	MSW2名
7.17～19	東京都	心臓リハビリテーション学会	医師
7.22	大分市	地域診療情報連携支援システム説明会	副院長他1名
7.22～23	岐阜県	第60回日本病院医学会	院長他8名
7.23	大分市	大分県地域リハ研究会 平成22年度第3回運営部会	MSW
7.23	大分市	県老健協会 平成22年度第1回施設サービス委員会	リハ部長
7.24	大分市	大分県看護協会理事・常任委員・特別委員会	看護師
7.24～25	福岡県福岡市	日本作業療法士協会における研修会	リハ部長他1名
7.28	庄内町	大分県中部保健所において管内栄養士研修会	栄養士
7.29	別府市	(社)大分県老人保健施設協会による平成22年度栄養・給食部会研修会	主任栄養士
7.30	大分市	大分県回復期リハ病棟連絡協議会	副院長他4名
7.30～8.1	東京都	日本医療マネジメント2010年度 医療福祉連携講習会	副看護部長他2名
8. 5	大分市	第1回大分県脳卒中回復期・維持期地域連携推進協議会	院長
8. 6～8	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会 平成22年度第8回医師研修会	医師
8.10	大分市	大分県福祉保健部による介護職員処遇改善セミナー	リハ技師長
8.17	庄内町	第3回由布地区看護ネットワーク推進会議	看護部長
8.20～22	大阪府	平成22年度第32回全職種研修会	MSW他2名
8.20・9.17・10.15	大分市	大分県看護協会において社会経済福祉委員会	看護師
8.21～22	福岡市	全国回復期リハ協議会 第23回看護介護研修会	看護師長他3名
8.27～29	東京都	日本医療マネジメント2010年度 医療福祉連携講習会	副看護部長
8.27～29	名古屋市	第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会	医師
8.28～29	大分市	大分市医師会アルメイダ病院緩和ケア研修会	副院長
8.29	別府市	県高次脳機能障害リハビリテーション講習会	院長
8.30	大分市	県老健協会 第2回施設サービス委員会	リハ部長
8.30	大分市	大分県地域リハ研究会 平成22年度第4回運営部会	主任PT
9. 1	挾間町	日本医療マネジメント2010年度 医療福祉連携講習会	副看護部長他1名
9. 2～5	新潟市	第16回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会及びポストコングレスセミナー	リハ副部長他4名
9. 3～4	東京都	第33回総合リハビリテーション研究大会	リハ部長他6名
9. 3～5	東京都	医薬品安全管理研修会2010	薬剤師
9. 3～5	東京都	平成22年度第33回全職種研修会	OT・ST・CW
9. 3～5	仙台市	日本心理臨床学会 第29回秋季大会	臨床心理士
9.3・4・11	大分市	平成22年度大分県主任介護支援専門員研修	介護支援専門員
9. 7	大分市	第11回大分県スポーツドクター協議会研修会	院長
9. 8	大分市	居宅介護支援事業所管理者会議	リハ技師長
9. 8～10	京都府	第34回日本神経心理学会総会	医師
9.11	宇佐市	平成22年度地域リハ従事者研修会	リハ技師長
9.11～12	福岡市	日本病態栄養学会 NSTセミナー	医師

9.11～12	別府市	第45回九州医学検査学会及び臨床検査フェア	臨床検査技師2名
9.12～15	東京都	平成22年度回復期リハ看護師認定コース第4期第1回	看護師長他3名
9.14	大分市	大分県立病院にて地域医療連携実習	副看護部長他1名
9.16～18	京都府	第24回手術室看護学会	看護師
9.16～19	東京都	第58回日本心臓病学会学術大会	医師
9.17～18	東京都	第37回看護研修会	看護師2名
9.19～20	下関市	第72回九州山口薬学会	主任薬剤師
9.19～20	松山市	日本禁煙学会	医師
9.20～21	長崎市	第3回九州心臓リハビリテーション研究会	医師
9.21	挾間町	大分大学医学部付属病院へ大分県脳卒中クリニカルパス情報交換会	副院長他3名
9.24	大分市	大分県地域リハ研究会 平成22年度第5回運営部会	MSW
9.24～26	東京都	日本医療マネジメント2010年度 医療福祉連携講習会	副看護部長他1名
9.25	北九州市	九州リハビリテーション大学校において平成22年度臨床実習指導者会議及び研修会	PT・OT
9.25～26	福岡市	全国回復期リハ病棟連絡協議会による平成22年度第34回全職種研修会	医師他3名
9.25～26	宮崎市	九州・山口口腔ケアシンポジウムin宮崎	ST他1名
9.27	大分市	平成22年度大分県介護予防市町村支援委員会 第1回運動機能向上専門部会	副院長
9.28	三重町	大分県豊肥圏域脳卒中地域連携システム第2回作業部会	主任PT他1名
9.28・10.19	挾間町	オレンジパスポートプロジェクト会議	主任看護師他1名
9.30～10.1	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会 第20回PT・OT・ST研修会	リハ部長他2名
9.30～10.3	群馬県	日本肥満学会	医師
10. 1～2	横浜市	日本難病医療ネットワーク研修会	院長
10. 3	大分市	第17回中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター研修会	リハ技師長
10. 4	大分市	キャリアパスリーダー養成講座	CW8名
10. 6	庄内町	保健所圏域別認知症地域支援推進会議	副院長他2名
10. 6～7	別府市	第41回日本看護学会一成人看護学 I 一学术集会	看護部長他10名
10. 6～8	札幌市	第48回日本社会保険医学会総会	PT他6名
10.8～9	大分市	第27回日本心電学会 学術集会	医師
10.8～10	東京都	平成22年度 回復期全職種研修会	看護師他3名
10.8～10	神戸市	平成22年固定チームナーシング全国研究集会	看護師長他1名
10.8～11	東京都	平成22年度訪問リハビリテーション管理者研修会	PT
10.12	大分市	大分県スポーツ学会運営専門合同会議	リハ部長他4名
10.15～16	大分市	平成22年度大分県主任介護支援専門員研修	介護支援専門員
10.16～17・19・21	大分市	第2回新人看護職員研修責任者研修	主任看護師他1名
10.18	大分市	大分県地域リハ研究会 平成22年度第6回運営部会	主任PT
10.20～23	山形市	リハビリテーションケア合同研究大会in山形2010	院長他14名
10.22～24	東京都	日本医療マネジメント2010年度医療福祉連携講習会	副看護部長他1名
10.23	大分市	大分県看護連盟による第3回若手会員委員会	看護師2名
10.23～24	熊本県高森町	2010年度温泉療法医学九州地方研修会	医師
10.25～27	新潟市	日本看護学会一看護管理一	主任看護師2名
10.26	庄内町	第3回由布地区看護ネットワーク推進会議	副看護部長
10.27～29	福岡市	日本脳神経外科学会総会	医師
10.28	大分市	大分県介護予防市町村支援委員会	院長
10.29～30	別府市	第48回日本糖尿病学会九州地方会	医師他2名
10.31～11.7	東京都	平成22年度回復期リハ看護師認定コース第2回目	看護師長他2名
11. 5	大分市	キャリアパスリーダー養成講座	CW8名
11. 5～6	佐賀市	日本医療マネジメント学会 第9回九州・山口連合大会	医師他12名
11. 5～7	茨城県	日本臨床スポーツ医学会	院長
11. 7	挾間町	第20回大分県リハビリテーション医学会	PT・OT
11.11	別府市	第9回地域医療連携懇話会	副院長
11.11	別府市	平成22年度調理研修会	栄養士・調理師
11.12～13	神戸市	NPO法人日本リハビリテーション看護学会 第22回学術大会	看護部長他7名
11.12～14	千葉県	第20回日本医療薬学会年会	薬剤部長
11.13	福岡市	第21回がん患者のQOL推進事業講習会	副院長他1名
11.13～14	挾間町	大分県医師臨床研修指導医講習会	医師
11.13～14	東京都	平成22年度感染制御講習会(第2クール)	看護師他2名
11.18～20	東京都	第38回日本頭痛学会総会	医師
11.18～20	大宮市	第34回日本高次脳機能障害学会	看護師・OT
11.19～20	岡山市	第15回日本心療内科学会総会・学術大会	医師
11.19～20	延岡市	平成22年度作業療法学科臨床実習指導者委員会	OT
11.19～21	大阪府	平成22年度第36回全職種研修会	PT他3名
11.19～21	那覇市	第47回九州医療ソーシャルワーカー研修会沖縄大会	MSW
11.19～21	大分市	平成22年度大分県主任介護支援専門員研修	介護支援専門員
11.20～21	熊本市	第5回九州放射線医療技術学術大会	放射線技師
11.21	別府市	大分県病院協会学会	院長
11.24	中津市	第7回北部圏域中津地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会	リハ部長

11.25	大分市	大分県地域リハ研究会 平成22年度第7回運営部会	MSW
11.26~27	静岡県熱海市	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会・平成22年度第2回病棟師長研修会	看護師長
11.26~28	沖縄県宜野湾市	第32回九州理学療法士・作業療法士合同学会	PT他3名
11.27~28	福岡市	栄養ケアチーム指導者研修会	主任栄養士
11.28~29	岡山県	第3回医療コミュニケーションフォーラムin岡山	薬剤部長
12. 2~5	東京都	第3回訪問リハビリテーション管理者研修会STEP2	PT
12. 4~5	鹿児島市	社会福祉士実習指導者講習会	MSW
12. 7	大分市	平成22年度大分地域介護認定審査会委員現任研修会	OT
12. 8	庄内町	平成22年度介護保険認定調査員現任研修	介護支援専門員
12.10~12	東京都	平成22年度第37回全職種研修会	PT他3名
12.11~12	東京都	2010年社会福祉士共通基盤研修リーダー養成研修	MSW
12.11~12	大分市	平成22年度大分県主任介護支援専門員研修	介護支援専門員
12.12~14	神戸市	平成22年度院内感染対策講習会	薬剤部長他1名
12.15	大分市	大分県回復期リハ病棟連絡協議会 地域連携パス研修会	MSW
12.16~19	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会PT・OT・ST委員会及び第21回PT・OT・ST研修会	リハ部長他2名
12.17	大分市	キャリアアスリーダー養成講座	CW7名
12.23	大分市	第2回大分県スポーツ学会 学術集会	GT他6名
H23. 1. 7	大分市	キャリアアスリーダー養成講座	CW9名
1. 9~15	東京都	平成22年度回復期リハ看護師認定コース第3回目	看護師長他2名
1.14~16	東京都	全国回復期リハ病棟連絡協議会 リハ看護師認定研修	看護師長
1.15	大分市	平成22年度摂食・嚥下セミナー反省会	リハ副部長
1.18	三重町	豊肥圏域脳卒中地域連携作業部会	主任PT他1名
1.23	大分市	公認スポーツファーマシスト認定制度実務講習会	薬剤部長
1.25	大分市	大分県スポーツ学会運営委員・専門委員合同会議	GT2名
1.27~2.17	大分市	平成22年度介護支援専門員実務従事者基礎研修	介護支援専門員
2. 3	別府市	大分県回復期リハ病棟連絡協議会 地域連携パス委員会研修会	看護師長他2名
2. 5~6	東京都	平成22年度感染制御講習会(第3クール)	看護師他2名
2. 7	庄内町	介護予防支援従事者研修及び保健所圏域介護予防検討会	PT2名
2.10~13	東京都	第3回訪問リハビリテーション管理者研修会STEP3	PT
2.15	大分市	キャリアアスリーダー養成講座	CW6名
2.15	豊後大野市	豊肥圏域脳卒中地域連携システム作業部会	主任PT他1名
2.18~19	長崎県	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第17回研究大会in長崎	副院長他16名
3. 4~5	東京都	日本リハビリテーション病院施設協会主催 平成22年度第3回リハビリテーション研修会	リハ部長他1名
3. 4~6	東京都	回復期リハ病棟連絡協議会 全職種研修会	PT・OT
3.11	大分市	大分県医師会による平成22年度医事紛争講演会	副院長
3.14	大分市	第2回大分県介護予防市町村支援委員会	院長
3.16	大分市	大分県地域リハ調整連絡協議会スキルアップ研修会	院長

#### V 看護・介護実習生受け入れ

期日	内容	受入先	受入延人数
H23.4.14~21	1年次早期体験	大分大学医学部医学科	20
5.10~28	5年生実習(専攻科)	大分東明高等学校看護科	10
6.21~7.2	総合実習8期生	大分県立看護科学大学	
7. 7~9	初期体験実習	大分県立看護科学大学	
7.20~23~26	1年次基礎看護	大分大学医学部看護学科	15
7.26~8.6	2年生実習	昭和学園高等学校看護学科	20
8.30~10.1	4年生実習(専攻科)	大分東明高等学校看護科	10
9. 6~17	4年生総合	大分大学医学部看護学科	5
10.12~22	2年生実習	昭和学園高等学校看護学科	20
11.8~12.3	2年生実習(専攻科)	大分東明高等学校看護科	10
12. 6~17	3年生実習	昭和学園高等学校看護学科	20

#### VI.リハ実習生受け入れ

##### 1) 理学療法

期日	学年	受入先	受入人数
H22.4.5~5.28	4学年長期実習	島根リハビリテーション学院	1
4.19~ 6.26	3学年長期実習	九州リハビリテーション大学校	1
5.10~ 7. 3	3学年長期実習	北九州リハビリテーション学院	1
5.10~ 7.17	4学年長期実習	熊本リハビリテーション学院	1
6. 7~ 7.24	4学年長期実習	鈴鹿医療技術大学	1
6.28~ 8. 6	4学年長期実習	熊本保健科学大学	1
7. 5~ 8.28	4学年長期実習	九州看護福祉大学	1
7.20~ 9.25	3学年長期実習	麻生リハビリテーション専門学校	1
7.26~ 9.25	3学年長期実習	福岡国際医療福祉学院	1
8. 2~10. 9	3学年長期実習	沖縄リハビリテーション福祉学院	1

8. 2～10.16	3学年長期実習	藤華医療技術専門学校	1
8. 9～10. 2	4学年長期実習	九州中央リハビリテーション学院	1
H23.2.21～3.19	2学年評価実習	大分リハビリテーション専門学校	1

## 2) 作業療法

期日	学年	受 入 先	受入人数
H22.4.19～6.19	3学年長期実習	九州リハビリテーション大学校	1
4.19～ 6.26	4学年長期実習	県立広島大学 保健福祉学部	1
5.10～ 6.19	4学年長期実習	熊本保健科学大学	1
5.10～ 7. 3	3学年長期実習	北九州リハビリテーション学院	1
5.10～ 7.17	4学年長期実習	帝京大学 福岡医療技術学部	1
5.10～ 7.24	3学年長期実習	麻生リハビリテーション専門学校	1
5.24～ 7.24	4学年長期実習	九州保健福祉大学 保健科学部	1
7.12～ 8.28	4学年長期実習	長崎大学 医学部保健学科	1
8.16～10. 8	4学年長期実習	国際医療福祉大学	1
8.23～10. 2	4学年長期実習	熊本医療総合リハビリテーション学院	1
10.18.～10.23	3学年長期実習	熊本医療総合リハビリテーション学院	1
10.18～10.30	3学年評価実習	姫路獨協大学	1
H23.2.14～2.26	2学年評価実習	藤華医療技術専門学校	1
2.28～ 3. 5	2学年評価実習	熊本医療総合リハビリテーション学院	1
3. 7～ 3.25	3学年評価実習	医療福祉専門学校 緑生館	1

## 3) 言語療法

期日	学年	受 入 先	受入人数
22.4.12～6.5	4学年長期実習	聖隸クリストファー大学	1
4.12～ 6. 5	3学年長期実習	琉球リハビリテーション学院	1
5.10～ 6. 5	2学年評価実習	大分リハビリテーション専門学校	1
5.10～ 7. 3	3学年長期実習	沖縄リハビリテーション福祉学院	1
5.31～ 7.24	4学年長期実習	神戸医療福祉専門学校須磨校	1
5.31～ 7.24	3学年長期実習	麻生リハビリテーション専門学校	1
6. 7～ 8. 2	2学年長期実習	大阪医療技術学園専門学校	1
7.12～ 9. 4	3学年長期実習	大分リハビリテーション専門学校	1
7.12～ 9. 4	3学年長期実習	沖縄リハビリテーション福祉学院	1
7.20～ 9.10	3学年長期実習	長崎リハビリテーション学院	1
8.16～10. 9	3学年長期実習	柳川リハビリテーション学院	1
8.23～10.16	3学年長期実習	神戸医療福祉専門学校須磨校	1
8.30～10.23	3学年長期実習	麻生リハビリテーション専門学校	1
9.13～10.23	4学年長期実習	国際医療福祉大学	1
9.27～11.24	2学年長期実習	大阪医療技術専門学校	2
10. 4～11.12	4学年長期実習	広島県立大学	1
10.18～12.11	2学年長期実習	福岡国際医療福祉学院	1
23.1.11～1.22	2学年評価実習	国際医療福祉大学(福岡リハ学部)	1
2.14～ 3. 5	2学年評価実習	柳川リハビリテーション学院	1

## VII.施設見学

期日	見 学 受 入 先	見学人数
H22. 4.12～23	社会医療法人 関愛会	1
5. 6～7	南海社会保険介護老人保健施設 サンビュー南海	1
5. 7	大分岡病院	3
5.10～7.28	介護老人保健施設 いでゆの園	1
5.10～3.31	大分記念病院	1
5.11	大分リハビリテーション専門学校 言語聴覚士科1年	34
5.17～6. 5	川嶌整形外科病院	10
5.26	宮崎市檍北地区民生・児童委員協議会	20
6.14	藤華医療技術専門学校理学療法学科1学年	32
6.21	藤華医療技術専門学校作業療法学科1学年	31
6.21	ソウル大学学部生・大分県立看護科学大学教員	11
7. 1～9.30	医療法人 堀田医院	1
7. 5	サンテール千葉	3
7. 7～9	由布市立湯布院中学校 職場体験学習	
7.22・26・27	平松学園大分介護福祉専門学校2年生	4

7.29	大分県立由布高等学校3年生	
8. 3	福岡国際医療福祉学園言語聴覚学科1学年	1
8. 4	専門学校 柳川リハビリテーション学院 理学療法学科2年	1
8. 6	大分岡病院	7
8.20	リハビリテーションカレッジ島根 理学療法士学科4年	1
8.20	長崎リハビリテーション学園 言語療法学科2年	1
9.13	熊本保健科学大学	
9.14	社会福祉法人 直心会	3
9.28	大分県歯科衛生士会	
10. 4~6	医療法人 博仁会	2
10.12	農協共済別府リハビリテーションセンター	3
10.15	宮崎市 民生・児童委員会協議会	
10.25	北九州リハビリテーション学院作業療法学科	26
10.27	三重地区民生児童委員協議会	6
10.27	臼杵市医師会 介護老人保健施設 南山園	4
11.4	医療法人天神会 古賀病院	4
11. 8	北九州リハビリテーション学院理学療法学科	31
12. 7	玖珠郡玖珠町 医療法人 純和会	
2. 2	津久見市医師会津久見中央病院 看護師	1
2.17	聖テレジア病院 医療ソーシャルワーカー	1
3月中旬	日本社会事業大学 医療ソーシャルワーク3年生	1
3.30	大分リハビリテーション専門学校 理学療法士	1

## 転倒予防プロジェクト班活動報告

### (1) H22 年度 転倒予防教室の開催

	開催日時	場 所	対 象	参加者
1	H22 年 6 月 15 日(火)	湯布院町 畑公民館	湯布院町畠地区住民	25 名
2	H22 年 7 月 22 日(木)	別府市 茶寿苑	別府市 鉄輪地区住民	26 名
3	H22 年 10 月 7 日(火)	湯布院町湯平ふれあいホール	湯布院町湯平地区住民	25 名
4	H22 年 11 月 16 日(火)	湯布院厚生年金保養ホーム	保養ホーム入所者	13 名
5	H22 年 11 月 25 日(木)	宇佐市 さんさん館	宇佐市住民	23 名
6	H23 年 2 月 15 日(火)	湯布院厚生年金保養ホーム	保養ホーム入所者	21 名
7	H23 年 2 月 23 日(水)	宇佐市農村交流センター	院内町住民	27 名
8	H23 年 3 月 2 日(水)	宇佐市農村交流センター	院内町住民	23 名

### (2) H22 年度 地域支援事業

開催日時	場 所	対 象	参加者
湯布院町(1 クール目)			
H22 年 10 月 19 日(水)	(初回) 由布市社会福祉協議会	湯布院町住民	6 名
H21 年 11 月 16 日(水)	(第 2 回) 由布市社会福祉協議会	湯布院町住民	6 名
H22 年 12 月 28 日(水)	(第 3 回) 由布市社会福祉協議会	湯布院町住民	5 名
湯布院町(2 クール目)			
H23 年 1 月 18 日(火)	(初回) 由布市社会福祉協議会	湯布院町住民	5 名
H23 年 2 月 15 日(火)	(第 2 回) 由布市社会福祉協議会	湯布院町住民	3 名
H21 年 3 月 29 日(火)	(第 3 回) 由布市社会福祉協議会	湯布院町住民	6 名

## 山ぼうしの会活動報告

日 時：平成 22 年 6 月 13 日  
場 所：ひびきの里（日田市大山町）  
参加数：24 名  
内 容：糖尿病についての勉強会

午前は日田市大山町ひびきの里にて、カンバセーションマップを用いてディスカッション方式で糖尿病について勉強会を行った。カンバセーションマップは「インスリン治療」、「運動と食事」、「糖尿病と共に歩む」、「糖尿病とはどんな病気ですか」の 4 つに分かれている。

今回は「インスリン治療」、「運動と食事」、「糖尿病と共に歩む」の 3 グループに分け、実施した。グループ分けは事前に患者の糖尿病歴やインスリン使用状況等を考慮し行った。

1 グループ、患者さんが 8 人、スタッフ 3~4 人に分けてカンバセーションマップを囲みすろくのような要領でディスカッションを行った。スタッフの 1 人が司会進行を行い、参加者が活発にディスカッションできるよう色々な質問を投げかけた。

1 時間程カンバセーションマップを行い、その後は同敷地内にある食事場所で糖尿病患者に合わせて準備した昼食をとった。

昼食後、希望者はカンバセーションマップを再度行い、他の参加者は梅酒作りを行った。



## 医科-歯科連携の構築

高齢者で脳卒中などを発症し在宅で医療・介護を受ける人が歯科疾患を発症する場合が多く、在宅歯科医療の必要性が増している。このことは、かかりつけ医、訪問セラピストあるいは訪問看護師等のチームに歯科医師が加わることを意味する。しかし、これまでには相互の連携が円滑に行われる状況には必ずしもなかった。ニーズの高まりに応じ、在宅歯科医療を実施する歯科医師が増え、医療保険制度の後押しや厚生省医政局歯科保健課の施策も充実してきたことから医療関係者と歯科医療関係者との連携は急速に進むものと思われる。

また、在宅での連携が深まるにつれ、急性期や回復期での医科歯科連携の重要性についてもその認識が高まりつつある。病院と介護施設のNSTにおいて、歯科関係者が加わって成果を上げる事例が見られるようになり、介護保険に引き続き医療保険においても歯科関係者が明確に位置づけられるようになった。このように、医科歯科の医療連携を中心とした歯科医師のチーム医療での役割は、急性期、回復期そして在宅医療の場で急速に重要性を増してきている状況にある。

### 【ゆふ医科歯科連携システムについて】

当院においても入院してきた患者が、様々な歯科領域に関する問題を抱えている場合も多く、町内の歯科医院に訪問歯科診療を依頼し対応してきた。しかし、歯科医院の医師も自らの診療の傍ら限られた時間を調整していたこともあり、依頼から訪問まで時間がかかることや家族との調整で特に診療費等でトラブルになる事例もあったようである。また、リハチームの一員としての介入が求められている中にあって、必要な連携が取れていたとは言い難い状況であった。

そこで、医科歯科連携システムを図1.のように構築し、上述に示した問題の解消のみならず、地域福祉に根ざした水平的なネットワークを構築し、基本方針を図2.のごとくとし、地域リハビリテーションや介護予防を推進していくこととなった。

図1. ゆふ医科-歯科連携システム  
(大館歯科医師会 - 湧布院厚生年金病院)

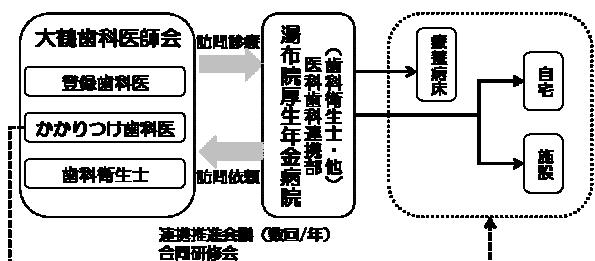


図2. 医科-歯科連携の基本方針

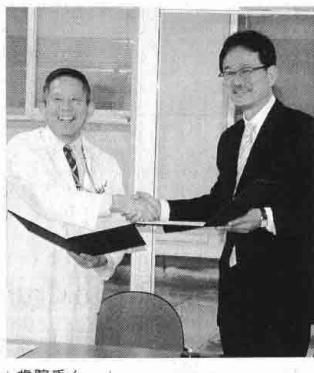
- ・医科-歯科連携により、入院患者の口腔疾患の改善、口腔ケアの啓発と徹底、誤嚥性肺炎および窒息事故等の発生を防止し、その後の医療を円滑に行うことに対し貢献するとともに、摂食・嚥下障害や口臭などに対する専門的な医療対応を当院の医師や他のスタッフの協力を得て行い、患者のQOLに貢献する。
- ・医科-歯科それぞれが完結型の在宅医療を目指すのではなく、在宅医療チームとして連携し、口腔ケア、摂食・嚥下リハビリテーションに取り組む。
- ・医科-歯科連携を前提とした在宅栄養管理の実現する。
- ・医科-歯科連携を前提とした顔の見える、地域福祉に根ざした水平的なネットワークを構築し、地域リハビリテーションや介護予防を推進する。

## 湯布院厚生年金病院

由布市湯布院町の湯布院厚生年金病院（森照明院長）と大分、由布両市の歯科医でつくる大鷲歯科医師会（山原幹正会長）は4月から、入院患者の口腔ケアを行う「ゆふ医科歯科連携システム」を始めた。今後、登録した5人の歯科医が病院と協力し、患者の歯科治療に関わる。

## 地元の歯科医師会

## 県内で初の連携システム



湯布院厚生年金病院は  
国内に数あるリハビリ病院  
で、脳卒中などの後遺症で多くの患者がリハビリを受けている。システムは、登録医が病院の医師や歯科衛生士、言語聴覚士などを連携し、曜日や時間帯ごとに診療を分担。かみ合わせや口の衛生状況を改善することで、リハビリ期の機能回復を支える。  
3月31日に覚書の調印

## リハビリ期をサポート

た。「ゆふ医科歯科連携システム」の書にサインし、握手をす。湯布院厚生年金病院の森照明院長と大鷲歯科医師会の山原幹正会長

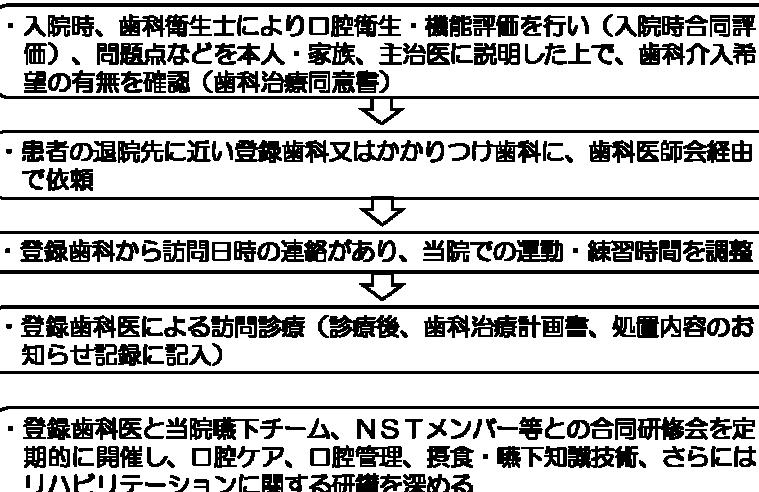
# 入院患者に口腔ケア

3月31日にゆふ医科歯科連携システム覚書の調印式が行われ（左図、大分合同新聞より）、県内では初めての取り組みとして、4月より正式にスタートすることになった。

### 【訪問歯科診療の基本的流れについて】

入院時合同評価にて歯科介入の必要性が主治医のもと確認された場合、本人及び家族に説明（歯科治療同意書）した上で、歯科診療願にて依頼を行う。この際、患者の退院先に近い登録歯科又はかかりつけ歯科に依頼する。その後、登録歯科から訪問日時の連絡が当院にあり、歯科衛生士が中心となり訪問日の患者のスケジュール調整を行っている。訪問歯科診療後は、初診時に歯科治療計画書を歯科医師が作成し、その後も介入した際には処置内容や次回の予定など記録する（図3、4.）。職員への口腔ケアに対する意識や技術の向上が期待でき、また、歯科診療時に言語聴覚士などが同席し情報交換することはもとより、重要なことは、リハチームと歯科医との橋渡しを歯科衛生士が行うことで、単にむし歯の治療や義歯作成を行うだけでなく、食べるため、しゃべるため、あるいはADLを向上させるための取り組みがより一層深まっていくこととなる。今後は、登録歯科医と当院関係者との定期的な運営会議や合同研修会を開催し知識技術の共有化を図っていく予定としている（図1.）。

## 図3. 訪問歯科診療の基本的流れ

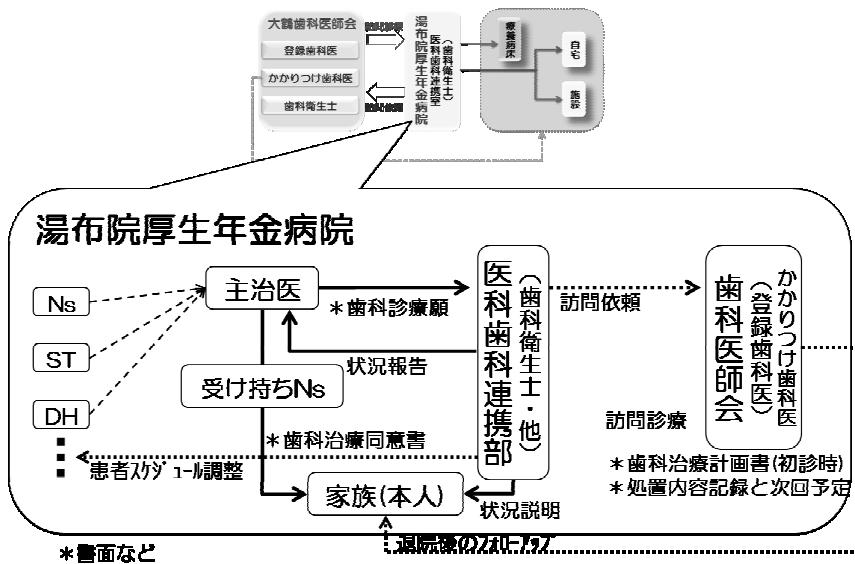


### 【医科歯科連携運営部】

当院での医科・歯科連携の窗口、その他の事務調整を担う部門として、病院長の統括のもと医科歯科連携運営部（以下、運営部）を置くこととした。運営スタッフは歯科衛生士及び医局、看護部、リハビリテーション部から病院長が指名する職員若干名をもって構成し、医科歯科連携の調査・研究および連立していく」と話した。立していきたい」と話した。立していきたい」と話した。

携を推進する。また、月に1回程度運営部会を開催し、より円滑な連携にむけ調整業務を行う予定としている。

**図4. 医科-歯科連携イメージ**



#### 【歯科衛生士の業務について】

歯科衛生士の業務は、歯科医師の指導の下に歯科診療補助、歯牙及び口腔疾患の予防処置を行うことに加えて、歯科衛生士の名称を用いて歯科保健指導を行うものと定められている。現在では社会情勢の変化や国民の健康に対する関心の高まりから、中心業務が歯科保健指導へと重点が移行してきた。また、歯科衛生士による専門的口腔ケアの有効性が実証され、誤嚥性肺炎の予防、摂食・嚥下機能の回復に伴う栄養状態の改善や意識レベルの改善さらにはADLやQOLの向上に繋がる事が報告されている。

当院での歯科衛生士の基本業務を図6に示す。特に1-ll.の登録歯科と主治医をはじめとした当院リハチームとの橋渡しとしての役割は大きいものと考えられる。



# 大分県介護予防・転倒予防研究会活動報告

## ＜今年度の研究会活動＞

平成 16 年 10 月に結成された本研究会は、平成 22 年度より「転倒予防教室研究会」から「大分県介護予防・転倒予防研究会」と名称を変更した。

平成 23 年 3 月末現在、会員数は 65 名であり今年度 1 回の研修会を実施した。

## ＜研修会報告＞

### 第1回大分県介護予防・転倒予防研究会 研修会

開催日：平成 22 年 6 月 12 日（土）9：50～12：30

場所：湯布院厚生年金病院 教育室

参加者数：104 名

内容：講演：「介護予防事業の成果と今後の課題について」

講師：東京都老人総合研究所 大渕 修一 先生

活動報告（5 施設）

- 宇佐市院内支所
- 由布市社会福祉協議会 湯布院事務所
- 九重町地域包括支援センター
- 国東市民病院
- 湯布院厚生年金病院



各圏域からの活動報告



講師 大渕 修一先生

# おおいた食のリハビリテーション研究会 活動報告

本研究会は平成 18 年 12 月 3 日に発足し、平成 23 年 5 月現在での会員数は 217 名である。

主な活動は年に 2 回の研修会と大分県社会福祉介護研修センターとの共催で実施している摂食・嚥下セミナーがある。また、年に 3~4 回食リハニュースを発行している。

## <本年度研究会活動報告>

### おおいた食のリハビリテーション研究会 第 7 回研修会

日 時：平成 22 年 6 月 20 日(日)

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

9:00 ~ おおいた食のリハビリテーション研究会事業・決算報告

9:40 ~ 研究報告会

座長：おおいた食のリハビリテーション研究会 世話人 森 淳一

世話人 三浦晃史

1. 低栄養に関する要因の検討

明野中央病院 栄養士 中村佳子

2. アレルギー除去食のチェック体制の確立

別府発達医療センター 栄養士 東 知世

3. 摂食嚥下困難者に対する取り組み

なおみ園 栄養士 河合貴代

4. 病院の食支援における歯科衛生士の役割

別府児玉病院 歯科衛生士 有松ひとみ

5. 在宅歯科訪問における食支援

県庁歯科診療所 歯科衛生士 友枝康代

6. 神経筋疾患者の”口から食べる楽しみ”を安全に継続できる為の関わり

西別府病院 看護師 阿南静子

7. 知的障害者の口腔の実際 ー支援員の取り組みと課題 -

なおみ園 介護福祉士 竹内聰子

8. 家族の不安軽減が図れた 1 症例について

湯布院厚生年金病院 言語聴覚士 平野由梨依

9. 拒食傾向にあった症例との関わりを通して

湯布院厚生年金病院 言語聴覚士 津山美鈴

10. 開口困難な症例に対して吸引カテーテルを使用した

経口摂取方法が有効であった 1 例

湯布院厚生年金病院 言語聴覚士 木村暢夫

11:50~ 講演会「オーラルマネジメント」

講師：松成歯科医院 副院長 松成康男先生

座長：おおいた食のリハビリテーション研究会 代表世話人：衛藤 宏

## **第4回摂食・嚥下セミナー(共催 大分県社会福祉介護研修センター)**

目的：人間の活力の源である「食事」は、おいしく口から食べるという楽しさだけではなく、脳を刺激し生きる喜びにも繋がる。しかし、病院や施設、在宅では「食」に関する何らかの問題を抱えている方は数多く、多職種協働のケアにおいては大きな課題となっている。そこで、摂食・嚥下機能の専門家による知識と技術を学んでいただき、チームとして質の高い支援を提供できる人材を育成するために開催している。

日 時：①平成22年7月2日(金)、②平成22年7月8日(水)、  
③平成22年7月15日(水)、④平成22年7月21日(水)、  
⑤1班 平成22年7月28日(水)、2班 平成22年7月29日(木)  
⑥1班 平成22年8月4日(水)、2班 平成22年8月12日(木)  
※⑤⑥日目の実習は2班に分かれて開催した。  
⑦平成22年8月19日(木) 計7日間

対象者：介護福祉士、ホームヘルパー、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士、歯科衛生士、調理員等

会 場：大分県社会福祉介護研修センター 小ホール

共 催：大分県社会福祉介護研修センター、おおいた食のリハビリテーション研究会

## **おおいた食のリハビリテーション研究会 第8回 研修会・講演会・交流会**

日 時：平成23年3月27日(日)

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

9:00～受付

10:00～「食べることを考える」

～何のために？誰の為に？食べさせるのは誰の役割？

安全に食べる・食べさせるとは？～

佐賀社会保険病院 リハビリテーション科 部長 本多知行先生

11:30～研修・交流会

評価・訓練方法の実演・体験コーナー、

嚥下食の紹介と作り方コーナー、口腔ケアの実演と体験コーナー、

食べ方・食べさせ方の実演コーナー、

姿勢・ポジショニングコーナー、相談コーナー、

その他関連企業展示など



## 広報誌「おおいた食リハニュース」発行

○第1巻11号 平成22年5月19日発行

特集：口腔ケアについて

○第1巻12号 平成22年8月5日発行

特集：第7回研修会での研修報告会の内容

○第1巻13号 平成23年3月2日発行

特集：情報提供書に関するアンケート結果

介護食のレシピ

第1巻11号 H22.5.19 発行

**おおいた食リハニュース**

発行元：おおいた食リハビリテーション研究会  
編集：湯布院厚生年金病院 リハビリテーション部 言語訓練室  
TEL:0977-84-3171(229)  
(社)大分県栄養士会、大分県歯科衛生士会、大分県介護福祉士会、大分県言語聴覚士会

☆☆☆☆☆ 今回のテーマは… 口腔ケア ☆☆☆☆☆

口腔にになると歯茎が退縮し、歯の根っこが出てくる症状が多くられます。そのまま強い力で歯磨きすると、歯茎の部分が削られて知覚過敏になつたり痛みがでます。また、入れ歯の方は、歯石と入れ歯の間が不潔になると虫歯になりやすくなります。虫歯や歯周病は歯磨きの習慣を守れば予防できる病気です。口の中の衛生に注意して毎日きちんと行いましょう。

口腔清掃

高齢になると歯茎が退縮し、歯の根っこが出てくる症状が多くられます。そのまま強い力で歯磨きすると、歯茎の部分が削られて知覚過敏になつたり痛みがでます。また、入れ歯の方は、歯石と入れ歯の間が不潔になると虫歯になりやすくなります。虫歯や歯周病は歯磨きの習慣を守れば予防できる病気です。口の中の衛生に注意して毎日きちんと行いましょう。

①お口の状態にあった歯ブラシを選択しましょう。  
②歯と歯の間に毛先を45度の角度であてて、小刻みに振動させます。  
③食後のブラッシングが効果的。特に夜のブラッシングは丁寧に!  
④デンタルフロスや歯間ブラシを利用して歯の隙間も丁寧に手入れをしましょう。  
⑤フッ素配合の歯磨き剤を使用する事で、虫歯の発生・進行を予防

◎ TOSHIBA CORPORATION

口腔ケアの実施手順

1)全身状態の把握  
2)声掛け(説明・同意)  
3)用具の準備  
4)体位の確保  
5)緊張をとる  
6)口腔内観察  
7)ケア・保湿 うがい(清拭)→歯磨き→義歯の清掃・粘膜の清掃  
→舌の清掃→うがい(清拭)→保湿  
8)終了後の確認(全身状態 口腔内)

●自分で出来る口腔ケアの工夫

握る力が弱っている人や、障害がある人が、お口の清掃を行う時に、なるべく自分で行えるよう、身近にあるものを使って、口腔ケアの用具に工夫を加えてみましょう。  
・握力が弱くなり、歯ブラシが握りにくい場合は、タオルやスポンジを巻いたり、ゴムホースをかぶせたりして柄を太くします。  
・手が動かしにくく、口まで歯ブラシが届かない場合は、割り箸などをテープで巻いて柄の長さを調整します。  
・麻痺などがあり、両手で入れ歯を洗えない場合は、手洗い用のブラシの裏に吸盤を取り付け、洗面器などに固定して、その上で入れ歯を動かしながら清掃します。

一口メモ① 変形可能な歯ブラシ？

手や指、ひじ、肩などの障害や握力不足などで歯ブラシをうまく使えなくなった人の為に、形状記憶歯ブラシが市販されています。ボウルなどに70度のお湯を入れ、形状記憶ホルダーでできた柄の部分を3分間つけておくとゴム状になり、自分の使い方にあう形に簡単に変形することができます。水につけるとたまります。

一口メモ② 歯石とは？

ブラークが石のように固まつたものが「歯石」です。歯石はブラークと同様、多くの細菌が潜んでいて疾患の原因となります。歯石は歯ブラシや電動ブラシでも除去できません。歯科医師や歯科衛生士による除去が必要です。歯石を取り除いてもらう際に「フッ素」を塗ってもらうことで、歯質を強化することが出来ます。

# 大分県訪問リハ・通所リハ研究会

## 1. 会の現状

会員数 277名

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 1) 第10回研修会

日 時：平成22年6月6日（日） 10:00～15:30

場 所：はさま未来館 大研修室・中研修室

内 容：

基調講演 テーマ：「魅力ある訪問リハ・通所リハサービスを目指して」  
～当研究会の今後の展望～

講 師：大分県訪問リハ・通所リハ研究会 会長 佐藤浩二

シンポジウム1（訪問リハ部門）：

テーマ：「地域に求められている訪問リハ」

～当事者の期待に応えるサービスを考える～

シンポジスト：

1) 介護保険サービスセンター妻垣莊

介護支援専門員 安部民子 氏

2) 湯布院厚生年金病院 作業療法士 大田 繁 氏

3) 明和記念病院 言語療法士 岩崎玲子 氏

シンポジウム2（通所リハ部門）：

テーマ 「魅力ある通所リハサービスの作り方」

シンポジスト

1) 湯布院厚生年金在宅総合ケアセンター “ムーミン”

介護支援専門員 崎野有美 氏

2) 大分豊寿苑 理学療法士 児玉 渚 氏

3) デイサービスセンター楽 作業療法士 入口晴香 氏

参加者：81名

### 2) 第11回研修会

日 時：平成22年12月12日（日） 10:00～15:00

場 所：別府B-Con プラザ 地下2F リハーサル室

内 容：メインテーマ「訪問リハ・通所リハマネジメント能力を高める」

講演I テーマ：「組織マネジメントの基本」

～訪問リハ・通所リハ事業への応用～

講 師：財団法人 竹田綜合病院 介護福祉本部 部長 太田睦美 氏

講演Ⅱ テーマ：「リハビリテーション現場における医療的リスク管理」

講 師：めのクリニック 院長 米野壽昭 氏

### シンポジウム

テーマ：「通所系サービスにおける利用者本意のマネジメントを考える」

#### シンポジスト

1) 湯布院厚生年金在宅総合ケアセンター “ムーミン”

作業療法士 田渕麻紀 氏

2) デイサービスセンター楽 作業療法士 森 勉 氏

3) 井野辺府内クリニック 作業療法士 田中 学 氏

参加者：48名

### 3) 訪問リハビリテーションサービスの実態調査

県内の訪問リハ事業所の実態調査を県リハセンターの協力を得て実施した。

(1) 調査対象期間 : 平成 22 年 8 月

(2) 調査対象事業所数 : 278 施設

(内訳：病院・診療所 146 件、老人保健施設 43 件、

訪看ステーション 83 件、その他 6 件)

(3) 調査結果 : 返答あり 138 件、返答なし 140 件 (回収率 49.6%)

○返答施設の内訳 : 実 施 54 件 (病院・診療所 37 件、老人保健施設 3 件

訪看ステーション 14 件)

未実施 84 件

### 3. 地域リハ活動における今後の展開

平成 20 年度に掲げた「訪問リハ・通所リハ 10 か条」に掲げているテーマに沿って研修会を開催している。これは、利用者や通所・訪問リハ関係者の声を集約し、今後の行動目標としてまとめたものである。今後もこの 10 か条に沿った事業の展開と、地域ネットワークつくりや医療リスク管理、業務運営能力の向上をテーマとした研修会の開催を通じて、会員の資質向上を図り、地域の方々へのサービス向上へと繋げたい。



第 10 回研修会 基調講演



第 11 回研修会 シンポジウム

# 大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会活動報告

H17年11月に結成された本連絡協議会はH23年1月末現在、会員数110名となり、今年度1回スキルアップ研修会を開催した。

## ○H22年度スキルアップ研修会

日 時：H23年3月16日(水) 13:30～15:30

場 所：大分市植田行政市民センター 大会議室

内 容：

講演1「地域リハ体制整備推進事業の現状と今後の方針」

講師：県健康対策課 池邊淑子氏

講演2「大分県の介護予防事業の体系と現状の取り組み、今後の方針」

講師：県高齢者福祉課 植松美紗子氏

意見交換「自身の日頃の業務を振り返り地域リハ調整者・

地域リハ協力員としてできることを考える」

参加者：17名



講演1 池邊淑子先生の講演の様子



意見交換の様子

## 資料 1

# H22 年度地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修 2 日目

## グループワークのまとめ

(平成 22 年 9 月 15 日開催 場所 : 湯布院厚生年金病院)

### 1. はじめに

県リハセンター主催の地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修は第 7 回目を迎える。今年度受講生は 38 名である。今回は、受講生に加え各地域で地域リハビリテーション活動を担う立場となる保健所、広域支援センター、居宅介護支援事業所から助言協力者として養成研修に参加して頂いた。グループワークでは、各地域でグループを編成し地域の社会資源を明らかにした上で、問題点を抽出し地域リハ実践のための戦略（解決策）を導き出した。

以下に、グループワークで出された問題点、具体策を整理し報告する。

### 2. グループ構成

グループワークは地域単位で 1 グループ 6~8 名の 8 グループ（大分は 2 グループ構成）。

### 3. グループワークのまとめ

<北部（中津・宇佐高田）>

- ・中津市に脳神経外科の救急病院はあるが、その後の回復期の段階では受け皿が少なく他医療圏でリハが必要となる。
- ・脳神経外科病院には連携室がなく、窓口がはっきりしない。
- ・豊後高田市では、病院が限られ、救急搬送にも時間を要す。脳卒中の死亡率は高い。
- ・豊後高田市は、かかりつけ医を持つ住民が少なく、健康に対する意識が十分ではない。
- ・連携パスの運用がある。パスの普及で急性期・回復期・維持期で適切な情報を持って移行

できる体制に変えられるのではないか。

(逢坂先生のコメント)

- ・命に関わる問題が解決されていない。
- ・大分県内だけでなく福岡県との連携をも視野に入れ考えていかなくてはならない。
- ・住民の健康意識が変われば「かかりつけ医を持つ」意識付け・普及に繋がるかもしれない。

### <臼杵（臼杵市中心）>

- ・コスモス病院が中核病院となるが、脳神経外科がなく地元で治療が行えない。
- ・脳卒中患者は大分市内へ搬送するが、搬送時間要する（高速使用でも30分）。
- ・大分市内の病院との連携が十分ではない。
- ・臼杵市内でも開業医と医師会の関係が良好とは限らず連携が図りにくい。
- ・軽度脳卒中の場合、コスモス病院で入院となるが情報が十分にもらえない。

### (逢坂先生のコメント)

- ・コスモス病院は臼杵市の希望の星であり、入院して行方が分からなくなるのは非常にもったいない。
- ・地域を跨いで大分市の病院との退院調整に遠慮していないだろうか。グループワークでは、連携における苦労が垣間見えた。

### <大分>

- ・病院の窓口がはっきりしていない（主治医から直接ケアマネジャーに連絡が入ることも多々ある）。
- ・回復期病院では、退院後の生活をイメージしたリハケアの提供が行えているとは思えない。
- ・退院1ヶ月前にはケアマネジャーとの連携を持ってほしい。「明日、退院」と急に連絡を  
    もらっても動きようがない。

### (逢坂先生のコメント)

- ・医師からケアマネジャーに直接連絡できるルートがあるのは大事にするべきと思う。
- ・大分地域で病院↔在宅の連携システムが作れると他地域の連携も上手くいくだろう。

### <豊肥（豊後大野・竹田）>

- ・脳卒中になった場合、地域の急性期病院に一旦搬送されるが専門治療が必要となり、大分の病院へ搬送され入院となることが多い。大分の病院を退院する時には、紹介元である急性期病院には情報が届くが、かかりつけ医には情報がなく経緯や状況が十分に分からぬ。
- ・かかりつけ医が経緯や状況を把握できていないためにリハの指示が出せず必要なリハ提供に繋げられない。
- ・回復期病院はリハの量・質共に充実している。退院に向けては退院先の状況に合わせてリハの量・質を落として調整してもらいたい。

(逢坂先生のコメント)

- ・広域支援センターや保健所の協力等、まとまりがあるよう見える。病院↔在宅間が

どうあるべきか姿をイメージして協議を重ねると見えてくるものがあるかもしれない。

<南部（佐伯）>

- ・地域の中ではある程度連携できている。
- ・地域にあるインフォーマルな資源の活用が必要。173箇所あるいきいきサロンを上手く活用できないか。
- ・大分市との連携は上手くいっているとは言えない。距離の問題は、顔の見える連携の構築を難しくする。
- ・大分市との医療機関等との連携では、情報収集も兼ねて統一した連携シートの作成ができないか。

(逢坂先生のコメント)

- ・地域内での連携は円滑に行えているようだが、地域内で必ずしも急性期、回復期、維持期が完結はしない。大分市との連携体制の検討・構築が課題だと思う。
- ・団塊世代の男性陣が利用しようと思うデイサービスは、利用者が役割持てる内容があるかどうかだと思う。利用者自身が自分がいないとどうしようもないと思わせられるかどうかがポイントだろう。

<西部（日田玖珠）>

- ・日田市内に急性期病院はあるが、久留米市等福岡県との繋がりが強く地域内で完結しない。
- ・山間部等で生活する住民が多い割には、へき地までサービスが介入しない。社協によるヘルパーだけでどうにか生活を支えることが多い。
- ・福岡県の病院に入院すると、その後の行方が分からなくなってしまう。

(逢坂先生のコメント)

- ・「福岡県の病院に入院すると消えてしまう」のは何故なのか。

<東国東>

- ・地域内の職能団体との連携が横断的にできるとよい。
- ・包括支援センターがケアプランの立案に追われるのではなく、本当の意味でコーディネートの役割を担ってほしい。民生委員等、インフォーマルな資源を有機的に結び付けていける存在ではないか。

(逢坂先生のコメント)

- ・ネットワークは多数ある。しかし単一職種でネットワークが構築されていないだろうか。病院↔在宅における多職種が関わるネットワークが地域内にあるか、思い起こして見てほしい。病院↔在宅には、多職種多領域の関わりが必須で組織化が必要である。地域内になければ、必要性を地域内の様々な機関に呼びかけ組織すべき。

### 【まとめ】

- ・大分県全体で動かなければ解決しない問題も多いことが明らかとなった。  
→県リハセンターがコーディネートする役割を持つ
- ・かつての隣組制度が残る地域もある。地域の結びつきを活かして地域に即した形を作ることも必要。結びつきの中に入り込むことができれば、当事者となる住民が主体的に地域リハを広めることになる。
- ・多職種が集まって話す場がある地域は多くはない。戦略的に動くには多職種が話す場は必要不可欠。
- ・2次医療圏のコーディネートが必要だが、圏域のコーディネートができるのは「保健所」「広域支援センター」だけ。「保健所」と「広域支援センター」は助け合い協力体制を作る必要がある。この協力体制にその他の様々な機関が乗入れていくと連携は充実できる。

## 資料 2

### H22 年度地域リハ調整者・地域リハ協力員養成研修 3 日目

#### グループワークのまとめ

(平成 22 年 11 月 17 日開催 場所：湯布院厚生年金病院)

#### 佐伯グループ

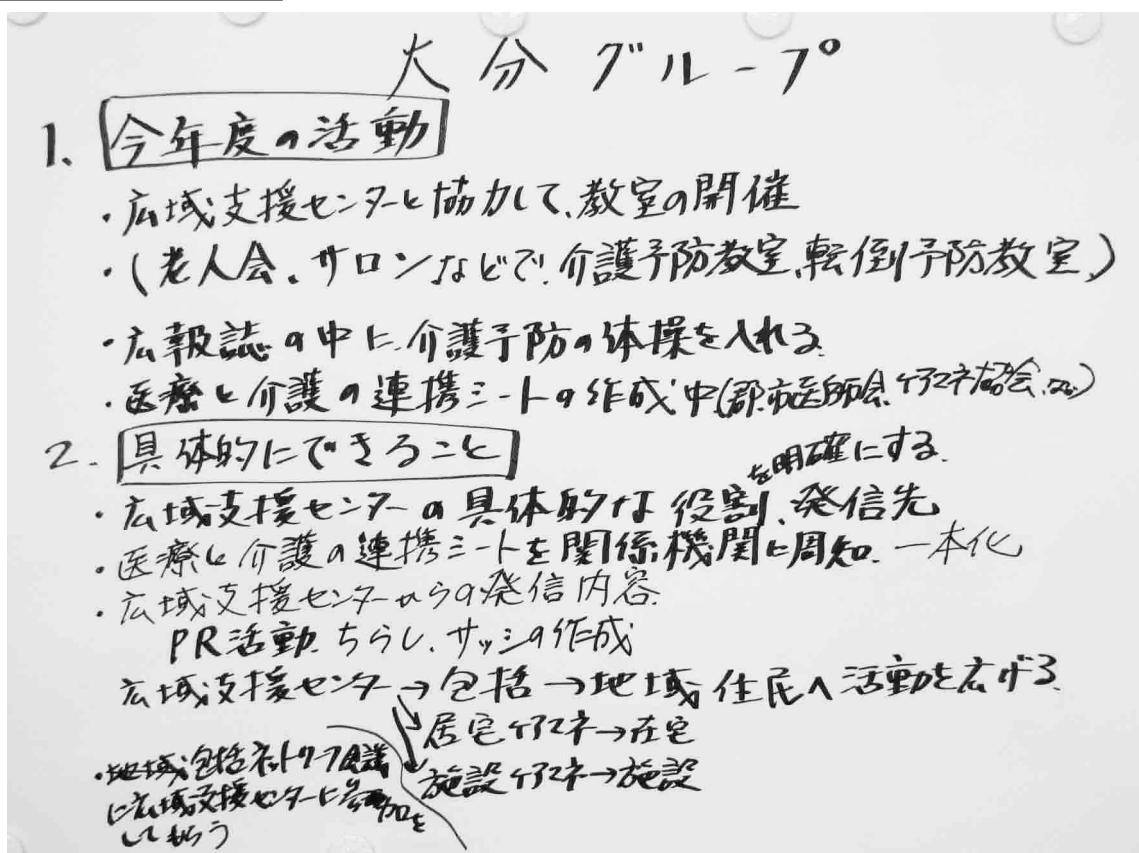
南部圏域

2. 広域支援センターとは？というところの周知徹底  
→ 地域ケア会議にて参加者へ周知。

- PT から、技術等 指導を終めた研修が出来る事を  
OT (※ デイの職員に対して) アピールする。  
ST etc. (サビス ケア) 顔合わせする。
- いきいきサロンの充実をはかり介護予防事業へ  
(サロンに参加してたら、リハビリが必要になった際) つなげる。  
サービスへつなげやすい
- 医療連携シートを書式統一出来るように包括へ依頼  
介護 (作成しようという下話をしている。)

広域支援センターが何をする所なのか十分に見えない。周知啓発の場として、既存の「ケア会議」を活用し、広く存在をアピールして欲しい。

## 大分グループ



介護支援専門員が広域支援センターの存在を十分に知らない。居宅介護支援事業所へ地域リハ活動の周知・啓発が必要ではないかと思う。また広域支援センターは介護支援専門員への研修を中心に、包括支援センターは在宅利用者への指導・教育と担う役割を分けたらよいのではないかと思う。

大分郡医師会、介護支援専門員等が中心となって医療と介護の連携シートを作成し、試験的な活用を開始している。

## 臼津グループ

1. 前回のグループワークを受けて、圏域の活動に  
変化はありましたか？
- ・H22年度臼津圏域地域ソーシャルテーション調整者・協力員会議  
に参加。
  - 大分市内の病院との連携方法
  - 門業医とのかかわり
  - 脳卒中に診断された場合
  - 地域包括と広域支援センターの関係
  - 臼津地域の特徴
- 現状理解につながった

臼津圏域

2. 広域支援センター、保健所、包括支援センターを中心  
に具体的に出来る事
- (広域支援センター)
- ・事業や会議の内容など、他スタッフにも  
情報共有
  - ・会議研修内容をまとめて報告・回覧
- (保健所・市)
- ・広域支援センターと共催しての研修会
  - ・実務者会議に参加・情報の共有
- (包括支援センター)
- ・各事業所職員の資質の向上・情報の共有を  
図る目的でヘルパーステーション・デイサービス等事業所  
職員の参加をつくる(実務者会議)

一部のスタッフが現状を把握している状況を改善する必要がある。

## 北部グループ

北部

北部1

### 1. 圏域の活動に変化は?

豊後高田市 = 地域包括センター内部で共育できた（活動の意味・目的・広域化）  
・行政の活動には継続性が課題  
（累動により、せっかく培ったものがつなげない。）  
セントラル意味

・福祉行政だけでは困難、巻き込み必要。

宇佐市 = 市の地域ケア会議に正式参加となった  
・地域の利用者の困り事など、生の声をきける  
・広域リハセンター活動のため、つながりをつける

### 2. 今後具体的にできること

豊後高田包括

- ・ケア会議への広域リハセンターの参加及びメンバー構成員として
- ・脳卒中パスの検証
- ・広域リハセンターを相談先としておねがいする。

H.C

- ・脳卒中連携パスの役割表作成によって実務へ反映（すでにメンバー）
- ・脳卒中（検証と普及啓発）  
(当事者にとっての意味づけ)  
県医療機能情報が活かせていない。

ケアプラン  
適正化

- ・地域のケアマネの多忙化
- ・急性期には行かない人のつなぎ先。
- ・回復期の病棟  
地域の支援者がおりません。

### 3. 広域支援センター事業に盛り込むもの

北部2

#### ① 研修機能

- ・H.C の介護従事者等への参画
- ・リハビリハイ改善、維持されている事例を用いた研修会の参画
- ・ケアプラン等に反映できる様に、研修内容を改善

#### ② 地域連携の促進に向けて

- ・主たる支援者となるケアマネが主体的に実施できる様にしていくため  
どうすれば「主体的に動けますか？」  
①改善している事例をみる機会をつくる。  
②参加率をUPさせるためには…総会（ケアマネ）  
③主な居宅サービスとの巡回、同行訪問。

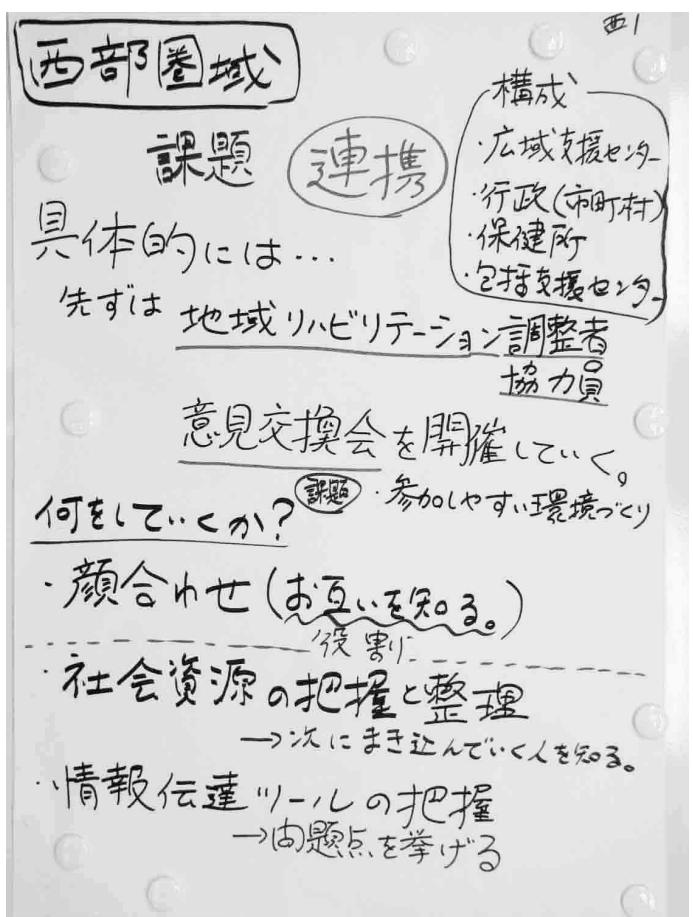
#### ③ 各機関の機能集約（市・包括・H.C・広域リハ・ケアマネ協議会）

次年度の事業計画のすり合せと年間スケジュールを作成

- ④現行の事業の把握
- ⑤カテゴリー化と効率性

各機関がそれぞれ目的を持ち事業を展開しているが、同様の事業が行われることがある。共通目的となる事業は効率的に行えるよう事業計画立案前に、実務者レベルで打ち合わせを行うことになった。中心的に動く所は保健所もしくは広域支援センターが望ましいが、今後検討とする。【宇佐高田地域】

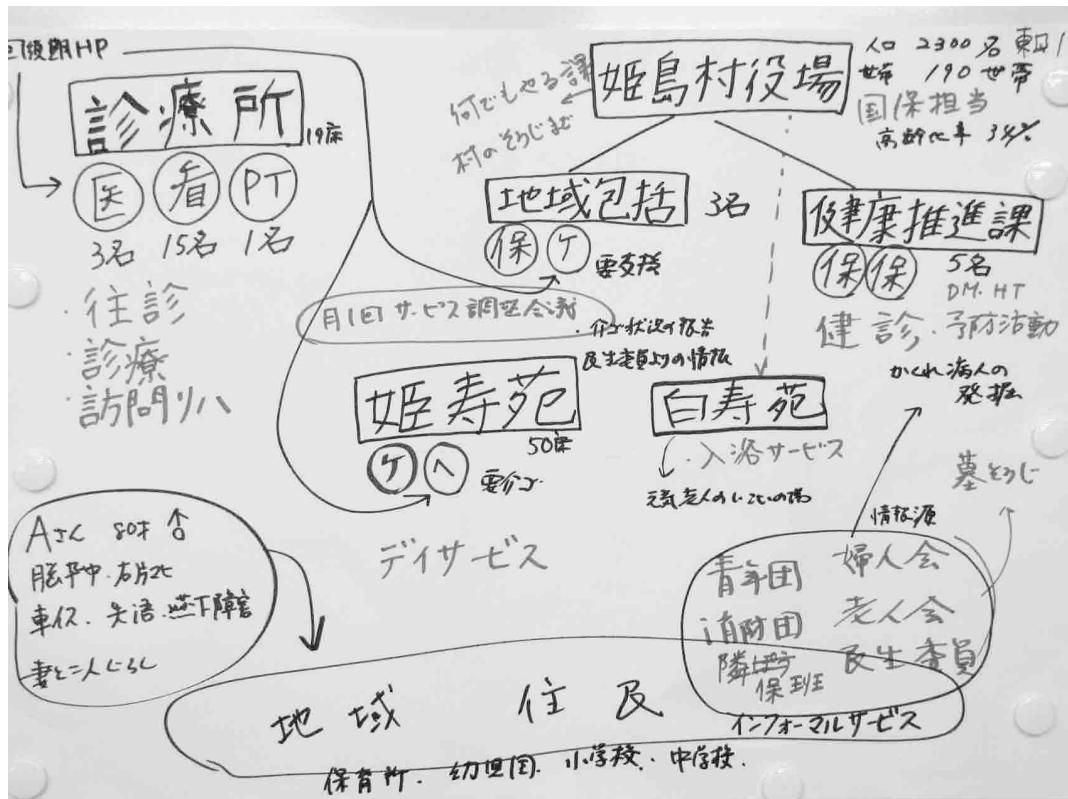
## 日田玖珠グループ



- 実行する為の課題**
- 西2
- ・他職種と共有できる情報伝達 "一" しが欲しい。(共通言語)
  - ・情報伝達をする上での窓口が欲しい。
  - ・情報伝達 "一" しが対象者の基準がない。
  - ・病院(施設)によって情報提供書の内容がバラバラである。
  - ・病院内の他職種の視点、役割を知る。 → 縦の連携と横の連携

調整者・協力員の意見交換会を定期的に開催して社会資源の把握と問題点を整理していく。そして、将来的には多職種を介する六者（七者）合同研修会に繋げる。

## 東国東グループ



〈具体的にできること〉

- ・診療所、地域包括、  
姫寿苑での情報共有が  
充実している

- ・インフォーマルサービスが  
充実している

〈広域支援センターに  
関わってもらいたいこと〉

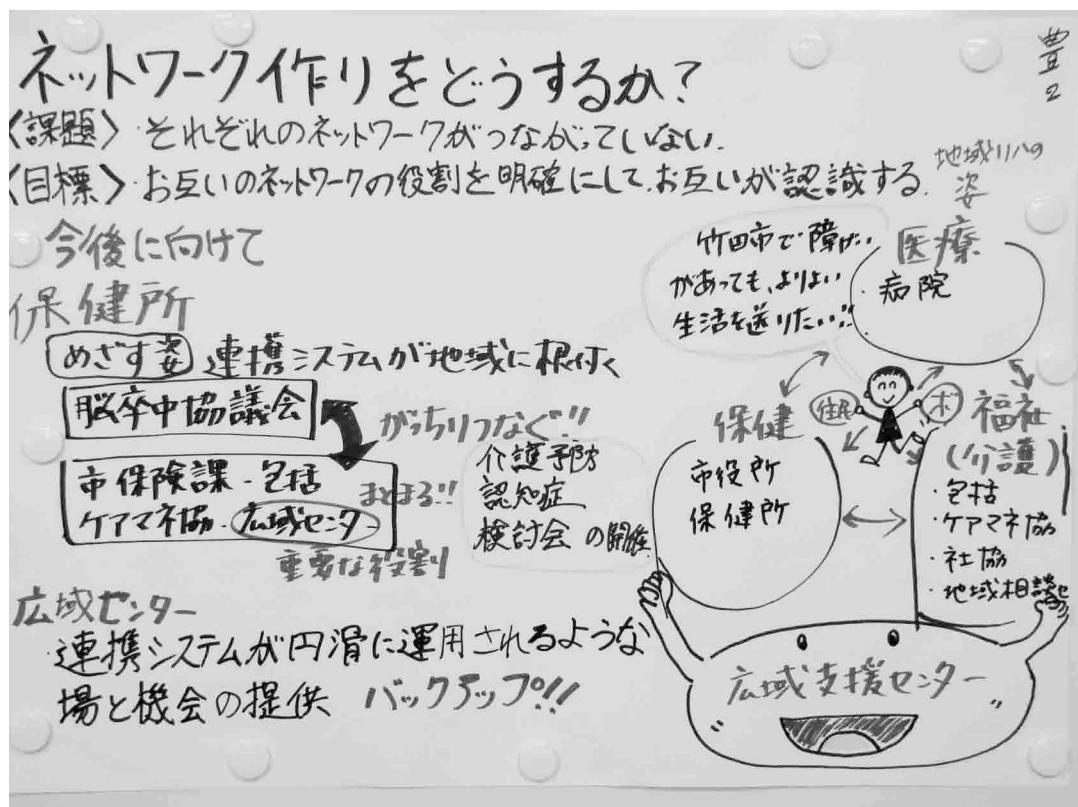
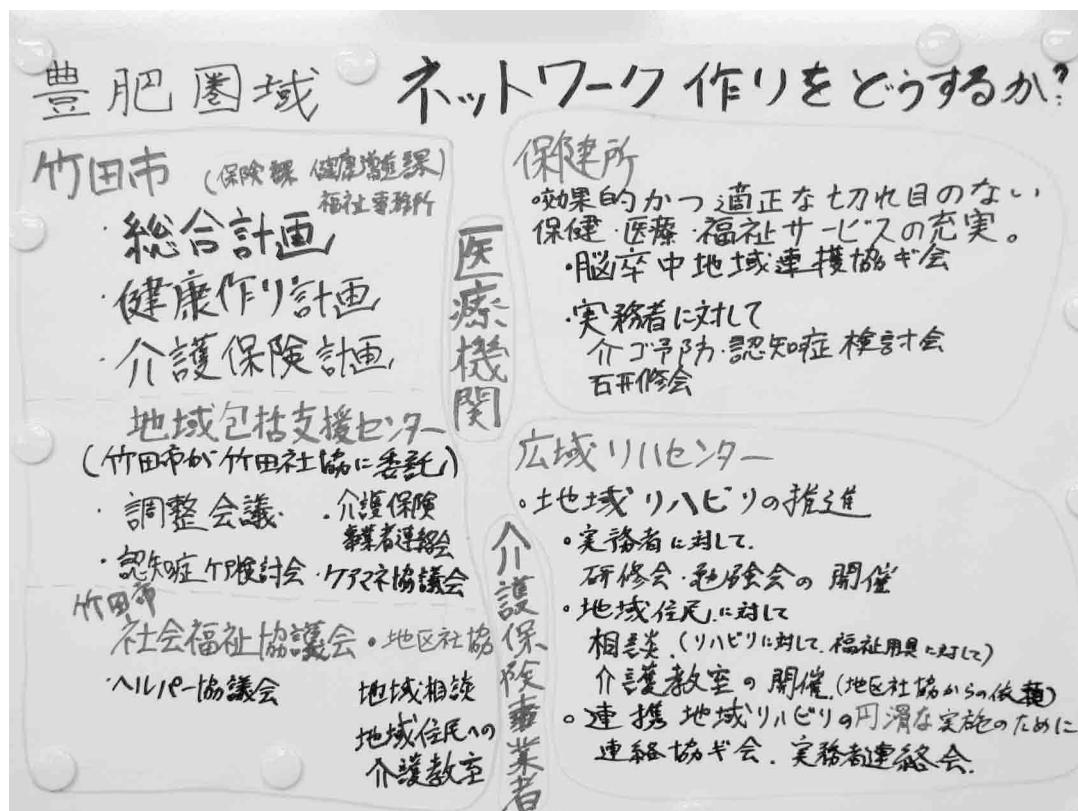
(課題として)

- ・地域包括と健康推進課  
間での連携  
→月1回のサービス調整会議  
への参画への協力  
・予防治活動への助言

【姫島村の受講生のみであり、姫島村における地域リハ活動を考えた】

姫島村では、インフォーマルな資源が力を発揮している現状がある。広域支援センターには、月1回定期開催されるサービス調整会議に加わってもらい介護予防活動や保健指導等の場面で関わってもらいたい。

## 大野・竹田グループ



それぞれの機関がそれぞれの目標を持って活動しているが、今後広域支援センターとして一層連携を深めていく 1 つの切り口として、保健所が取り組んでいる「脳卒中協議会」に参加して連携システムが円滑に運用されるようにバックアップする役割を期待したい。

### 資料3 地域リハ調整者・地域リハ協力員 圏域別人数

地域名	市町村、保健所、広域支援センター名	H22年度	H21年度	H20年度	H19年度	H17年度	H16年度	H15年度	合計
東国東	国東市	0	0	2	—	—	—	—	2
	国見町	—	—	—	0	1	0	0	1
	国東町	—	—	—	0	0	0	1	1
	武藏町	—	—	—	1	0	1	0	2
	安岐町	—	—	—	0	0	0	0	0
	姫島村	1	0	0	0	1	0	0	2
	東部保健所国東保健部	0	0	0	—	—	—	—	0
	国東保健所	—	—	—	0	0	0	1	1
	国東市民病院	0	0	0	0	1	1	0	2
	国東市地域包括支援センター	1	0	0	0	—	—	—	1
別杵速見	別府市	0	0	0	0	1	0	0	1
	杵築市	0	0	0	0	0	1	1	2
	日出町	0	0	0	1	1	0	0	2
	東部保健所	0	0	0	—	—	—	—	0
	別府県民保健福祉センター	—	—	—	1	1	0	0	2
	別府県民保健福祉センター日出保健支所	—	—	—	1	0	0	0	1
	別府リハビリテーションセンター	0	1	1	1	1	1	1	6
	杵築市地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
	日出町地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
	泰生の里地域包括支援センター	0	1	0	0	—	—	—	1
大分	大分市	1	1	4	2	0	1	0	9
	由布市	0	0	0	0	0	1	1	2
	中部保健所由布保健部	0	0	0	—	—	—	—	0
	別府県民保健福祉センター由布保健支所	—	—	—	0	1	0	1	2
	大分市保健所	0	0	0	0	0	1	0	1
	井野辺病院	0	2	1	0	1	1	1	6
	大分岡病院	0	1	1	0	1	1	1	5
	上野ヶ丘・碩田地域包括支援センター	0	1	1	0	—	—	—	2
	城南・賀来地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
	城東地域包括支援センター	0	0	1	1	—	—	—	2
	原川・鶴崎地域包括支援センター	1	0	2	0	—	—	—	3
	明野地域包括支援千tなー	1	0	0	0	—	—	—	1
	王子・大分西地域包括支援センター	2	0	0	0	—	—	—	2
	大東・東陽地域包括支援センター	0	1	1	1	—	—	—	3
	植田・植田西地域包括支援センター	1	0	0	4	—	—	—	5
	植田南・植田東地域包括支援センター	—	0	1	2	—	—	—	3
	植田東地域包括支援センター	1	1	—	—	—	—	—	2
	植田南地域包括支援センター	1	1	—	—	—	—	—	2
	植田西地域包括支援センター	0	1	—	—	—	—	—	1
	竹中・判田地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
	佐賀関・神崎地域包括支援センター	0	0	1	1	—	—	—	2
	由布市地域包括支援センター庄内事務所	0	0	1	1	—	—	—	2
	由布市地域包括支援センター挾間事務所	0	0	1	0	—	—	—	1
	由布市地域包括支援センター湯布院事務所	0	0	0	1	—	—	—	1
臼津	臼杵市	0	1	0	1	0	0	0	2
	津久見市	0	1	0	0	0	1	1	3
	中部保健所	0	1	0	—	—	—	—	1
	臼杵保健所	—	—	—	0	1	1	1	3
	臼杵市医師会立コスマス病院	2	0	2	2	1	1	1	9
	臼杵市地域包括支援センターコスマス	1	2	1	0	—	—	—	4
佐伯	佐伯市	3	1	0	2	2	2	2	12
	佐伯市上浦振興局	0	0	0	1	0	0	0	1
	佐伯市米水津振興局	0	0	0	1	0	0	0	1
	南部保健所	0	0	0	—	—	—	—	0
	佐伯県民保健福祉センター	—	—	—	1	1	1	1	4
	長門記念病院	0	0	0	0	1	1	1	3

大野	豊後大野市	0	0	0	0	1	0	3	4
	豊肥保健所	2	0	0	—	—	—	—	2
	大野県民保健福祉センター	—	—	—	1	1	1	1	4
	岡本病院	0	0	2	0	1	0	1	4
竹田	竹田市	1	0	0	0	1	0	3	5
	竹田保健所	—	—	—	0	1	1	1	3
	大久保病院	1	1	1	1	1	1	1	7
	日田玖珠	0	0	0	0	0	1	2	3
日田玖珠	九重町	0	0	0	0	0	1	0	1
	玖珠町	1	0	0	0	1	1	0	3
	西部保健所	1	0	0	—	—	—	—	1
	日田玖珠県民保健福祉センター	—	—	—	0	1	0	1	2
	大分県済生会日田病院	1	2	0	0	1	0	1	5
	日田市西部地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
	日田市南部地域包括支援センター	0	0	2	0	—	—	—	2
	日田市中央地域包括支援センター	0	2	2	0	—	—	—	4
	日田市東部地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
	中津	中津市	0	0	0	0	1	0	2
中津	北部保健所	1	0	1	—	—	—	—	2
	中津保健所	—	—	—	1	1	0	1	3
	川篠整形外科病院	0	0	0	0	1	1	1	3
	中津市地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
	宇佐高田	宇佐市	0	0	0	1	1	2	6
宇佐高田	豊後高田市	0	0	0	0	0	1	0	1
	北部保健所豊後高田保健部	0	0	0	—	—	—	—	0
	宇佐高田県民保健福祉センター宇佐保健部	—	—	—	0	1	0	1	2
	宇佐高田県民保健福祉センター豊後高田保健部	—	—	—	1	0	0	0	1
	介護老人保健施設清流荘	0	0	0	0	1	1	0	2
	宇佐圈域地域包括支援センター	0	0	1	0	—	—	—	1
	安心院圈域地域包括支援センター	0	1	1	0	—	—	—	2
	院内圈域地域包括支援センター	0	0	0	1	—	—	—	1
	豊後高田市地域包括支援センター	2	2	0	0	—	—	—	4
	県リハセンター	6	7	6	5	3	4	4	35
	計	32	34	48	37	34	31	40	256

※H22年度末現在



# 大分県地域リハビリテーション

## 広域支援センター活動報告

＜記載項目＞

- ①連絡協議会運用規程
- ②事業報告
- ③その他地域リハ関連活動
- ④次年度へ向けた課題



## 東部圏域 東国東地域



センター長 粕井 真二



担当窓口 中村 晋也

### 1. 連絡協議会運用規定

昨年度同様、変更なし

### 2. 事業報告

<地域リハビリテーション実施機関への支援>

- ア 地域住民への対応に係る支援
- イ 福祉用具、住宅改修等相談への対応に係る支援

年間相談件数：34 件

(福祉用具関係 10 件・改修関係 4 件・摂食嚥下関係 3 件  
・その他、地域住民への対応 17 件)

<リハビリテーション施設の共同利用>

年間共同利用調整件数：11 件 (勉強会 6 件・体験学習 5 件)

※大分大学 OA 入試 ※救急救命士病院体験実習

<講師派遣>年間技術援助件数：16 件

- ① 4月 15 日：健康体操について
- ② 6月 14 日：一般高齢者に対する口腔機能について
- ③ 8月 25 日：健康体操の実技指導
- ④ 10月 14 日：転倒予防ボランティアフォローアップ研修会
- ⑤ 11月 4 日：口腔ケア研修会
- ⑥ 11月 17 日：国見町元気高齢者健やかサロン交流会
- ⑦ 11月 19 日：安岐町元気高齢者健やかサロン交流会
- ⑧ 12月 3 日：在宅歯科保健関係者研修会
- ⑨ 12月 1 日：国東市保健推進委員研修会
- ⑩ 12月 13 日：武蔵町元気高齢者健やかサロン交流会
- ⑪ 12月 17 日：国東町元気高齢者健やかサロン交流会
- ⑫ 12月 25 日：出前いちにち介護予防教室
- ⑬ 1月 26 日：出前いちにち介護予防教室
- ⑭ 2月 9 日：転倒予防とリハビリテーション

(大分県社会福祉介護研修センター)

- ⑯ 3月 5日：口腔機能向上による高齢者施設入所者の健康増進セミナー  
(国診協事業に協力)
- ⑰ 3月 12日：口腔機能について

<研修会>

日 時：平成 22 年 7 月 13 日 (火) 18:30～  
場 所：国東市民病院大会議室  
内 容：介護者として知っておいてほしい口腔疾患  
講 師：大分大学医学部歯科口腔外科学講座 教授 河野憲司 先生  
参 加 者：120 名

日 時：平成 22 年 10 月 12 日 (火) 18:15～  
場 所：武蔵町保健センター  
内 容：「認知症ケア」  
講 師：高田中央病院 認知症看護認定看護師 後藤聰美 先生  
参 加 者：183 名

<連絡協議会>

開催なし。以下の会議を開催。

- ※ 6月 29 日 (火) 介護予防事業事前検討会議  
※ 7月 6 日 (火) 地域リハビリ院内検討会議  
※ 8月 4 日 (水) 22年度 第1回介護予防推進チーム連絡会議  
※ 8月 5 日 (木) 大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会  
※ 8月 19 日 (木) 22年度 第1回在宅歯科保健医療対策協議会  
※ 11月 25 日 (木) 東部保健所圏域介護予防検討会議及び認知症地域支援推進会議  
※ 2月 24 日 (木) 22年度地域歯科保健検討会及び第2会在宅歯科診療検討協議会

3. その他地域リハ関連の活動

①国東市転倒予防教室・追跡地区での健脚度測定における指導派遣 (3 地区)

②平成 22 年 4 月 17 日 (土) 糖尿病患者お花見  
参加者：43 名

③平成 22 年 9 月 25 日 (土) 糖尿病患者ウォークラリー (大分農業文化公園)  
参加者：当院 46 名 (全体 107 名)

④市内ふるさと祭り 健康相談 (安岐・武蔵・国東・国見)

⑤くにさき地域ケア推進会議 (通称ホットネット) : 10 回開催

※くにさき地域ケア推進会議（通称ホットネット）は国東市、姫島村における保健医療福祉介護活動の重要性を認識し、それぞれの分野における活動上の問題を調査研究するとともに会員相互の親睦と資質の向上を図り、もって東国東地域住民が安心して生活できるような社会の発展に寄与することを目的としており、運営委員は国東市及び姫島村の保健医療介護の各種関係者によって構成し、各職域及び地域性を考慮した構成員とし、おおむね 20 名程度で構成されている。また、顧問、相談員を設置し、通常会議に出席依頼している。

#### 4. 次年度へ向けた課題

ホットネットの更なる発展・充実

※圏域ごとの地域包括支援センター、保健所連絡先一覧（東部圏域）は  
P 56に記載

## 東部圏域 別杵速見地域



センター長 本田 昇司



担当窓口 山形 茂生

### 1. 連絡協議会設置要綱

(構 成)

第3条 協議会は次の委員によって構成する。

- (1) 広域支援センター長
- (2) 医師会代表
- (3) 歯科医師会代表
- (4) 別府県民保健福祉センター代表
- (5) 別府市社会福祉協議会代表
- (6) 大分県介護老人保健施設協会代表
- (7) 大分県介護老人福祉施設協議会代表
- (8) (社) 大分県看護協会代表
- (9) 大分県介護支援専門員連絡協議会代表
- (10) (社) 大分県理学療法士協会代表
- (11) (社) 大分県作業療法協会代表
- (12) 大分県言語聴覚士会代表
- (13) 大分県歯科衛生士会代表
- (14) 日本社会福祉士会大分県支部代表
- (15) 障がい者の会等の代表
- (16) 別府市地域包括支援センター
- (17) 杵築市地域包括支援センター
- (18) 日出町地域包括支援センター

附則 この設置要綱は平成22年4月1日から施行する。

### 2. 事業報告

<支援・相談>

地域住民の相談への対応に係る支援

16件

福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援 リハビリテーション施設の共同利用	14 件 0 件
--	-------------

#### <研修会>

日 時：平成 22 年 9 月 14 日（火）  
 場 所：日出町保健福祉センター 多目的ホール  
 内 容：在宅・施設で活かすコミュニケーションアプローチ  
     ～よい会話パートナーになるために～  
 講 師：小林典子（別府リハビリテーションセンター：言語聴覚士）  
 参加者数：52 名



日 時：平成 23 年 3 月 18 日（金）  
 場 所：日出町保健福祉センター 多目的ホール  
 内 容：難病患者の在宅支援について  
     ～訪問看護の事例を通して～  
 講 師：安藤いつ子  
     （別府医師会訪問看護ステーション：訪問看護認定看護師）  
 参加者数：38 名

#### <技術援助小規模研修会> 16 回

#### <連絡協議会>

日 時：平成 23 年 3 月 23 日（水） 14：00～15：00  
 場 所：別府リハビリテーションセンター 4 階研修室

#### 3. その他地域リハ関連の活動

- ・管轄地域内（別府市・杵築市・日出町）の地域包括支援センターが主催する連絡協議会への参加（12回）
- ・別府市地域包括支援センター運営会議への参加
- ・別府支援学校会議への参加
- ・地域ケア連携システム会議（別府市医師会主催）への参加
- ・保健所関係の会議などへの参加

#### 4. 次年度へ向けた課題

- ・地域包括ケアシステム会議との連携
- ・リハ資源マップの改訂

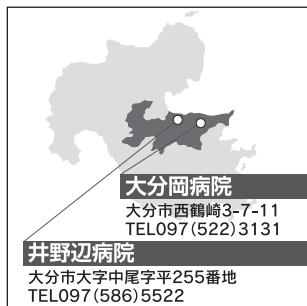
## 地域包括支援センター、保健所連絡先一覧(東部圏域)

保健所	〒	住所	TEL	FAX	調整者・協力員氏名
東部保健所	874-0840	別府市大字鶴見字下田井14-1	0977-67-2511	0977-67-2512	佐藤 裕子 阿南恵理香
東部保健所国東保健部	873-0504	国東市国東町安国寺786-1	0978-72-1127	0978-72-3073	植木 小百合

地域包括支援センター名	〒	住所	TEL	FAX	調整者・協力員氏名
国東市地域包括支援センター	873-0412	大分県国東市武蔵町古市1086-1	0978-68-0247	0978-68-1677	
国東市地域包括支援センター 国見支所	872-1401	大分県国東市国見町伊美2300-2	0978-82-0800	0978-82-0742	
姫島村地域包括支援センター	872-1501	大分県東国東郡姫島村1560番地の1	0978-87-3223	0978-73-7000	
泰生の里地域包括支援センター	874-0843	大分県別府市大字鶴見字中山田1068番地1	0977-67-6554	0977-66-9965	
地域包括支援センター 一燈園	874-0919	大分県別府市石垣東3丁目726番地	0977-73-8989	0977-21-2348	
地域包括支援センター いでゆの園	874-0023	大分県別府市上人ヶ浜町9組	0977-66-5855	0977-66-8251	
地域包括支援センター はるかぜ	874-0833	大分県別府市大字鶴見4136-2	0977-23-5582	0977-26-2506	
地域包括支援センター ひまわり	874-0901	大分県別府市中島町14番22号	0977-25-6811	0977-25-6801	
地域包括支援センター 茶寿苑	874-0041	大分県別府市北鉄輪3組	0977-66-6788	0977-66-5377	
和幸苑地域包括支援センター	874-0016	大分県別府市野田1490	0977-66-8844	0977-67-3608	
杵築市地域包括支援センター	879-1307	大分県杵築市山香町大字野原1010-2	0977-75-1111		
日出町地域包括支援センター	879-1509	大分県速見郡日出町2974番地1	0977-73-3115	0977-72-7915	

※調整者・協力員氏名にあるのは、大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会会員の氏名(H23.2.1現在)

## 中部圏域 大分地域



センター長 葉玉 哲生 担当窓口 山田 康二 担当窓口 大塚未来子  
(大分岡病院)



センター長(井野邊病院) 担当窓口  
井野邊純一 後藤 直哉



担当窓口 佐藤 晓



担当窓口 佐藤 豊秀



担当窓口 森田 有紀

### 1. 連絡協議会運用規定

#### (目的)

大分中部圏域における地域リハビリテーション支援体制を地域リハビリテーション支援センターと各団体が協力し合って推進していく為の協議機関として大分県地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会を設置する。

#### (構成)

会議の構成は以下の通りとする。

- 1) 中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター：センター長と実行委員会委員
- 2) 関係団体：各団体代表者（希望があれば同伴者 2名以内可能とする）

#### (会議)

会議の開催は原則年 1回とする。

- 1) 会議には議長・副議長を置く。議長は中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター実行委員長が努め、副議長は副実行委員長が務める。
- 2) 副議長は議長を補佐し、事故ある時はその職務を代行する。

附則：この運用規定は平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

#### <連絡協議会委員名簿>

大分県地域リハビリテーション支援センター 大分県歯科医師会  
全国パーキンソン病友の会大分県支部 大分脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会  
大分県理学療法士協会 大分県作業療法協会 大分県言語聴覚士協会  
大分県栄養士会 大分市長寿福祉課 大分市保健所 大分県看護協会  
大分県介護福祉士会 大分県地域リハビリテーション研究会 大分県歯科衛生士会  
大分市居宅介護支援事業連絡協議会 大分県ホームヘルパー協議会 (順不同)

## 2. 事業報告

<地域リハビリテーション実施機関への支援>

- ア 地域住民の相談への対応に係る支援
- イ 福祉用具、住宅改修等の相談への対応に係る支援

年間相談件数：15 件

<リハビリテーション施設の共同利用>

- ア 共同利用調整件数 A  
(リハが必要な住民のために利用調整を実施した場合) 2 件
- イ 協働利用調整件数 B  
(研修会等リハ従事者のために利用調整を実施した場合) 12 件

<連絡協議会>

日 時：平成 23 年 3 月 9 日（水）

場 所：井野辺病院

<研修会>

日 時：平成 22 年 10 月 3 日（日）

場 所：株アステム 4 階大会議室

内 容：「認知症の方を地域で支えていくために」

参加者数：108 名

日 時：平成 23 年 2 月 6 日（日）

場 所：大分岡病院 リハビリテーション室

内 容：「お口のお手入れと安全な食べ方」

参加者数：140 名

## 3. その他地域リハ関連の活動

### 4. 次年度へ向けた課題

#### (1) 研修会の開催

開催予定：年 2 回

研修内容：「認知症を考える会（仮題）」

「お口のお手入れと安全な食べ方（仮題）」

#### (2) 地域包括支援センターとの連携強化

- ・地域特性を活かした研修会等の行事を協働で開催していく
- ・連携がとれていない箇所との連携
- ・地域リハ協力員養成の啓発活動

※圏域ごとの地域包括支援センター、保健所連絡先一覧（中部圏域）は

P 63 に記載

## 中部圏域　臼津地域



センター長 安田 正之



担当窓口 竹村 仁

### 1. 連絡協議会運用規定

#### (目的)

(1) 中部圏域臼杵・津久見地域リハビリテーション広域支援センター（以下、広域支援センター）の事業立案に向けた情報収集、並びに事業の円滑な運営に向け、圏域内の保健・医療・福祉分野における専門職能団体間の緊密な協力と調整を図ることを目的に、臼津地域リハビリテーション連絡協議会を設置する。

#### (構成)

(2) 連絡協議会の構成は以下の通りとする。

1) 各団体代表：臼杵市・津久見医師会、福祉施設代表、理学療法士協会、作業療法協会、言語聴覚士会、地域包括支援センター、身体障害者支援センター、保健所、各市町村（保健師）、医療ソーシャルワーカー協会、歯科医師会、歯科衛生士会

2) 広域支援センター事務局長および事務局スタッフ

※但し、2) の構成員は議決に際する投票権は無いものとする。

#### (会議)

(3) 会議の開催は、原則年1回とする。

1) 会議には議長を置く。議長はセンター長が務める。

2) 会議の招集はセンター長が書面により通知する。

(4) 委員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

#### 附則

この運用規定は平成16年2月10日から施行する。

<連絡協議会委員名簿>

組織	所属・役職	氏名
津久見市医師会	理事	小田泰生
臼杵市医師会	理事	吉田史郎
臼津歯科医師会	副会長	佐藤真一
中部保健所長	所長	内田勝彦
中部保健所保健師	保健師	大平純子
地域包括支援センター	調整員・協力員	久保田美代子
理学療法士協会	コスモス病院	安藤真次
介護支援専門員	四季の郷	疋田恵智子
臼杵市役所	保健師 調整員・協力員	芳山小百合
津久見市市役所	保健師 調整員・協力員	宇都宮和子
臼杵保健所	保健師 調整員・協力員	大平純子
作業療法協会	つくみかん	野村修
言語聴覚士会	コスモス病院	松本典子
居宅介護支援事業所	調整員・協力員	神品香代
医療ソーシャルワーカー協会	コスモス病院 調整員・協力員	野上美智子
歯科衛生士会		矢川淳子
津久見中央病院	医療ソーシャルワーカー 調整員・協力員	中村賢介
広域支援センター長		安田正之

2. 事業報告

<連絡協議会>

日 時 : 平成 23 年 3 月 23 日 13:00~

場 所 : 臼杵市医師会立コスモス病院 大会議室

<調整者・協力員会議>

日 時 : 平成 22 年 11 月 1 日 13:30~14:30

場 所 : 臼杵市医師会立コスモス病院 中会議室

<地域のリハビリテーション従事者に対する研修会> 3回

日 時 : 平成 22 年 6 月 2 日  
場 所 : 白杵市医師会立コスモス病院 大会議室  
内 容 : あなたが必要な情報とは?  
講 師 : 野上美智子 MSW  
対 象 : 地域のリハビリテーション従事者  
参加者数 : 90 人



日 時 : 平成 21 年 8 月 26 日  
場 所 : 白杵市市民会館 大ホール  
内 容 : 白杵市と共同開催  
白杵認知症市民フォーラム  
－認知症予防のできるまちづくりをめざして－  
講 師 : 大分大学医学部 総合内科学第三講座 講師 木村成志  
鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座環境保健学分野  
教授 浦上克哉

パネルディスカッション

白杵市医師会立コスモス病院 理学療法士 安藤真次  
地域包括支援センターコスモス 社会福祉士 川野壮彦  
認知症の人と家族の会 世話人代表 中野孝子  
白杵市認知症を考える会／白杵市医師会 藤野孝雄  
白杵市長 中野五郎

対 象 : 地域住民およびリハビリテーション従事者  
参加者数 : 1679 人

日 時 : 平成 22 年 11 月 25 日  
場 所 : 白杵市医師会立コスモス病院 大会議室  
内 容 : 「がんの終末期リハビリテーション」  
講 師 : 千葉県立保健医療大学 安部能成准教授  
対 象 : 地域のリハビリテーション従事者  
参加者数 : 75 人



<地域のリハビリテーション従事者および住民に対する実地指導> 13回

期日	テーマ	講師	参加人数	依頼者(事業所)
1 6月18日	健康体操	PT本田・関・近藤	40	緑の園
2 7月8日	リハビリを通して健康づくり	PT竹村	56	下の江ふれあい学園
3 8月17日	面接技法 実践的アプローチ	MSW野上	40	ケアマネ研修 白杵・野津会場 地域包括
4 10月13日	メタボと運動とダイエット	PT竹村	33	ケアマネ研修 地域包括
5 10月19日	膝痛予防と減塩	PT竹村	21	津久見市保健師より 無垢島にて
6 10月19日	面接技法 面接手順	MSW野上	42	ケアマネ研修 白杵・野津会場 地域包括
7 11月18日	バーキンソン病と運動療法	PT竹村	7	保健所保健師より 難病相談会
8 11月18日	ボディメカニクスからみた介護技術	PT本田	32	ケアマネ研修 地域包括
9 12月21日	面接技法 ロールプレイ	MSW野上	45	ケアマネ研修 白杵・野津会場 地域包括
10 1月19日	介護予防と運動の実践	PT三重野	42	津久見市事業 介護予防推進委員養成
11 1月21日	介護予防と運動の実践	PT安藤	35	津久見市事業 介護予防推進委員養成
12 1月25日	介護予防と運動療法	PT本田	7	白杵市(野津)事業 特定高齢者の介護予防
13 3月4日	減塩と生活習慣病について	PT竹村	25	下ノ江ふれあい学園
		合計	425	名

### 3. その他 地域リハ関連の活動

- ① 広域支援センターとして地域連携についての取り組みを行ってきた内容について、第3回地域リハビリテーションケア研究大会（2010.10.31）にて作業療法士の石川聰美が『顔の見える地域連携を目指して-職種ごとに必要としている情報は違う-』のタイトルでポスター発表した。
- ② 白杵市介護予防サポーター「ほっといきいきサポーター」の養成研修会への企画協力・講師派遣（竹村）を行い、1期生24名が8回の講座を受講し、白杵市長より終了書を授与された。  
「ほっといきいきサポーター」は、地域の健康教室で運動指導などをする際、保健師らを手伝う。  
さらに指導技術を高めたい人には、県の「高齢者のための健康・体力づくり指導者養成講習会」の受講料を市が補助することになっている。



白杵市認定	第 号	表
<b>ほっと！！生き生きサポーター証</b>		
氏名		
上記の者を、白杵市介護予防サポーター養成講座を修了した、「ほっと！！生き生きサポーター」として認定します。		
平成23年4月1日		白杵市長
		公印



白杵市認定介護予防サポーター養成講座修了証	裏
白杵市 保健健康課	
研修受講の記録 (技能向上させるため、スキルアップ研修を受けてください)	
<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	

- ③ 地域包括支援センター運営協議会へ委員（竹村）を派遣。

#### 4. 次年度へ向けた課題

- ① 野津地域・津久見市での広報の充実と事業の拡大を図る
- ② 津久見市での「脳卒中の予防の研修会」を企画する
- ③ 地域包括が多くの地区に出向いているため、同行し技術援助を行うこと検討していく
- ④ 全国介護サミットへの協力

#### 地域包括支援センター、保健所連絡先一覧(中部圏域)

保健所	〒	住所	TEL	FAX	調整者・協力員氏名
大分市保健所健康課	870-8506	大分市荷揚町6番1号	097-536-2516	097-532-3250	鈴木 由美 佐古 朋子
中部保健所	875-0041	大分県臼杵市大字臼杵字洲崎72-34	0972-62-9171	0972-62-9173	
中部保健所由布保健部	879-5421	由布市庄内町柿原337-2	097-582-0660	097-582-0691	小幡 尚美 佐田 美貴江

地域包括支援センター名	〒	住所	TEL	FAX	調整者・協力員氏名
明野地域包括支援センター	870-0165	大分県大分市明野北2-15-2 第2岩本ビル101号	097-556-3600	097-556-3633	
上野ヶ丘・碩田地域包括支援センター	870-0026	大分県大分市金池町4丁目2-1 フジタコーポ	097-513-5103	097-513-5134	
王子・大分西地域包括支援センター	870-0814	大分県大分市南王子町2丁目8-4	097-544-1223	097-544-0876	
大在・坂ノ市地域包括支援センター	870-0307	大分県大分市坂ノ市中央2丁目6-3	097-528-9295	097-528-9296	
佐賀関・神崎地域包括支援センター	879-2201	大分県大分市大字佐賀関966番地18	097-575-0337	097-575-0338	幸 真由美 山崎 栄子
城東地域包括支援センター	870-0907	大分県大分市大津町2丁目1-41	097-558-6285	097-558-6286	友 昌世
城南・賀来地域包括支援センター	870-0889	大分県大分市荏隈2丁目2組	097-545-1030	097-545-1058	首藤 晃子
大東・東陽地域包括支援センター	870-0116	大分県大分市大字常行450	097-524-0892	097-524-0893	小野 憲子
滝尾地域包括支援センター	870-0953	大分県大分市下郡東1丁目3-15	097-567-1720	097-556-3633	
竹中・判田地域包括支援センター	870-1110	大分県大分市大字中判田西ノ園15-73	097-597-4111	097-597-1991	岡 珠美
野津原地域包括支援センター	870-1203	大分県大分市大字野津原字中牟田910番地1	097-586-4020	097-586-4008	
原川・鶴崎地域包括支援センター	870-0104	大分県大分市南鶴崎3丁目1-1 ブリンク岸本ビル102号	097-503-6231	097-503-6232	
戸次・吉野地域包括支援センター	879-7761	大分県大分市中戸次4356番地 藤田アパート1階	097-586-7170	097-586-7174	
南大分地域包括支援センター	870-0856	大分県大分市畠中7組1-2 コーポ矢野第2 102号	097-573-6688	097-573-6747	
植田・植田西地域包括支援センター	870-1152	大分県大分市大字上宗方590番地10 日出第3マンション103号	097-542-7147	097-542-7148	柚木 タツ子 稻田 みち子
植田東地域包括支援センター	870-1121	大分県大分市大字鶯野929番地7 ユタカビル1階	097-568-3310	097-568-3340	佐藤 八千代 首藤 千代子
植田南地域包括支援センター	870-1143	大分県大分市大字田尻659	097-547-7886	097-588-8522	
由布市地域包括支援センター 庄内事務所	879-5434	大分県由布市庄内町庄内原365番地1 ほのほのプラザ	097-582-0106	097-582-2878	
由布市地域包括支援センター 挟間事務所	879-5502	大分県由布市挟間町向原16番地	097-583-6850	097-583-6851	
由布市地域包括支援センター 湯布院事務所	879-5102	大分県由布市湯布院町川上2863番地	0977-85-4700	0977-85-4777	
臼杵市地域包括支援センター・コスモス	875-8501	大分県臼杵市大字臼杵字洲崎72-255	0972-63-6250	0972-63-6255	久保田 美代子 川野 莊彦
津久見市地域包括支援センター・社協	879-2435	大分県津久見市宮本町20番15号	0972-82-4124	0972-82-7277	

※調整者・協力員氏名にあるのは、大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会会員の氏名(H23.2.1現在)

## 南部圏域 佐伯地域



センター長 後藤陽一郎



担当窓口 土谷 健治

### 1. 連絡協議会運用規定

#### (目 的)

佐伯圏域における地域リハビリテーション推進事業を、広域支援センター・関係団体及び患者の会、家族の会が協調し地域の実情を踏まえバランス良く展開するための協議機関として、佐伯圏域地域リハビリテーション連絡協議会（略称：連絡協議会）を設置する。

#### (事 業)

連絡協議会は前項の目的を達成するために、次の検討を行う。

- 1) 地域におけるリハビリテーション連携指針の作成
- 2) 地域リハビリテーション広域支援センターの指定に係わる調整・協議
- 3) 前 1)、2) に係わる問題点等の検討
- 4) その他必要な事項の検討

#### (構 成)

- 1) 連絡協議会の構成は以下の通りとする
  - ・地域医師会 2名（病院代表、診療所代表各 1名）　・老人保健施設代表
  - ・老人福祉施設代表　・理学療法士代表　・作業療法士代表
  - ・言語聴覚士代表　・歯科医師代表・歯科衛生士代表
  - ・地域包括支援センター代表　・保健所長　・県代表（保健師）
  - ・市町村代表（保健師）　・ケアマネジャー代表　・広域支援センター代表
  - ・地域リハビリ調整者代表　　計 16名
- 2) 連絡協議会委員の指名については各所属団体の推薦を受けた者、もしくは広域支援センターの判断にて委託を受けた者とする。なお理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の代表は広域支援センターの職員より選出する。
- 3) 広域支援センターの職員は議決に際する投票権は無いものとする。

#### (任 期)

連絡協議会委員の任期は 2 年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(協議会)

連絡協議会の開催は原則年2回とする

- 1) 連絡協議会には会長及び副会長を置く。会長、副会長は委員の互選により選出する。
- 2) 連絡協議会は会長が議長を務める。
- 3) 副会長は、会長を補佐し事故あるときはその職務を代行する。

(事務局)

連絡協議会の事務局を医療法人長門莫記念会 長門記念病院に置くこととする。

(実務者協議会)

連絡協議会は必要に応じ実務者協議会を設置できるものとする。

(報償費)

連絡協議会開催に係わる委員の報償費は、一回の開催につき 一名 7,000円とする。

附 則

この要綱は、平成16年1月5日から施行する。

連絡協議会委員名簿（敬称略順不同）

広域支援センター代表	後藤 陽一郎	長門記念病院 院長
病院代表	曾根 勝	曾根病院 院長
診療所代表	木下 賢三	木下整形外科 院長
介護老人保健施設代表	調 整 中	調 整 中
介護老人福祉施設代表	調 整 中	調 整 中
理学療法士代表	土谷 健治	長門記念病院 理学療法士
作業療法士代表	江藤 晶子	長門記念病院 作業療法士
言語聴覚士代表	江藤 朝樹	長門記念病院 言語聴覚士
ケアマネジャー代表	加藤 徹文	彦岳の太陽 ケアマネジャー
歯科医師代表	丸山 和明	丸山歯科医院
歯科衛生士代表	多田 啓子	林歯科医院 歯科衛生士
地域リハビリ調整者代表	河村 昌江	佐伯市健康増進課 保健師
地域包括支援センター代表	高畠 育代	佐伯市地域包括支援センター 保健師
保健所代表	司城 潤一郎	佐伯保健所長
県保健師代表	姫島 洋子	佐伯保健所 保健指導課長
市町村保健師代表	小平 恵里子	佐伯市健康増進課 保健師

## 2. 実務者協議会運用規定

### (目的)

佐伯圏域における地域リハビリテーション推進事業の一環として行われる、地域への啓蒙活動や、地域におけるリハビリテーション従事者の連携強化、質的向上などをより効率的かつ円滑に推進することを目的として、佐伯圏域地域リハビリテーション実務者協議会（略称：実務者協議会）を設置する。

### (事業)

実務者協議会は前項の目的を達成するために、次の検討を行う。

- 1) 地域におけるリハビリテーション連携指針の作成
- 2) 研修会、講演会等に係わる調整・協議
- 3) 啓蒙活動に係わる調整・協議
- 4) 委託事業等に係わる調整・協議
- 5) 前 1) ~ 4) に係わる問題点等の検討
- 6) その他必要な事項の検討

### (構成)

- 1) 実務者協議会委員の構成は以下の通りとする  
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のいずれかが在籍する施設及び事業所の代表者で、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のいずれかの資格を有する者
- 2) 実務者協議会委員の指名については、各所属施設又は事業所の推薦を受けた者、もしくは広域支援センターの判断にて委託を受けた者とする。

### (任期)

実務者協議会委員の任期は2年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (協議会)

実務者協議会の開催は原則年2回とする

- 1) 協議会には会長及び副会長を置く。会長、副会長は委員の互選により選出する。
- 2) 協議会は会長が議長を務める。
- 3) 副会長は、会長を補佐し事故あるときはその職務を代行する。

### (事務局)

実務者協議会の事務局を医療法人長門莫記念会 長門記念病院に置くこととする。

### (報償費)

実務者協議会開催に係わる委員の報償費は、一回の開催につき 一名 5,000 円とする。

### 附則

この要綱は、平成16年1月5日から施行する。

実務者協議会委員名簿（敬称略順不同）

富 松 満 代	サンビュー南海（P T）
橋 本 一 郎	南佐医師会訪問看護ステーション（P T）
西 田 貞 利	南海病院（P T）
土 谷 健 治	長門記念病院（P T）
生 野 貴 義	曾根病院（P T）
長 野 嘉 子	訪問看護ステーション長門（P T）
池 田 貴 朗	西田病院（P T）
廣 瀬 千 春	佐伯中央病院（P T）
五十川 直 也	和の風（P T）

3. 地域リハビリ調整会委員名簿（敬称略順不同）

佐伯市	河 村 昌 江	佐伯市中央地域包括支援センター	高 畑 郁 代
	小 平 恵理子	県民保健福祉センター	大 前 奈保子
	浜 野 清 子		佐 藤 裕 子
	坂 本 みゆき		飯 島 貴 子
	山 本 玉 代		小 幡 尚 美
	千 秋 瞳 美		飯 田 育 子
	村 上 美 香	広域支援センター	土 谷 健 治
	田 中 洋 子		柴 田 直 美
	小 野 和 代		

2. 事業報告（連絡協議会含む）

＜研修会＞

テーマ	開催日時	講 師	参加人数
画像読影研修会 MRI の基礎について 1	H22.7.30	長門記念病院 放射線科 科長 山下 恒夫 氏	73 人
画像読影研修会 MRI の基礎について 2	H22.9.17	長門記念病院 放射線科 科長 山下 恒夫 氏	54 人
市民公開講座 睡眠時無呼吸症候群について	H22.9.23	畠病院 副院長 畠 知二 先生	127 人
介護技術研修会 起居・移乗の介助方法	H22.10.22	長門記念病院 理学療法士 上杉 啓太 氏	59 人
画像読影研修会 脳の解剖と働き	H22.11.19	長門記念病院 放射線科 科長 山下 恒夫 氏	46 人
県南パーキンソン講演会 パーキンソン病関連疾患に対する新しいリハビリテーション	H23.1.28	徳島病院 臨床研究部長 三ツ井 貴夫 先生	100 人
画像読影研修会 脳の解剖と働き	H23.2.25	長門記念病院 放射線科 科長 山下 恒夫 氏	41 人

<連絡協議会>

開催なし

3. その他地域リハ関連の活動

<講演依頼> 計 10 件(延べ 21 回)

日 時	テー マ	派遣人員	依頼者 (事業所)
H22.5.9	訪問介護員養成研修 2 級課程	P T 1 名	N P O 法人 蒲江の海
H22.6.2	介護職員基礎研修	P T 1 名	N P O 法人 蒲江の海
H22.5.31 H22.6.7 H22.7.7	訪問介護員養成研修 2 級課程	P T 1 名	佐伯豊南高校
H22.6.23 H22.7.8 H22.10.14 H22.10.25 H22.10.29 H22.12.1 H23.1.24 H23.1.28 H23.3.22	介護予防講習	P T 1 名	佐伯市社協
H22.8.17	訪問介護員養成研修 2 級課程	P T 1 名	N P O 法人 蒲江の海
H22.9.13	訪問介護員養成研修 2 級課程	P T 1 名	シルバー人材センター
H22.10.1	職業人講話	P T 1 名	佐伯鶴城高校
H22.10.28 H22.11.26	保健所神経疾患相談会	医師 1 名 P T 1 名	南部保健所
H22.10.31	訪問介護員養成研修 2 級課程	P T 1 名	N P O 法人 蒲江の海
H22.12.13	訪問介護員養成研修 2 級課程	P T 1 名	N P O 法人 蒲江の海

<委員派遣>

日 時	テー マ	派遣人員	依頼者 (事業所)
H23.3.17	圏域介護予防検討会	P T 1 名	南部保健所

<派遣調整>

テー マ	依頼者 (事業所)	派遣人員	依頼先
水中運動教室	佐伯市	P T 1 名	南海病院

4. 次年度へ向けた課題

- ・他職種合同研修会開催にむけて調整

## 地域包括支援センター、保健所連絡先一覧(南部圏域)

保健所	〒	住所	TEL	FAX	調整者・協力員氏名
南部保健所	876-0844	佐伯市向島1-4-1	0972-22-0562	0972-25-0206	藤沢 さとみ 庭瀬 朋美

地域包括支援センター名	〒	住所	TEL	FAX	調整者・協力員氏名
佐伯市地域包括支援センター	876-0844	大分県佐伯市向島1-3-8	0972-23-1632	0972-23-1661	浜野 清子 千秋 瞳美 大前 奈保子

※調整者・協力員氏名にあるのは、大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会会員の氏名(H23.2.1現在)

## 豊肥圏域 大野地域



帰巣会みえ病院

豊後大野市三重町赤嶺1250-1  
TEL0974(22)0222



センター長 輪田 順一



担当窓口 石丸 知二

### 1 委託業務実績書

#### (1) 地域リハビリテーション実施機関への支援

- ①住民からの相談に対応する業務 →2件
- ②福祉用具・住宅改修等相談への対応に係る支援→2件
- ③豊後大野市（地域包括支援センター）  
→毎週金曜日の午後「いきいき健康教室」「脳トレーニング」開催  
豊肥保健所の地域リハビリテーションに係る事業への協力

#### (2) 地域におけるリハビリテーション実施機関等の従事者に対する研修

##### ①リハビリテーション従事者に対する研修

###### 第1回研修会

実施日：平成22年9月10日（金曜日）

18:30～20:30

会場：岡本病院 リハビリ室

講師：大分県理学療法士協会広域事業部

是永 浩二氏、吉良かおり氏、首藤暢宏氏

研修内容：「トランスファー研修会」 実技研修

参加者数：15名（理学療法士・作業療法士・看護師）

###### 第2回研修会

実施日：平成23年2月22日

18:00～20:30

会場：藤華医療技術専門学校 研修室

研修内容：「やさしく理解する地域リハビリテーション」

①基調講演

講師：湯布院厚生年金病院リハビリテーション部長

佐藤 浩二氏

## ②グループワーク

10 グループ編成、リーダー1名にて討議

参加者数：70名

参加職種：保健師、看護師、社会福祉士、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師、介護支援専門員、事務職

### 第3回研修会

実施日：平成23年3月25日（金曜日） 18:00～19:30

会場：泉の里通所リハビリセンター 研修室

研修内容：事例検討会（2事例の検討）

講師（発表者）：①姫島和代（岡本病院 作業療法士）

②日高博成（泉の里通所リハセンター 理学療法士）

参加者数：10名

### 5) その他

- (ア) 各種研修会へ講師派遣調整業務→3件
- (イ) 研修施設としての受け入れ→リハビリ・看護・MSW・介護
- (ウ) リハビリマップの更新
- (エ) 当センターチラシの配布  
→市役所、保健所ならびに市内の公民館等地域の方の目に付きやすい場所への配布

※圏域ごとの地域包括支援センター、保健所連絡先一覧（豊肥圏域）は  
P76に記載

## 豊肥圏域 竹田地域



センター長 大久保健作



担当窓口 甲斐 恒子

### 1. 連絡協議会運用規定

#### 地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会 設置・運営規定

##### (目的)

1. 豊肥圏域竹田地域リハビリテーション広域支援センター（以下「竹田広域支援センター」という。）の効果的な事業立案並びに円滑な事業運営を図るために、圏域内の保健・医療・福祉分野における関連団体および専門職代表からなる「竹田広域支援センター連絡協議会」を設置する。

##### (役割)

2. 協議会の役割は以下の通りとする。

- 1) 事業の予算、事業計画の審議および承認
- 2) 事業の決算、事業報告の審議および承認
- 3) その他、事業に関する重要事項で、竹田広域支援センター長が必要と認める事項の審査および承認

##### (事務局)

3. 事務局は「竹田広域支援センター」に置く。

##### (構成)

4. 会議の構成は、年度ごとに定める。

5. 会議の構成は以下の通りとする。

- 1) 協議会委員長：竹田広域支援センター長
- 2) 協議会副委員長：医師会代表、歯科医師会代表
- 3) 各団体代表：医師会代表、歯科医師会代表、老人保健施設代表、老人福祉施設代表、在宅総合支援センター代表、地域包括支援センター代表、理学療法士代表、作業療法士代表、保健師代表、保健所長、竹田広域支援センター代表

##### (会議)

6. 会議は、年1回定期開催する。ただし、竹田広域支援センター長もしくは3分の1以上の委員の要請があれば臨時に開催できる。

- 1) 会議には議長および副議長を置く。

- 2) 議長は協議会委員長が務め、副議長は協議会副委員長が務める。
- 3) 副議長は議長を補佐し、議長に事故ある時はその職務を代行する。
- 4) 議事録は事務局が作成し、保管する。

#### 附則

この運用規定は平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

#### 連絡協議会委員名簿

#### 平成 22 年 連絡協議会委員名簿

名前	職種	施設名
伊藤 恭	医師会	伊藤医院
筑紫 隆生	歯科医師会	歯科筑紫医院
加藤 一郎	介護老人保健施設	岡の苑
吉岡 晓督	介護老人福祉施設	悠久居
木部 真里子	在宅介護支援センター	竹田市地域包括支援センター
和田 博美	地域包括支援センター	竹田市地域包括支援センター
坂本 信江	保健師	竹田市役所
後藤 ゆかり	理学療法士	竹田医師会病院
山田 さゆり	作業療法士	竹田医師会病院
伊藤 隆弘	患者・家族の会	
中里 興文	保健所長	豊肥保健所
大久保 健作	広域支援センター	大久保病院

## 2. 事業報告

### <研修会>

#### ①スキルアップ研修会 [テーマ：嚥下障害と口腔ケア]

Lesson. 1～5 歯科衛生士による「嚥下障害と口腔ケア」

(Lesson. 1)

日 時：平成 22 年 5 月 14 日（金）/平成 22 年 5 月 28 日（金）

内 容：「口腔のしくみ」

(Lesson. 2)

日 時：平成 22 年 6 月 11 日（金）/平成 22 年 6 月 25 日（金）

内 容：「口腔ケアの必要性～口腔ケアの実践～」

(Lesson. 3)

日 時：平成 22 年 7 月 9 日（金）/平成 22 年 7 月 23 日（金）

内 容：「口腔ケア～相互実習～」

(Lesson. 4)

日 時：平成 22 年 8 月 6 日（金）/平成 22 年 8 月 20 日（金）

内 容：「嚥下のメカニズムと摂食・嚥下障害について」

(Lesson. 5)

日 時：平成 22 年 9 月 3 日（金）/平成 22 年 9 月 17 日（金）

内 容：「口腔機能の向上を目指すリハビリ」

場 所：いきいき交流センター

講 師：菅りえ子・金子良美・佐藤智子（大分県歯科衛生士会）

参加者数：延べ 158 名



(Lesson. 6)

内 容：「嚥下障害とリハビリテーション」についての講義

日 時：平成 22 年 10 月 8 日（金）18:30~20:00

場 所：竹田市高齢者いきいき交流センター

講 師：佐藤美未映（大分県言語聴覚士会）

参加者数：42 名



(Lesson. 7)

内 容：「食事と嚥下障害」についての講義

日 時：平成 22 年 11 月 12 日（金）18:30~20:00

場 所：竹田市高齢者いきいき交流センター

講 師：平池妙子（大久保病院 管理栄養士）

参加者数：30 名

(Lesson. 8)

内 容：「嚥下障害と誤嚥性肺炎」についての講義  
日 時：平成 22 年 12 月 10 日（金） 18:30~20:00  
場 所：竹田市高齢者いきいき交流センター  
講 師：筑紫寿七生（大分県歯科医師会）  
参加者数：16 名



## ②第 8 回 地域リハビリテーション研修会

日 時：平成 23 年 3 月 28 日（月） 18:30~20:00  
場 所：竹田市高齢者いきいき交流センター  
内 容：「福祉用具の活用法～移乗・移動を安全に～」  
講 師：阿南貴将（福祉用具プランナー）  
対 象：圏域内の介護支援専門員・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士  
参加者数：45 名

## <連絡協議会>

日 時：平成 22 年 7 月 8 日（木） 18:30~20:00  
場 所：ヴァル・ド・グラス くじゅう  
内 容：平成 21 年度事業・収支報告、平成 22 年度事業計画・予算編成など

## <講師派遣>

- ①竹田市介護保険事業者連絡会 講師派遣
- 日 時：平成 22 年 10 月 26 日（火）  
場 所：竹田市総合社会福祉センター  
内 容：腰部脊柱管狭窄症と変形性膝関節症について  
講 師：浅尾恒徳（医師）
- ②難病相談会 講師派遣
- 日 時：平成 22 年 12 月 13 日（月）  
場 所：竹田市高齢者いきいき交流センター

内 容：神経難病患者に対する日常生活動作におけるリハビリについて  
講 師：森岡潤也（理学療法士）  
参加者数：5名

### 3. その他 地域リハ関連の活動

#### ①地域リハビリテーション実務者意見交換会の開催

日 時：(1回目) 平成22年9月9日(木) (2回目) 平成23年2月25日(金)  
場 所：竹田医師会病院  
内 容：事業内容について、意見交換など

#### ②地域リハ調整者・協力員養成研修 助言協力者派遣

日 時：平成22年9月17日(金) 10:00～15:30  
場 所：湯布院厚生年金病院

#### ③第2回、第3回 豊肥圏域脳卒中地域連携協議会 作業部会参加

日 時：平成22年9月28日(火)、平成23年1月25日(火)  
場 所：豊肥保健所

#### ④竹田地域在宅歯科保健医療検討協議会 参加

日 時：平成22年12月24日(金)  
場 所：竹田市総合社会福祉センター

### 4. 次年度に向けた課題

- ・6者(7者)会議の開催

### 地域包括支援センター、保健所連絡先一覧(豊肥圏域)

保健所	〒	住所	TEL	FAX	調整者・協力員氏名
豊肥保健所	879-7131	豊後大野市三重町市場934-2	0974-22-0162	0974-22-7580	姫嶋 洋子 村上 智子 川井 梨沙 竹永 祐子

地域包括支援センター名	〒	住所	TEL	FAX	調整者・協力員氏名
豊後大野市地域包括支援センター	879-7198	大分県豊後大野市三重町市場1200番地	0974-22-0505	0974-22-7666	
竹田市地域包括支援センター	878-8555	大分県竹田市会々1650番地	0974-64-0310	0974-63-1050	

※調整者・協力員氏名にあるのは、大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会会員の氏名(H23.2.1現在)

## 西部圏域　日田玖珠地域



センター長 西田 敬 担当窓口 諫山 昌寿 担当窓口 江藤 伸宏

### 1. 連絡協議会運用規定

1) 原則として、年1回は開催する。議事進行は、広域支援センターで行う。

#### 2) 検討事項

次の活動について、意見交換並びに検討を行う。

- ① 地域リハビリテーション実施機関への支援
- ② リハビリテーション施設の共同利用
- ③ 施設の共同利用リハビリテーション実施機関等の従事者に対する援助・研修
- ④ その他の活動

#### 3) 連絡協議会委員名簿

構成員：日田市医師会、玖珠郡医師会、日田歯科医師会、玖珠郡歯科医師会、西部保健所、日田市役所、玖珠町役場、九重町役場、  
日田市社会福祉協議会、玖珠町社会福祉協議会、  
九重町社会福祉協議会、大分県理学療法士協会、大分県作業療法協会、介護老人保健施設代表、介護老人福祉施設代表、  
大分県介護福祉士会日田支部、日田地域介護支援専門員協議会、  
日本社会福祉士会久大ブロック、地域包括支援センター、広域支援センター  
(広域支援センターを含む 20 団体)

### 2. 事業報告

#### <地域リハビリテーション実施機関への支援>

福祉、住宅改修等の相談への対応かかる支援 32 件

#### <リハビリテーション施設の共同利用>

##### ①リハビリテーションが必要な住民ための利用調整

平成 22 年度大分大学医学部医学科 AO 入試におけるへき地医療拠点病院  
体験活動の実施（リハビリテーション部門体験活動平成 22 年 8 月 4 日／2 名、  
平成 22 年 8 月 25 日／2 名）

## ②研修会リハ従事者のための利用調整

- ア 平成 22 年 6 月 18 日（金）大分県理学療法士協会主催  
足部 テーピング勉強会 大分県済生会日田病院リハビリテーション室
- イ 平成 22 年 7 月 9 日（金）大分県理学療法士協会主催  
膝 テーピング勉強会 大分県済生会日田病院リハビリテーション室
- ウ 平成 23 年 2 月 6 日（日）  
足と歩きの研究所主催 足底板セミナー（基礎編）  
大分県済生会日田病院リハビリテーション室

<地域におけるリハビリテーション実施機関等の従事者に対する援助・研修>

地域におけるリハビリテーション実施機関の従事者に対する実地の技術援助 1 件

<連絡協議会>

- 日 時：平成 23 年 3 月 29 日（火） 18:30～20:00
  - 場 所：済生会日田病院外来棟 2 階会議室
  - 内 容：
    - ① 平成 22 年度事業計画の活動報告について
    - ② 平成 23 年度事業計画について
    - ③ その他（意見交換）
- 参加者数：広域支援センターを含む 12 団体（21 名出席）



<研修会>

- 日 時：平成 22 年 8 月 28 日（土） 14:00 ～ 15:30
  - 場 所：大分県済生会日田病院 2 階会議室
  - 内 容：「転ばぬ先の健康づくり」～チューブ体操のすすめ～  
講師 介護老人保健施設 清流荘／大分県理学療法士協会 副会長  
高橋 知良 先生
- 参加者：45 名



日 時：平成 22 年 11 月 22 日（月）19：00～21：00

場 所：大分県済生会日田病院 2 階会議室

内 容：「介護予防と認知症について」

講師 福岡県北九州市地域包括支援センター主任ケアマネジャー／

作業療法士 熊添 潤一 氏

介護老人保健施設 センテナリアン 作業療法士 國政 和子 氏

参加者：55 名



### 3. その他地域リハ関連の活動

1) 地域包括支援センター連絡会への参加（当広域支援センターより 4 名出席）

日 時：平成 22 年 7 月 1 日（木）

場 所：日田市役所

2) 介護予防検討会への参加（当広域支援センターより PT2 名参加）

日 時：平成 22 年 12 月 22 日（水）

場 所：西部保健所

3) 大分県理学療法士協会主催 当広域支援センター後援市民公開講座への協力  
日 時：平成 22 年 11 月 14 日（日） 10:30 ~ 12:00  
内 容：「五十肩解消法 ～つらい肩こり楽にしませんか～」  
講師 大分県理学療法士協会 会長 河野 礼治 氏  
場 所：日田市総合体育館 柔道場

4) 第 1 回地域リハビリテーション調整者・協力員意見交換会の実施  
日 時：平成 22 年 11 月 11 日（木） 19:00 ~ 20:00  
場 所：大分県済生会日田病院 2 階研修室

5) 第 2 回地域リハビリテーション調整者・協力員意見交換会の実施  
日 時：平成 23 年 2 月 24 日（木） 19:00 ~ 20:00  
場 所：大分県済生会日田病院 2 階研修室

<地域リハビリテーション調整者・協力員意見交換会>  
(目的)

西部圏域日田玖珠地域の地域リハ調整者・協力員による意見交換会を行うことで、日田玖珠圏域の地域リハビリテーションの推進（広域支援センターと地域住民を結び、地域におけるリハビリテーションに関する調整相談を行うこと）を目的としている。

(事業内容)

日田玖珠圏域には約 20 名の地域リハ調整者・協力員がおり、現在第 2 回までが終了。これまでに顔合わせが終了しており、今後日田玖珠圏域における『連携』をテーマに事業計画を進めていきたいと考える。

(構成員)

日田玖珠圏域における広域支援センター職員、保健所職員、地域包括支援センター職員、市町村職員（約 20 名にて構成）



#### 4. 次年度へ向けた課題

- 1) 地域リハビリテーションの啓発
- 2) 地域包括支援センターとの連携強化
- 3) 医療・介護従事者に対する研修会の開催

#### 地域包括支援センター、保健所連絡先一覧(西部圏域)

保健所	〒	住所	TEL	FAX	調整者・協力員氏名
西部保健所	877-0025	大分県日田市田島2-2-5	0973-23-3133	0973-23-3136	辛鳶 淳子

地域包括支援センター名	〒	住所	TEL	FAX	調整者・協力員氏名
日田市西部地域包括支援センター	877-0082	大分県日田市日ノ出町156	0973-26-0036	0973-26-3087	中原 陽子
日田市中央地域包括支援センター	877-0074	大分県日田市中ノ島町685-16	0973-23-2552	0973-23-4156	
日田市東部地域包括支援センター	877-0061	大分県日田市石井町1丁目271-2	0973-22-0248	0973-22-0248	江藤 説子
日田市南部地域包括支援センター	879-4201	大分県日田市天瀬町桜竹1115-87	0973-57-9012	0973-26-7022	古賀 千代美
九重町地域包括支援センター	879-4895	大分県玖珠郡九重町大字後野上8-1	0973-76-3821	0973-76-3840	畠山 伸恵
玖珠町地域包括支援センター	879-4492	大分県玖珠郡玖珠町大字帆足268番地の5	0973-72-7154	0973-72-2112	

※調整者・協力員氏名にあるのは、大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会会員の氏名(H23.2.1現在)

## 北部圏域 中津地域



センター長 川嶌 真人



担当窓口 島澤 真一

### 1. 連絡協議会運用規定

#### 北部圏域中津地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会 設置要綱

##### 【目的】

第1条 高齢者や障害を持つ人々が、自立した生活を住み慣れた地域で送れるよう、保健・医療・福祉の連携のもとに中津地域の地域リハビリテーション支援体制の検討を行うため、北部圏域中津地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会（以下、協議会という。）を設置する。

##### 【事業】

第2条 協議会は前条の目的を達成するために、次の検討を行う。

- (1) 地域リハビリテーションの普及と啓発活動
- (2) 中津地域におけるリハビリテーション連携指針の作成
- (3) 中津地域の保健・医療・介護職種に対するリハビリテーション教育研修事業
- (4) 中津地域におけるリハビリテーション資源に関する調整および協議
- (5) その他、必要事項の検討

##### 【委員の構成】

第3条 協議会は別表に掲げる委員をもって充てる。

##### 【委員の任期】

第4条 委員の任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

##### 【事務局】

第5条 本会の事務局は北部圏域中津地域リハビリテーション広域支援センターである川嶌整形外科病院に置く。

##### 【会議】

第6条 会議の開催は原則1年に1回とする。

- 2 会議には議長及び副議長を置き、議長は本センター長が努め、副議長は本副センター長が努める。
- 3 副議長は議長を補佐し、不測の事態が生じた場合はその職務を代行する。

### 【会則変更】

第7条 会則の変更は協議会の出席者の 2/3 以上の同意を必要とする。

### 【作業部会】

第8条 協議会は必要に応じ作業部会を設置できるものとする。

附則 本会則は平成 18 年 1 月 1 日から施行する。

平成 18 年 4 月 1 日改定  
平成 21 年 3 月 4 日改定

### 連絡協議会委員名簿

#### 北部圏域中津地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会委員

区分	所属・職名
県リハセンター代表	県リハセンター センター長（湯布院厚生年金病院院長）
広域リハセンター代表	医療法人玄真堂 川島整形外科病院理事長
中津市代表	中津市役所国民健康保険課市民健康推進係係長
北部保健所	北部保健所 所長 地域保健課
中津医師会代表	中津市医師会 代表
中津歯科医師会代表	中津歯科医師会 代表
中津薬剤師会代表	中津薬剤師会 代表
老人福祉施設代表	特別養護老人ホーム いづみの園 施設長
老人保健施設代表	介護老人保健施設 などの 代表
地域包括支援センター代表	中津市地域包括支援センター代表
(社)大分県理学療法士協会代表	県北地区ブロック長
(社)大分県作業療法士協会代表	中津支部 支部長
大分県言語聴覚士協会代表	大分県言語聴覚士協会 代表
中津市介護支援専門員協議会	中津市介護支援専門員協議会 代表幹事
大分県歯科衛生士会代表	大分県歯科衛生士会 中津地区代表
地域住民代表	司法書士吉田清勝事務所
地域住民代表	中津市「運動で健康づくり推進協議会」会長
患者・家族の会代表	中津市障害児者父母の会 会長

中津圏域地域リハビリテーション広域支援センターより、北部圏域中津地域リハビリテーション広域支援センターへ名称変更のため、連絡協議会設置要綱内の名称を変更。

## 2. 事業報告

### 地域リハビリテーション実施機関への支援

- 地域住民の相談への対応に係る支援 45回
- ・健康教室：沖代地区（第1.3 土曜日） 大幡地区（第2.4 土曜日）
  - ・転倒予防教室：山国地区（第2火曜日） 各PT 1～2名派遣

### リハビリテーション施設の共同利用

- ・大分県作業療法士協会 現職者研修 (H22.8.22)
- ・大分県作業療法士協会 日田玖珠・中津合同事例検討会 (H22.9.22)
- ・大分県理学療法士協会 研修会 (H22.11.20)
- ・大分県理学療法士協会 研修会 (H 23.3.15)

### 地域におけるリハビリテーション実施機関の従事者に対する実地の技術援助

- ・北部保健所 筋・骨格系難病相談会講演 Dr1名（理事長）派遣 (H23.2.10)
- ・北部保健所 神経難病健診個別相談会 PT1名 OT1名派遣 (H22.9.28)
- ・北部保健所 神経難病健診個別相談会 OT1名派遣 (H23.3.1)
- ・中津市元気ハツラツ教室 PT1名派遣 (H22.9.22)
- ・中津市運動で健康づくり推進協議会研修会 PT1名派遣  
(H22.12.3 12.8 12.24)
- ・大分県理学療法協会職業説明会 PT1名派遣 (H22.7.15)
- ・大腿骨頸部骨折連携パス作業部会 PT1名 OT1名派遣 (H22.6.12 11.20)
- ・大腿骨頸部骨折連携パス作業部会 PT2名 OT1名派遣 (H23.3.19)
- ・北部保健所 脳卒中地域連携パス作業部会 PT1名派遣  
(H22.9.29、11.2、H23.3.14)
- ・北部保健所 脳卒中域連携パス連絡協議会 PT1名派遣  
(H22.8.7、H23.3.14)
- ・北部保健所 介護予防検討会 MSW1名派遣 (H23.3.22)

### リハビリテーション従事者に対する研修

実施時期： 平成23年3月6日（日）

場 所： 川島整形外科病院3階コミュニティホール

市民公開講座 参加者数：約250名

『骨粗鬆症の予防と治療～最近の話題～』

産業医科大学病院長中村利孝先生

『大相撲力士とプロ野球選手のスポーツ外傷～その予防と治療』

東京医科歯科大学医学部臨床教授 土屋正光先生

後援・協力研修会：

第4回二豊リウマチフォーラム

『サイトカイン療法の現状と展望』

東京医科大学医学部総合研究所所長 西岡久寿樹先生 (H22. 9. 22)

二豊整形外科フォーラム

第30回『側湾・変性後側湾に対する矯正手術の適応と実際』

獨協医科大学整形外科学教授 野原裕先生 (H22. 4. 16)

第31回『我が臨床と教育を振り返って』

大分大学医学部名誉教授 鳥巣岳彦先生 (H22. 7. 16)

第32回『腰痛患者診療の留意点』

杏林大学整形外科学教授 里見和彦先生 (H22. 10. 22)

第33回『変形性膝関節症の保存療法』

大分大学医学部整形外科学教授 津村 弘先生 (H23. 1. 14)

第34回『腰部脊柱管狭窄症治療の最近の知見』

横浜市立みなと赤十字病院院長 四宮謙一先生 (H23. 2. 12)

第35回『高圧生理学から生まれたアクアナノバブル：

その医療応用への可能性』

東京医科歯科大学 名誉教授 眞野喜洋先生 (H23. 3. 5)

第1回中津整形外科フォーラム『変形性股関節症の骨切り術について』

九州労災病院院長 糸満 盛憲先生 (H22. 11. 12)

第2回中津整形外科フォーラム『中国における骨髓炎治療の現状』

北京聖済骨髓炎医院 王 興義先生 (H23. 3. 4)

地域における関係団体、患者の会、家族の会等からなる連絡協議会設置・運営

開催日： 平成22年11月24日（水） 15:00～



### 3. 次年度へ向けた課題

広域支援センター共催による研修会・講習会開催  
地域包括支援センターとの連携強化

※圏域ごとの地域包括支援センター、保健所連絡先一覧（北部圏域）は  
P 89に記載

## 北部圏域 宇佐高田地域



センター長 馬場 亮三



担当窓口 高橋 知良

### 1. 連絡協議会運用規定

昨年度同様につき省略

### 連絡協議会委員名簿

氏名	組織	所属
中野 眼一	医師会代表	宇佐胃腸病院
中野 洋子	保健所代表	北部保健所
佐藤 靖臣	歯科医師会代表	佐藤歯科医院 院長
羽下 義正	地域包括支援センター代表	院内圏域地域包括支援センター
桑尾 定明	介護療養型医療施設代表	桑尾病院 院長
原 すず子	居宅介護支援事業所代表	居宅介護支援員協議会
加来 幹子	市役所代表	宇佐市 保健師
伊南富士子	市役所代表	豊後高田市香々地市民センター
小野 秀幸	ワーキンググループ代表	佐藤第一病院
酒井 浩一	薬剤師会代表	薬剤師会代表
本浪 純子	住民代表	婦人会・愛育会
森 征子	住民代表	民生児童委員

### 2. 事業報告

<連絡協議会>

日 時：平成 22 年 3 月 24 日（水）

場 所：宇佐高田地域リハビリテーション支援センター

参加者数：13 名

<研修依頼による講師派遣>

日 時：平成 22 年 10 月 23 日（土）

場 所：介護老人福祉施設 泰生園デイサービスセンター

内 容：介護教室（講師紹介の調整）

日 時：平成 22 年 10 月 29 日（金）  
場 所：介護老人保健施設 清流荘  
内 容：腰痛予防（介護福祉士会宇佐支部研修会）  
参加者数：20 名

＜地域リハビリテーション研修会＞

日 時：平成 22 年 9 月 11 日（土）  
場 所：宇佐高田商工会館 2 階 大ホール  
内 容：「地域リハビリテーションの推進に向けた課題と展望」

基調講演 「地域リハビリテーション推進にむけて」

講師：森 照明 先生（湯布院厚生年金病院 病院長）

シンポジウム：「地域リハビリテーションの推進に向けた課題と要望」

パネラー	リハビリ提供者の立場から	小野 秀幸 氏（佐藤第一病院）
	地域リハ調整者の立場から	井上 二三代 氏（宇佐市役所）
	介護支援専門員の立場から	安部 民子 氏（介護保険サービズセンター妻垣荘）
	訪問介護 の立場から	財前 アヤメ 氏（ヘルパーステーション すこやか）
	訪問看護 の立場から	多田 美枝子 氏（訪問看護ステーション 夢）
	訪問リハ の立場から	村岡 弘隆 氏（リハビリ俱楽部樹の子）
	通所介護 の立場から	小野 由香 氏（宇水園 ティザービスセンター）
	通所リハ の立場から	山本 勝一 氏（オアシス宇佐）

参加者数：96 名

### 3. その他地域リハ関連の活動

#### i ) 北部保健所

- ①脳卒中連携パス（作業部会）
- ②介護予防検討会 認知症地域支援推進会議

#### ii ) 宇佐市

- ①宇佐市主催介護予防教室（11 回／年）

#### iii) 障がい者グループリハビリテーション教室

- ①頑張ろう会（宇佐）（12 回／年）
- ②もみじ会（院内）（12 回／年）
- ③笑顔クラブ（安心院）（12 回／年）

### 4. 次年度へ向けた課題

今年度事業から明らかになった地域連携課題について、研修を深めます。

## 地域包括支援センター、保健所連絡先一覧(北部圏域)

保健所	〒	住所	TEL	FAX	調整者・協力員氏名
北部保健所	871-0024	中津市中央町1-10-42	0979-22-2210	0979-22-2211	小野 美香子 力徳 広子
北部保健所豊後高田保健部	879-0617	大分県豊後高田市是永町39	0978-22-3165	0978-22-2684	

地域包括支援センター名	〒	住所	TEL	FAX	調整者・協力員氏名
中津市地域包括支援センター 三光園	871-0162	大分県中津市永添933-1	0979-26-0267	0979-23-7184	
中津市地域包括支援センター	871-0021	大分県中津市沖代町1丁目1番11号	0979-85-0600	0979-24-7628	
中津市地域包括支援センター いづみの園	871-0162	大分県中津市永添2744	0979-62-9000	0979-23-7921	
中津市地域包括支援センター 創生園	871-0027	大分県中津市上宮永298-1	0979-24-6015	0979-24-6009	
中津市地域包括支援センター 村上	871-0049	大分県中津市諸町1799	0979-23-0833	0979-27-0180	
安心院圏域地域包括支援センター	872-0506	大分県宇佐市安心院町妻垣401番地	0978-34-4018	0978-34-4016	川野 久美子
院内圏域地域包括支援センター	872-0301	大分県宇佐市院内町御沓556番地の4	0978-34-3822	0978-42-5681	
宇佐圏域地域包括支援センター	879-1131	大分県宇佐市大字出光165-1	0978-37-3881	0978-37-3882	
駅川圏域地域包括支援センター	879-0467	大分県宇佐市大字山本1658番地	0978-34-0666	0978-33-2589	
西部圏域地域包括支援センター	879-0474	大分県宇佐市大字山下2100番地	0978-34-1007	0978-33-1828	
長洲圏域地域包括支援センター	872-0101	大分県宇佐市大字高森1323番地の3	0978-37-3434	0978-37-3441	
北部圏域地域包括支援センター	879-0316	大分県宇佐市大字下時枝555番地の2	0978-32-0095	0978-34-9530	
豊後高田市地域包括支援センター	872-1107	大分県豊後高田市臼野4335番地3	0978-23-4370	0978-53-6133	

※調整者・協力員氏名にあるのは、大分県地域リハ調整者・地域リハ協力員連絡協議会会員の氏名(H23.2.1現在)



# 大分県下専門職能団体 (拡大運営会議構成団体) 活動報告

＜記載項目＞

- ①会の現状
- ②地域リハ関連の活動・取り組み
- ③地域リハ活動における課題・今後の展開



# 大分県医療ソーシャルワーカー協会

会長 野 上 美智子



## 1. 大分県協会の現況

正会員数：196名（3/31現在） 賛助会員：団体10個人3名

<組織> 執行部 会長 副会長 常任理事 理事 計15名  
研修部(スーパーバイザー研修) 学術部 ネットワーク推進部  
広報部 情報システム班 渉外班 歴史編纂部(今年度で終了)

## 2. 地域リハ関連の活動取り組み

▼会議等出席 大分県リハビリテーション支援センター拡大運営会議  
大分県地域リハビリテーションケア研究会  
大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会  
大分脳卒中クリニカルパス情報交換会  
保健医療団体協議会担当会長・げんきフェア 10/23-24  
大分難病研究会  
リレーフォーライフの参加(PT協会と合同) 10/9-10  
大分大学福祉科学講座実行委員  
地域連携の会議

▼研修会開催 夏季研修(地域との連携診療加算) 秋季研修  
公開セミナー(学術発表)  
スーパーバイザー研修  
病院機能別実習プログラミングシート完成

▼学術部 情報交換のための地域連携シートの研究と試行

▼講師派遣 ケアマネージャーへの研修・ヘルパー養成講座への研修ほか  
地域により対応

▼学会発表 リハビリテーションと協働の発表など

大分県医療ソーシャルワーカー協会設立50周年  
第58回日本医療社会事業全国大会 第30回日本医療社会事業学会開催  
2011年5月28日(土)～29日(日)  
大分大会テーマ 「貧困と家族—現代社会の貧困と向き合う」

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

- ・医療ソーシャルワーカーがコーデネーターとなり地域における情報の発信に寄与する。
- ・各医療機関におけるソーシャルアクションが学会発表となっているが、クラウドソーシングの生活を視点に入れると活動の幅が多岐にわたることが望ましい。
- ・大分県保健医療福祉団体協議会の当番会長終了。大分フットボールクラブとの共催。

# (社) 大分県栄養士会

会長 安部 澄子



## 1. 会の現状

会員数 766名

7協議会（病院・福祉・学校健康教育・行政・研究教育・集団健康管理・地域活動）

7支部 大分(由布)・別府・東部（日出、国東）・北部（宇佐、中津、豊後高田）  
肥後（竹田、豊後大野）・南部（佐伯、臼杵）・西部（日田、玖珠）

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 1) 研修会（後援・協力）

①第7回大分県地域リハビリテーション支援センター

大分地域リハビリテーション研究会合同研修会

②第3回大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会

③第17回中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター研修会

④第18回中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター研修会

### 2) 主催

①生涯学習研修会

②(社)大分県栄養士会調理研修会（栄養士・調理師対象）

③(社)大分県栄養士会実務（新人）研修会

④第10回大分県栄養士学会

⑤ヘルパー調理講習会

### 3) 共催

・おおいた食のリハビリテーション研究会

（大分県栄養士会・言語聴覚士会・歯科衛生士会・介護福祉士会）

第7回研修会

第8回研修会

・大分県社会福祉介護研修センター

介護担当技術研修「摂食・嚥下セミナー」講師派遣

・大分県保健医療団体協議会「げんきフェア」

### 4) 会議出席

①大分県地域リハビリテーション研究会

役員会

拡大運営委員会

②中部圏域大分地域リハビリテーション支援センター連絡協議会

実行委員会

- ③大分県介護予防市町村支援委員会  
口腔機能向上・栄養改善向上専門部会
  - ④大分県在宅歯科診療検討部会
  - ⑤大分県豊の国 8020 運動推進会議
  - ⑥大分県保健医療団体協議会
- 5) 講師派遣
- ・大分県社会福祉介護研修センター 摂食・嚥下セミナー
  - ・摂食・嚥下セミナー及び排泄初級合同セミナー
  - ・第 18 回中部圏域大分地域リハビリテーション研究会
  - ・高齢者介護予防事業（栄養改善）
    - 臼杵市特定高齢者介護予防事業
    - 大分市通所型介護予防事業
    - 大分ヘルパーステーション月例研修事業
  - ・高齢者健康づくり指導者育成講習
  - ・年金受給者女性部研修会
  - ・食育事業
    - 保育園・幼稚園・小学校 講話及び調理実習
    - 赤ちゃん教室等

### 3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

- ・医療、福祉との連携による在宅支援
- ・在宅での摂食・嚥下障害の方への対処法
- ・在宅での食事療法が必要な方への支援

大分県栄養士会では、栄養ケア・ステーション事業の場として栄養相談・食生活相談、食と栄養、病態栄養及び調理等に関してよろず相談を実施している。

- 〔 電話無料相談（来所も可）
- 一般相談（水曜日）10:00～15:00
- 妊婦・乳幼児相談（火・水・金）10:00～15:00

この活動を地域に広めていくことが課題であり、各団体との連携が重要であると思います。高齢者の食生活指導に低栄養予防や慢性疾患に対する指導、支援及び保育園児、保護者への食育、食生活習慣病の予防をふまえた各関係団体との連携を密にして事業を展開していくらと思っています。私達の会は 7 協議会と 7 支部によって構成されていますので、どの協議会、支部においても連携、協働出来るよう会員の資質向上に努め社会の要請に応えられるよう努力してまいります。

# NPO 法人 大分県介護支援専門員協会

理事長 千 嶋 達 夫



## 1. 会の現状

正会員数 501 名

賛助会員 法人 9 団体 個人 2 名

支部 15 支部 (大分、宇佐高田、中津、別府、佐伯、竹田、国東、津久見、  
豊後大野、日出、玖珠、庄内、挾間、ゆふいん、野津)

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

- ・会議出席：大分県リハビリテーション協議会役員会  
　　大分県地域リハビリテーション研究会運営会議
- ・第 7 回 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテー  
　　ション研究会合同研修会
- ・第 3 回 大分県地域リハビリテーション研究会  
　　『高齢者・障害者が安心して暮らせるまちづくり』  
　　シンポジスト：介護保険総合ケアセンターいづみの園 栗原洋一
- ・地域リハ調整者・協力員養成研修  
　　協会会員より大分 3 名、国東 2 名、佐伯 2 名、豊後大野・竹田 1 名、日田・  
　　玖珠 1 名、中津・宇佐高田 2 名参加

## 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成 22 年度は全般的に活動が消極的であった。

上部組織である日本介護支援専門員協会にて「介護支援専門員のためのリハビ  
リテーション研修」の DVD が作成された。これをもとにして、県下 5 箇所にて  
会員を中心とした研修会を企画したが、年度末と重なり実行に至らなかった。23  
年度事業へと変更した。

そのほか、他の職能団体への協力等を積極的にすすめていきたい。

# (一社) 大分県介護福祉士会

会長 三浦 晃史



## 1. 会の現状

会員数 1,270名

支部構成 8支部（日出、大分、由布、佐伯、臼杵、豊後大野、日田、宇佐）

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### ○大分県介護福祉士会 研修会 ・・・ 年 8回実施

第1回「自立支援に向けた介護技術」

第2回「～ぼけても普通に暮らすことを支える～

お年寄りに私達は何ができるのか」

第3回「在宅での精神障害への対応について」

第4回「介護予防とレクレーション」

第5回「高齢者に多い疾患とその対応」

第6回「回復期から在宅復帰に向けてリハビリが途切れない為の

医療との連携における介護福祉士の役割」

「音楽療法 リズムとコミュニケーション」

第7回「通所系のサービスについて、今後求められる事とは」

第8回「介護福祉士に必要な介護技術～障害の分野から～」

大研修会「支える側が支えられるとき～認知症の母が教えてくれたこと～」

講 師：詩人、児童文学作家 藤川 幸之助 氏

### ○大分県介護福祉士会 講演会 ・・・ 年 2回実施

設立記念講演会・「動物とともに生きる」

九州アフリカ・ライオン・サファリ株式会社

獣医師 神田 岳委 氏

「介護の日」記念講演会・「みんなちがってみんないい」

乙武 洋匡 氏

### ○大分県介護福祉士会 支部別意見交換会等 ・・・ 各支部にて年 2回以上実施

### ○子どものための福祉講座

内 容 福祉講話・介護機器説明・体の動かし方・車椅子操作

アイマスク（視覚障がい者の介助）等

対象者 県下の小・中・高校生

講師派遣回数 年間 15回 派遣人数 61名

○「出前福祉教室」 小学校 8 校 他 1 回 講師派遣 10 名

○各種委員会への委員派遣

大分県地域リハビリテーション研究会  
大分県日常生活自立支援事業契約締結審査会委員  
大分県リハビリテーション事業運営委員  
大分県ボランティアネットワーク委員会  
大分県介護予防事業市町村支援委員会  
老人福祉計画策定委員会  
大分県社会福祉介護研修センター介護技術研究会  
大分県社会福祉介護研修センター運営委員会  
大分県社会福祉介護研修センター福祉用具専門部会  
中部圏域地域リハビリテーション支援センター実行委員会  
高齢者虐待防止対策検討委員会  
介護認定審査会(国東・大分・宇佐・中津)  
介護福祉士国家試験実地試験委員  
大分県災害ボランティアネットワーク運営委員  
大分県医療適正化推進協議会委員  
豊後大野市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会委員  
高齢社会をよくする女性の会全国大会 in 大分実行委員  
福祉人材確保推進協議会

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

当会が抱える課題として「人材の確保」「質の担保」という 2 点が挙げられますが、それがそのまま地域リハ活動における課題として考えられます。県下各地に散在する介護福祉士が高い志を持ち、医療・保健・福祉の他職種と連携をとることで、理想の地域リハ活動が実現すると強く信じています。

# (社) 大分県看護協会

会長 松原啓子



1. 会員数：7,930名（平成23年3月31日現在）

- ・常任委員会・特別委員会の21委員会が事業を展開している。

新規にワーク・ライフ・バランス推進委員会と新人看護職臨床研修検討委員会

- ・その他、県下を9地域に分け、地域での活動を推進している

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

1) 地域リハ関連の活動

- ・県地域リハ研究会役員会出席
- ・県リハセンター拡大運営会議出席
- ・県地域リハ研究会運営部会出席
- ・県リハ支援センター・県地域リハ合同研修会会議出席
- ・おおいた地域リハ研究大会企画会議出席

口述発表座長の派遣

大会運営派遣 2名

出席会員 21名

交流会出席 4名

- ・リレーフォーライフ 2010 in 大分参加

- ・県地域リハ支援センター・県地域リハ研究会合同研修会 シンポジスト派遣

- ・理学療法士協会公開講座講師派遣

テーマ「吸引手順ガイドラインと実際の吸引について」

- ・県地域リハ支援センター・県地域リハ研究会合同研修会 会報誌原稿提出

- ・介護支援専門員更新研修講師派遣

- ・大分東明高等学校看護科授業への講師派遣

- ・大分中央看護学校への講師派遣

- ・看護科学大学への講師派遣

- ・介護支援専門員受験対策講座講師派遣

- ・ホームヘルパーフォローアップ研修講師派遣

- ・大分県スポーツ学会学術集会 活動報告 座長

2) 県民の健康づくりへの活動

- ・大分市生活文化展での「まちの保健室」開催 5日間

- ・大分合同新聞社文化講演会での健康相談 9日間

- ・「みどりふれあい市」での健康相談 2日間

- ・「元気フェア」での健康相談 1日間

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

- ・地域リハは重要な活動である、当協会としても活動の検討が必要と考える  
　病院内でのチーム医療推進に向けた連携  
　吸引についての講師派遣
- ・研究大会での口述に応募予定
- ・平成23年度関係研修の計画  
　訪問看護研修 在宅酸素療法 N S T 摂食嚥下障害患者の看護  
　地域連携について
- ・ユニバーサルデザインの大分県看護研修会館を利用

# 大分県言語聴覚士会

会長 森 淳一



1. 会の現状
- 2) 会員数及び施設数(平成 23 年 3 月 31 日現在)  
会員数 : 212 名 ※約 7 割が大分、別府に集中している  
施設数 : 77 施設
- 3) 構成 :  
事務局 (総務部、事業部、財務部)  
社会局 (広報部、地域連携部)  
学術局 (学術研究部、教育研修部)  
特別委員会 (小児言語特別委員会、訪問リハ・通所リハ特別委員会)

## 1. 地域リハ関連の活動・取り組み

- 1) 言語障害友の会「なし会」関連
  - ①第 8 回総会・春の行事  
日 時 : 平成 22 年 4 月 4 日 (日)  
場 所 : 大分西部公民館  
参加者 : 34 名  
内 容 : なし会総会、花見
  - ②夏の行事  
日 時 : 平成 22 年 8 月 1 日 (日)  
場 所 : うみたまご  
参加者 : 28 名  
内 容 : うみたまごの見学、食事
  - ③秋の行事  
日 時 : 平成 22 年 11 月 3 日 (水)  
場 所 : 大分西部公民館  
参加者 : 21 名  
内 容 : レクリエーション、交流会、食事
- ④各ブロック会の開催及び参加  
回 数 : 1~2 カ月に 1 回程度 (各ブロック会にて決定)  
内 容 : 会員間及び家族間の情報交換、食事会

## 2) 第 2 回言語聴覚の日

- 目 的 : 言語聴覚士の周知  
方 法 : JR 車両内への県士会ポスターの掲示  
期 間 : 中吊広告 8 月 31 日 (火) ~9 月 5 日 (日) 日豊線・豊肥線・久大線  
戸袋広告 9 月 1 日 (水) ~9 月 30 日 (木) 日豊線

## 3) 大分県地域リハビリテーション関連

- ①第 7 回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会  
合同研修会への協力  
日 時 : 平成 22 年 7 月 11 日 (日)  
場 所 : 別府ビーコンプラザ 国際会議室
- ②第 3 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会への協力  
日 時 : 平成 22 年 10 月 31 日 (火)  
場 所 : はさま未来館  
発 表 : 口述発表 3 題

③各広域支援センター内の勉強会、研修会講師  
大分圏域：「お口のお手入れと安全な食べ方」  
日 時：平成 23 年 2 月 6 日（日）  
場 所：大分岡病院

#### 4) おおいた食のリハビリテーション研究会

(社) 大分県栄養士会、大分県歯科衛生士会、大分県介護福祉士会、大分県言語聴覚士

##### ①第 7 回研修会

日 時：平成 22 年 6 月 20 日（日）  
場 所：大分県社会福祉介護研修センター  
参加者：101 名  
内 容：おおいた食のリハビリテーション研究会 総会  
研究報告会（演題数 10）  
講演「オーラルマネージメント」

松成歯科医院 副院長 松成 康男先生

##### ②第 8 回研修会

日 時：平成 23 年 3 月 27 日（日）  
場 所：大分県社会福祉介護研修センター  
参加者：210 名  
内 容：講演「食べることを考える」

～何のために？誰のために？食べさせるのは誰の役割？

安全に食べる・食べさせるとは？～

佐賀社会保険病院 リハビリテーション科 部長 本多 知行先生  
研修・交流会（体験、相談コーナー）

##### ③第 4 回摂食・嚥下セミナー

7 月～10 月まで（1 週間のコース）

#### 5) 派遣事業

##### ①中津市「5 歳児発達相談会」

日 程：平成 22 年 11 月 5 日（金）、3 月 11 日（金）  
時 間：13：00～  
場 所：中津市三光福祉保健センター  
対 象：5 歳児  
内 容：言葉の発達や発音、吃音の関わる相談  
派 遣：言語聴覚士 2 名

##### ②宇佐市「5 歳児すこやか発達相談会」

日 程：平成 23 年 2 月 17 日（木）、18 日（金）、24 日（木）、25 日（金）  
時 間：13：00～17：00  
場 所：宇佐市勤労者総合福祉センター（さんさん館）  
対 象：5 歳児  
内 容：言葉の発達や吃音に関わる相談  
派 遣：言語聴覚士 4 名

### 3. 地域リハ活動における今後の展開

言語障害友の会「なしかい」や高次脳機能障害家族会への協力・側方支援、およびボランティア活動としてのコミュニケーションパートナーの支援・育成、住民啓発など地域住民への活動を推進していく予定。

# (社) 大分県作業療法協会

会長 高森聖人



## 1. 会の現状

※会員数 592名（平成22年12月1日現在）

圏域	支部名	会員数	施設数
中部圏域	大分支部	311	60
	臼津支部	19	4
東部圏域	別杵速見支部	84	28
	国東支部	10	6
北部圏域	中津支部	28	11
	宇佐高田支部	38	9
西部圏域	日田玖珠支部	25	11
豊肥圏域	大野支部	26	7
	竹田支部	20	5
南部圏域	佐伯支部	31	10
計		592	151

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 1) 作業療法一日体験

日 時：平成22年7月～8月

場 所：会員所属施設（49施設）

参 加 者：県内高校生123名

内 容：作業療法の見学、体験など

### 2) 作業療法フェスタ2010

日 時：平成22年8月22日（日）10:00～16:00

場 所：ジャスコパークプレイス サニーウォーク1階中央

参 加 者：約200名

内 容：こども作業療法体験、絵てがみ作成、高齢者・障害者疑似体験  
福祉用具体験・展示、リハビリテーション・認知相談  
脳ドックパネル展示

### 3) 「センターまつり2010」作業療法コーナー設置

日 時：平成22年11月8日（日）10:00～16:00

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：リハビリテーション・認知症相談、作業活動体験等

4) 広報誌「伝 DEN」の発行

No.3 平成 22 年 11 月 1 日発行 1,000 部

発送先：県内市町村、県内高等学校、地域包括支援センター、会員所属施設  
(社) 日本作業療法士協会、九州各県士会

5) 「リレー・フォード・ライフ大分 2010」参加

日 時：平成 22 年 10 月 9 日（土）13:00～10 日（日）13:00

場 所：大分スポーツ公園大芝生広場

大会規模：延べ参加者約 5,000 名

（会員 33 名、家族等 10 名）

6) 各種研修会等への講師派遣

●大分県シルバー人材センター連合会 訪問介護員養成研修 4 回

●大分市保健所精神デイケア事業 3 回

●由布市立知的障害者更生施設小松寮 職員研修 1 回

7) 大分県介護予防市町村支援委員会 運動機能向上専門部会における活動

8) 保健福祉領域における情報提供等、障害者の地域生活移行支援の推進に係る活動

9) 大分県障がい者スポーツ ジュニア育成支援会議における活動

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

公益社団法人への移行を目指す当協会にとって、地域リハ活動はもっとも公益性の高い活動であり、今後も積極的に広域支援センター等と連携して、各圏域の会員と広域支援センターとの橋渡しの役目を担っていきたい。

作業療法士は、生活の中で「できること」を増やしていくことができる専門家である。しかし、まだ数・質ともに充実していない状況にあるので、地域の要望に応えることができる作業療法士の育成にも力を注いでいきたい。また、大分県作業療法協会ビルにおいてリハビリテーション相談窓口を定期的に開催し、広く県民からの相談を受け、健康増進に寄与できる団体としても活動していきたい。

# (社) 大分県歯科医師会

会長 長尾博通



## 1. 会の現状

会員数：625名（平成23年4月現在）

大分県歯科医師会では地域福祉委員会が介護保険、高齢者・障がい者歯科保健、在宅歯科医療の関連分野を担当している。

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 在宅歯科診療の推進

歯の健康力推進歯科医師等養成講習会が平成21年に行われた。受講終了した歯科医師の管轄の保健所で22年度に在宅歯科診療検討協議会が立ち上がり、在宅歯科診療の取り組み、課題が協議された。

### 老健施設・障がい者施設訪問歯科保健事業

老人保健施設・福祉施設また障がい者施設を訪問する。入居者の口腔内健診、歯科衛生士会の口腔ケア、技工士会は義歯のネーム入れを行う。

最後に施設関係者と事業の内容について意見交換を行う。

平成20年度	老人保健施設	リバーサイド百々園
	障がい者施設	大分県のぞみ園
平成21年度	特別養護老人ホーム	白水長久苑
	障がい者施設	大分県のぞみ園
平成22年度	老人保健施設	グランドホーム古国府
	障がい者施設	大分県なおみ園

### 介護保険対応歯科保健研修会の開催

介護の中の口腔ケア等を主とした研修会であり、実習を伴うこともある。会員だけでなく介護施設にも案内状を送りケアマネ、ヘルパー等、他職種の方も多数参加する。

平成20年度	「最後の一口まで」を支援する仲間づくり
平成21年度	「摂食嚥下障害の評価と訓練の実際」
平成22年度	東日本大震災発生のため中止
本年度は平成23年6月25日開催予定	

### 障がい者歯科シンポジウムの開催

22年度の基調講演は「障がい児の口腔ケアとキュア」

シンポジウムは3人の講師により「障がい者歯科保健をどう考えるか」というテーマで開催した。

## 障がい者歯科保健地域協力医育成事業研修会の開催

7回の研修コースを通じて、かかりつけ医のプライマリーケアの連携をはかれるようにする。しいては、障がい者歯科医療の普及ならび向上を目指すため行われる。

平成22年度から3カ年計画で実施した。

本県の協力医 20年度 32名 21年度 28名 22年度 46名

## 各種委員会、協議会、研修会への参加

- ・大分県リハビリテーション協議会
- ・大分県リハビリテーション研究会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・豊の国8020運動推進協議会
- ・都道府県歯科医師会介護保険指導者連絡会
- ・大分県へき地医療対策協議会

## 調査・報告書関係

- ・障がい者（児）施設における歯科保健に関する

アンケート調査結果報告書

- ・「訪問歯科診療」に関するアンケート調査結果報告書

- ・老人保健施設・老人福祉施設等における

歯科保健に関するアンケート調査結果報告書

- ・大分県歯科保健サービスマップ

- ・がん治療を始める方へ「食べる」を支える口腔ケアリーフレット

## 今年度新規事業

- 1、高齢者よい歯のコンクール
- 2、口腔機能回復支援指導者養成研修会

## 3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

在宅歯科診療を行う上で治療終了後も継続的な口腔ケアが必要である。このために歯科医師は、介護保険制度の中での歯科保健を研鑽していかなければならない。

今年度、大分県歯科医師会の新規事業である「口腔機能回復支援指導者養成研修会」へ各郡市歯科医師会より代表した会員に受講してもらう。これにより、受講終了者が大分県下ほとんどに配置され、院内の口腔リハに留まらず、居宅、施設等に出向き頻繁に実践できれば、他職種との連携する機会がもっと増えていくものと思われる。

# (一社) 大分県歯科衛生士会

会長 高 藤 千 鶴



- 1 会員数 188名 (平成23年4月1日現在)  
支部 県南地区(佐伯、津久見、臼杵) 24名  
豊肥地区(竹田、豊後大野) 14名

## 2 研修会

(主催)

- 口腔ケアスキルアップセミナー(口腔ケア時のリスク管理) 8/8  
大分県委託口腔保健推進事業 研修会  
(口腔ケアからの摂食支援—認知症を中心に—) 9/12  
(一笑いきいき—他職種との連携による介護予防教室) 10/24  
学術・技術研修会(スキルアップ歯周病セミナー) 11/21, 12/12, 2/13  
歯科衛生士再就職支援リカバリーセミナー(大分県歯科医師会共催) 1/30

(後援・協力)

- 中津歯科医師会学術講演会 市民公開講座 (4/25)  
第3回口腔ケアシンポジウム in 宮崎 (9/26)  
第7回大分県リハビリテーション支援センター  
大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会 (7/11)  
第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会 (10/31)  
第7回おおいた食のリハビリテーション研究会研修会 (6/20)  
第8回おおいた食のリハビリテーション研究会研修会 (3/27)

(学術発表、座長))

- 中津歯科医師会学術講演会 市民公開講座 (4/25) 発表1題、座長  
日本歯科衛生士会第5回学術大会 (9/18~20) 発表2題  
第3回口腔ケアシンポジウム in 宮崎 (9/26) 発表1題  
第7回おおいた食のリハビリテーション研究会研修会 (6/20) 発表2題  
第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会 (10/31) 発表2題

(講師派遣)

- 県内の市町の母子事業、地域支援事業  
障がい児施設の歯磨き教室  
大分県社会福祉介護研修センターの介護教室・摂食・嚥下セミナー  
別杵速見・大分・竹田圏域地域リハビリテーション広域支援センター口腔  
ケア研修会

(会議出席)

○地域リハビリテーション関係

大分県地域リハビリテーションセンター広域支援センター

(速見・別府、中部、南部県域)

大分県地域リハビリテーション研究会

○行政関係

大分県 8020 運動推進協議会、大分県在宅歯科診療検討部会、

大分県口腔機能向上・栄養専門部門、

大分県障がい児・者歯科保健検討部会、各保健所地域歯科保健検討部会

(大分県歯科医師会 高齢者、障がい者施設訪問事業に協力)

グランドホーム古国府 8/21

大分県なおみ園 11/14

### 3 課題・今後の展開

口腔ケアは疾病の予防のみならず、口腔機能の維持・向上に有効であることは広く知られ、実施されるようになりました。急性期、回復期、維持期へと切れ目ない口腔ケアの提供が必要かと思われます。

そのために今後は、多職種との連携を強め、より安全で質の高い口腔ケアが提供できるよう研修会を充実させていきます。また、会員を拡大して地域リハビリテーション圏域ごとに支部を作ることを目指します。

# 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

## 1. 会の現状

会長 手嶋 敏夫

会員センター 74センター

- |               |        |
|---------------|--------|
| ・地域包括支援センター   | 45センター |
| ・在宅介護支援センター   | 12センター |
| ・地域総合相談支援センター | 17センター |

## 2. 主な活動・取り組み

### (1) 研修会の開催

#### ①第1回地域住民支援技術研修会

日 時：平成22年12月6日（月）10：30～16：30

会 場：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参 加：64名

内 容：講義「地域生活支援とネットワーク

～対人援助におけるネットワークの構築と利用～」

日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 准教授 原田正樹 氏  
事例報告

#### ①「地域生活支援とネットワーク」

杵築市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 南美沙子 氏

#### ②「地域づくり支援について」

上野ヶ丘・碩田地域包括支援センター 社会福祉士 小倉亮一 氏

#### ②大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター研修会

日 時：平成23年2月7日（月）9：30～12：00

会 場：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参 加：65名

内 容：講義「介護保険制度改革に向けた地域包括ケアをすすめる

ネットワークづくり」

大阪市立大学大学院 生活科学研究科 教授 白澤政和 氏

#### ③第2回地域住民支援技術研修会

日 時：平成23年2月7日（月）13：00～15：30

会 場：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参 加：40名

内 容：講義・演習「対人援助職におけるセルフケア」

社団法人大分県社会福祉士会 理事

Healing forest～癒しの森～

NLPカウンセラー・セラピスト 明石二郎 氏

カラーセラピスト・アナリスト 米園麻記子 氏

### (2) ブロック活動

各市町村ブロック組織での研修会や会議等の活動に対する支援

### (3) 情報提供及び調査研究

#### ①調査研究等

- ・市町村地域包括ケア推進事業の実施推進 等

- ②他機関が実施する各種研修会への参加案内

- ・大分県社会福祉士会 成年後見活用講座
- ・大分県介護予防・転倒予防研究会第1回研修会
- ・大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会
- ・大分県脳卒中地域連携研修会
- ・社会福祉施設等経営支援セミナー 等

(4) 関係機関・団体との連携・協力

①県内関係機関・団体との連携

- ・大分県地域リハビリテーション支援センター拡大運営会議への出席
- ・大分県認知症疾患医療センター認知症地域連携研修会への出席
- ・別府市高齢者虐待防止研修会への出席
- ・大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会への出席
- ・日常生活自立支援事業関係機関連絡会議への出席
- ・大分県民生委員児童委員ブロック別研修会への派遣協力（6センター） 等

②県との協調・支援

③全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会との協調・支援

(5) 九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナー

日 時 平成22年11月17日（水）～18日（木）

会 場 宮崎観光ホテル（宮崎市）

参 加 226名（29名）

内 容 基調報告「今後の地域包括支援センター・在宅介護支援センターのあり方について」

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 研修委員長

西元幸雄 氏

パネルディスカッション

座長：熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会長 堀尾慎彌 氏

コメンテーター：全国地域包括・在宅介護支援センター協議会

西元幸雄 氏

佐賀県地域包括・在宅介護支援センター協議会長

凌 文子 氏

テーマ（1）ネットワークづくり

パネリスト（熊本県・沖縄県・鹿児島県）

テーマ（2）介護予防とそのあり方

パネリスト（佐賀県・大分県・宮崎県）

（大分）駅川圏域地域包括支援センター

主任介護支援専門員 荒木真由美 氏

講演I 「地域包括ケアをめぐる現状と今後の方向性」

厚生労働省老健局振興課 人材研修係長 山本明彦 氏

講演II 「認知症の人と家族を地域で支える

～予防からターミナルまで～」

認知症介護研究・研修東京センター

研究部副部長 永田久美子 氏

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

# 大分県地域リハビリテーション研究会

会長 武居光雄



## 1. 会の現状

会長：武居光雄 副会長：高森聖人、高藤千鶴

幹事：各団体より代表者 1 名

監事：本田昇司、難波亮二 顧問：佐竹孝之、有田眞、森照明

会員数：16 団体 総数 15,536 名(平成 22 年 4 月)

大分県地域リハ医師懇話会(29 名) (社)大分県歯科医師会(623 名)

(社)大分県栄養士会(728 名) (社)大分県看護協会(7,616 名)

(社)大分県作業療法協会(512 名) (社)大分県薬剤師会(1,399 名)

(社)大分県理学療法士協会(868 名) 大分県歯科衛生士会(172 名)

大分県言語聴覚士会(228 名) 大分県介護福祉士会(1,251 名)

大分県医療ソーシャルワーカー協会(196 名) 大分県臨床心理士会(166 名)

大分県介護支援専門員協会(504 名) (社)大分県放射線技師会(354 名)

(社)大分県臨床検査技師会(655 名) (社)大分県臨床工学校技士会(235 名)

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### ① 第 7 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会の開催

日 時：平成 22 年 7 月 11 日(日)

場 所：別府ビーコンプラザ 国際会議室

参加者：287 名

講 演：『地域包括ケアシステム構築に向けて

～介護支援専門員の取り組みと地域リハビリテーション活動～

講 師：日本介護支援専門員協会 会長 木村隆次 先生

司 会：大分県リハビリテーション支援センター センター長 森照明

シンポジウム『地域連携を考える～認知症を地域でどう支えるか～』

シンポジスト：(社)大分県看護協会 大分赤十字病院 松本まり

大分県言語聴覚士会 介護老人保健施設 岡の苑 佐藤英未映

(社)大分県介護福祉士会 特別養護老人ホーム敬天荘、中ノ島園  
梶原キヌ子

大分県 MSW 協会 天心堂へつぎ病院 井元哲也

司 会：大分県地域リハビリテーション研究会 運営部長 井野邊純一

(社)大分県臨床工学校技士会 副会長 小川一

### ② 第 3 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会の開催

日 時：平成 22 年 10 月 31 日(日)

場 所：はさま未来館 文化ホール他

参加者：195名

テーマ：『くらしを支えるリハビリテーション～ネットワークを深めよう～』

特別講演『高齢者・障害者のくらしを支える住環境』

講 師：大分大学工学部 福祉環境工学科 准教授 鈴木義弘 先生

司 会：大分県医療ソーシャルワーカー協会 副会長 佐藤博文

シンポジウム『高齢者・障害者が安心して暮らせる街づくり』

司 会：大分県作業療法協会 会長 高森聖人

コメンテーター：大分大学工学部 福祉環境工学科 准教授 鈴木義弘 先生

➤ 行政の立場から

大分県福祉保健部 地域福祉推進室 室長 河野成典

➤ 在宅支援専門職の立場から

介護支援専門員協会 いづみの園介護保険サービスセンター 栗原洋一

➤ 当事者の立場から

NPO 法人自立支援センターおおいた 五反田法行

口述発表：22題

ポスター発表：8題

③ 第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会 交流会

日 時：平成22年10月30日(土) 19:00～受付 19:30～開始

場 所：大分全日空ホテル オアシスタワー 21階エトワール

参加者：100名

④ 広報誌の発行

第16号 印刷部数：1,000部(平成22年8月発行)

第17号 印刷部数：1,000部(平成23年2月発行)

⑤ 運営部会の開催

第1回：平成22年5月24日(月)

第2回：平成22年6月14日(月)

第3回：平成22年7月23日(金)

第4回：平成22年8月30日(月)

第5回：平成22年9月24日(金)

第6回：平成22年10月18日(月)

第7回：平成22年11月25日(木)

第8回：平成23年3月4日(金)

⑥ 役員会の開催

第15回：平成22年5月31日(月)

第16回：平成23年3月14日(金)

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域リハビリテーションという言葉は県内の医療・福祉・保健等のスタッフに

かなり浸透したと思われる。しかし、その意味を深く理解できているかと問われるとそうでもない場面も見受けられる。もう一步踏み込んだ理解ができるよう、今後も今まで以上に職能団体間のつながりを強くしていき、研修会や研究大会を通じて皆で勉強していきたい。また、県下の医療、福祉関係の養成学校にも働きかけ、学生のころより地域リハビリテーションという概念を理解できるように、啓発したいと考えている。今後は各種委員会を設置し、様々な問題点を専門的に討論や遂行する体制を取りたいと考えている。

# (一社) 大分県病院協会

会長 川 島 真 人



## 1. 病院協会の現状 (H23. 3. 31 現在)

- (1) 会員数：129 病院 会長：川島眞人（川島整形外科病院）  
副会長：松本文六（天心堂へつぎ病院）  
副会長：畠洋一（畠病院）

## (2) 支部構成：地区毎の理事及び所属病院数

- 県北 (所属病院数 24 - 理事：佐藤仁一、瀧上 茂)  
別府 (所属病院数 23 - 理事：黒木健次、山本記顯)  
大分 (所属病院数 47 - 理事：有田毅、武居光雄、岡敬二、中村太郎、井野邊純一)  
久大 (所属病院数 20 - 理事：山本 亨、後藤憲文)  
豊肥 (所属病院数 4 - 理事：大久保 健作)  
県南 (所属病院数 11 - 理事：小寺 隆、曾根 勝)

## (3) 監事：帆秋善生、膳所憲二

- (4) 名誉会長：井野邊義一 顧問：岡 宗由 参与：野口志郎

## 2. 病院協会活動報告 (総会資料より抜粋)

### (1) 平成 22 年度通常総会及び一般社団法人大分県病院協会臨時社員総会

開催日時：平成 22 年 5 月 22 日（土） 15 時  
場所：大分全日空ホテル オアシスター（大分市高砂町 2-48）  
特別講演：演題「これからの大分県病院協会の事業継承について」  
講師 株式会社ジェムコ日本経営 濱口吉人先生  
参加者 59 名

### (2) 理事会：計 6 回開催

### (3) 第 28 回大分県病院学会実行委員会：計 2 回開催

### (4) 第 28 回大分県病院学会

テーマ：「安心・安全・満足 輝く医療・介護をめざして」  
日 時：平成 22 年 11 月 21 日（日） 8:45～16:20  
場 所：別府市山の手町 ビーコンプラザ  
参加人員(概数)：医師 58 名 事務部会 361 名 看護部会 1,116 名 栄養部会 122 名  
医療技術部会 292 名 社会福祉部会 165 名 その他 314 名  
計 2,428 名

特別講演：「医療安全とコミュニケーション」

講師：武藏野赤十字病院 副院長・小児科部長 日下隼人先生

シンポジウム：「安心・安全・満足 輝く医療・介護をめざして」  
～リスクマネジメント～  
シンポジスト：西鉄バス北九州株式会社 取締役会長 久保祐二 先生  
湯布院厚生年金病院 院長 森 照明 先生  
社会医療法人財団天心堂 看護部長 大塚三千代 先生

(5) 講演会（公開講座）

日 時：平成 23 年 3 月 12 日（土）15 時～  
場 所：大分県医師会館 7 F 大会議室  
講 師：本田 宏 先生（済生会栗橋病院 副院長）  
演 題：「医療・日本崩壊の深層と再生への処方箋」  
参加人員：27 病院より 128 名、一般より 13 名 合計 141 名

(6) その他の会議

九州 4 県（長崎、熊本、大分、福岡）病院団体長調整会議  
日 時：平成 23 年 1 月 28 日（金） 13 時～14 時 45 分  
場 所：博多都ホテル

3. 各部会活動報告

(1) 事務部会

①研修会  
日 時：H22 年 6 月 11 日（金）14：00～16：30  
場 所：大分県医師会館 7 階大会議室（大分市大字駄原 2892-1）  
演 題：「平成 22 年度診療報酬改定等について」  
講 師：メディカル 21 代表 村上佳子 先生

②役員会：計 4 回開催

(2) 看護部会

①研修会

第 1 回研修会

日 時：H22 年 7 月 3 日（土）13 時～  
テーマ：「“食”をとおして 認知症患者を理解する」  
講 師：NP0 法人摂食コミュニケーションネットワーク理事長 中島知夏子 先生  
場 所：大分県医師会館

第 2 回研修会

日 時：H22 年 9 月 4 日（土）13 時～  
テーマ：「臨床における認知症患者の理解とその対応」  
講 師：医療法人新生会高田中央病院 認知症看護認定看護師 後藤 聰美 先生  
場 所：大分県医師会館

②役員会：計 4 回開催

(3) 栄養部会

①研修会

## 第1回研修会

日 時：平成 22 年 7 月 17 日(土) 13:00～17:00

場 所：大分県医師会館 6F 研修室 I

講演 I : 「病院機能評価受診に向けて Ver. 4.0 から Ver. 6.0 へ」

講 師：株式会社 翔薬 河野友治先生

講演 II : 「より身近に栄養士の関わりを感じてもらうには」～チーム F C の試み～

講 師：古国府クリニック 副院長 伊東康子先生

## 第2回研修会

日 時：H22 年 9 月 25 日(土) 13:00～17:00

場 所：大分県医師会館 6F 研修室 I

講演 I : 「知っておきたい！栄養管理における感染管理」

講 師：佐賀関病院 臨床工学技士 村上圭太先生

講演 II : 「身近な栄養学」

講 師：井野辺病院 薬剤師 伊藤洋二先生

## 第3回研修会

日 時：平成 23 年 1 月 22 日(土) 13:00～17:00

場 所：大分県医師会館 6F 研修室 I

講演 I : 「嚥下食のおはなしと実演」

講 師：株式会社 宮源 牧 裕司先生

講演 II : 「病態栄養 ～食と心～」

講 師：別府大学 食物栄養科 教授 米持 英俊先生

② 役員会：計 4 回開催

## (4) 社会福祉部

### ①研修会

#### 第1回研修会

日 時：平成 22 年 9 月 4 日 (土) 14:00～16:30

場 所：アステム大分本社 4F 大会議室

内 容：『医療現場におけるエコ活動』

講 師：桑野 恭子 氏 (大分県環境教育アドバイザー)

高橋 秀好 氏 (大分東部病院 庶務課主任)

#### 第2回研修会

日 時：平成 23 年 2 月 26 日 (土) 14:00～16:10

場 所：新日鉄 攻玉寮 2 階 大ホール

内 容：『医療現場におけるクレーム対応を考える

～患者・家族の思い、スタッフの思い～』

講 師：出口 直子 氏 (農協共済 別府リハビリテーションセンター 総合連携部  
リハビリテーション支援課 課長補佐 臨床心理士)

②役員会：計 7 回開催

③研修会への名義後援：大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会等

#### 4. 地域リハ活動における課題・今後の展開

○社会福祉部会

○医療技術部会

地域リハビリテーションに関する研究班を立ち上げ、積極的に病院協会としてできるシステムを構築し、参加する予定（現在詳細に付き検討中）。

# (社) 大分県放射線技師会

会長 村上 康則



## 1. 会の現状

会長 村上 康則 (大分大学医学部附属病院)  
副会長 江藤 芳浩 (西田病院)  
副会長 桑原 宏 (天心堂へつぎ病院)

会員数 359名(平成23年4月1日現在)

	会員数
県 北	36
国 東	12
日 田	13
別 府	77
大 分	167
豊 肥	16
県 南	34
その他の会員数	4
計	359

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

第7回大分県リハビリテーション支援センター・

大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

日時：平成22年7月11日（日）

場所：別府市ビーコンプラザ

リレー・フォー・ライフ大分2010

日時：平成22年10月9日（土）～10日（日）

場所：大分スポーツ公園「大芝生広場」

参加：5名

第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究会交流会

日時：平成22年10月30日（土）

場所：大分全日空ホテルオアシスタワー（21階エトワール）

第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会

日時：平成22年10月31日（日）

場所：由布市はさま未来館

## 口述発表「嚙下造影検査時の介助者被ばく線量について」

天心堂へつぎ病院 桑原 宏

「骨粗しょう症 Q&A の作成～骨粗しょう症の講義を通じて～」

湯布院厚生年金病院 江澤 朋子

### レントゲン週間イベント

日時：平成 23 年 1 月 9 日（日）

場所：パークプレイス

実行委員長：甲斐英樹

内容： 超音波によるファントム走査体験、骨密度測定、乳がん自己検診方法、パネル展示、3D-CT 画像供覧、放射線相談などを行った。

多数の家族連れが訪れ盛況であった。

### その他

東日本大震災に係る福島原発事故の際に、福島県内の避難地域住民への放射線汚染等のサーバイランスについて、厚生労働省から日本放射線技師会協力依頼を受け、第3次派遣隊のメンバーとして本会会員 2 名が参加した。

日時：平成 23 年 3 月 26 日（土）～30 日（水）

派遣者：桑原 宏（副会長）、末吉聖二（理事）

## 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

### 【研究課題】

- ・体の動きの悪い患者さんに対して、患者さんの負担軽減と必要な診断情報を得るための撮影技術ならびに撮影補助具に関する研究
- ・骨密度検査の精度についての研究
- ・CT を使用した内臓脂肪測定の精度についての研究
- ・嚙下造影撮影の工夫、改善
- ・高次脳機能障がいに関する画像検査法の研究

### 【連携】

- ・リハビリの機能評価と画像情報の関連について、他職種と連携を行い、患者さんの治療効果につながるような検査方法を模索する。
- ・骨密度測定、内臓脂肪測定を行う立場から転倒予防教室など院内での活動に参画する。
- ・広域支援センターの放射線技師がリハビリ関連分野に積極的に関与する。
- ・CT・MR を使用した画像検査に従事し、脳梗塞の早期発見、早期治療による高次脳機能障がいの重症化を防ぐための画像診断を支える。
- ・チーム医療を担う専門職種として他職種との連携を進め、診療放射線技師としての役割を果たす。

# (社) 大分県薬剤師会

会長 安東哲也



## 1.会の現状

会員数：1,380名（平成23年4月1日現在）

## 2.地域リハ関連の活動・取り組み

### (1)講習会の開催

日 時：平成22年11月12日(金)

場 所：県薬会館

講 師：日本薬剤師会常務理事 木村 隆次先生

演 題：「在宅訪問ならびに他業種との地域連携について」

### (2)研究大会等への参画

第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会への参加

日 時：平成22年10月31日(日)

場 所：はさま未来館

### (3)委員会の開催

下記議題等について委員会を開催し、委員に周知した。

(1)健康介護まちかど相談薬局について

(2)在宅療養推進アクションプログラム事業推進について

(3)地域リハビリテーションについて

## 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

現在、超高齢化社会に対応する医療・介護の体制として、住み慣れた地域の日常生活圏域内（おおむね30分以内）において、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく、有機的かつ一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の整備が進んでいる。そのためには、地域の医療・介護に関する多職種が連携して適切な医療・介護サービスを提供することが肝要かと思います。そこで、当会では地域連携を推進するため『在宅療養推進アクションプラン』を策定し、会員薬局(507薬局)あてアンケート調査を開始した。

在宅療養推進アクションプランは、下記の2つの事業を柱としている。

### (1)より多くの薬局・薬剤師が在宅医療に参画するための地域体制整備

①地域単位での薬局の訪問薬剤管理指導業務応需体制を調査し、関係職種・行政等に情報提供を行う。

②在宅医療における薬剤師の役割や機能について、関係職種に正しく理解していただくため積極的なアプローチを行う。

(2)薬剤師が在宅医療に取り組むために必要な知識、研修等のサポート

これらの活動を通じて、より多くの薬局・薬剤師が在宅医療に参画し、チーム医療の中で、薬剤の専門家として各医療スタッフからの相談に応じることができ、一層貢献できる体制を整えることが、地域リハ活動にも貢献できることと思われる。

薬局・薬剤師が地域に溶け込み、高齢者や障害を持った方々の生活機能全般の改善や環境調整などを通じて、QOLの向上や介護状態にならず自立した日常生活を営めるように支援することは、今後とも重要な課題であり続けると考える。

# (公社) 大分県理学療法士協会

会長 河野礼治



地域リハビリテーションの視点から、平成 22 年度、当協会として公益事業推進に向け取り組んできた事業についてご紹介します。平成 22 年度では大分県のほぼ全域において地域リハビリテーションに関する活動が当協会にて行うことができました。今後さらなる公益事業の推進を図ってまいりたいと考えています。

## 1. 会の状況

- (1) 会員数：966 人
- (2) 支部構成：県内 6 ブロック（大分、別府速見、県北、県南、久大、豊肥）

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 【地域医療、地域保健及び社会福祉への協力に関する事業】

#### (1) 第 14 回介護支援セミナー

日 時：平成 22 年 06 月 20 日（日）12：00～16：30

場 所：別府リハビリテーションセンター

テーマ：「リハビリテーション介護の提案」一起居・移乗の介助法—

講 師：是永浩二 氏（岡本病院）

　　興梠貴美恵 氏（別府リハビリテーションセンター）

対 象：一般県民・介護保険施設職員等 参加者 57 名（一般参加 1 名）

（資料費 500 円）

後 援：大分県社会福祉協議会、大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送

#### (2) 介護支援キャラバン テーマ：「起居・移乗の介助法」

##### ①介護老人福祉施設紫雲荘

日 時：平成 22 年 10 月 19 日（火）19：00～21：00

講 師：是永浩二 氏、首藤暢宏 氏、古本雅博 氏（岡本病院）

　　川井道治 氏、佐藤史孝 氏（みえ記念病院）、上杉啓太 氏（長門記念病院）

　　伊藤正和 氏（みょうばんクリニック）、興梠貴美恵 氏（別府リハビリテーションセンター）

対 象：臼津圏域介護保険施設職員 参加者 72 名（資料費 500 円）

##### ②えとう内科

日 時：平成 23 年 02 月 27 日（日）10：00～12：00

講 師：佐々木紘幸 氏、谷川千春 氏、生野ユカ 氏（諏訪の杜病院）

　　中原佑太郎 氏（別府リハビリテーションセンター）

対 象：大分地域介護職員 参加者 32 名（資料費 500 円）

(3) 第 6 回介護予防セミナー

日 時：平成 22 年 09 月 26 日（日）13：00～16：00 はさま未来館

テーマ：「チャレンジ介護予防～転倒予防と評価方法～」

講 師：林 直弘 氏（別府リハビリテーションセンター）

対 象：地域包括支援センター・大分市別府市の介護予防事業所等 参加者 20 名

（資料費 500 円）

後 援：大分県、大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送

(4) 介護予防キャラバン テーマ：「チャレンジ介護予防～転倒予防と評価方法～」

①特別養護老人ホーム創生の里

日 時：平成 22 年 12 月 18 日（土）14：00～16：00

講 師：林 直弘 氏（別府リハビリテーションセンター）、

生野ユカ 氏（諏訪の杜病院）

中原祐太郎 氏（別府リハビリテーションセンター）

対 象：ヘルパー等 参加者 33 名（資料費 500 円）

②川嶌整形外科病院

日 時：平成 22 年 03 月 16 日（水）19：00～20：30

講 師：岩永純一 氏（和田病院）、伊藤正和 氏（みょうばんクリニック）

島澤真一 氏、小松原佳苗 氏

（川嶌整形外科病院 通所リハビリテーションセンター）

対 象：中津・宇佐地域の介護予防事業所等 参加者 30 名（資料費 500 円）

### 【行政等他組織の事業への協力・支援】

①国東市豊の船講師依頼

日 時：平成 22 年 05 月 21 日（金）11：00～ アストくにさき

出向者：毛井 敦 氏（別府リハビリテーションセンター）

山本隆人 氏（別府リハビリテーションセンター）

②リレー・フォード・ライフ

日 時：平成 22 年 10 月 09 日（土）～10 日（日）

参加者：67 名

③介護研修センターまつり 2010 への協力

日 時：平成 22 年 11 月 07 日（日）10：00～14：00

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

④ホームヘルパー養成講座

テーマ：リハビリテーションの基礎知識

⑤第 45 回九州医学検査学会特別企画 “健康フェア”

日 時：平成 22 年 09 月 12 日（日）09：00～ 別府ビーコンプラザ

出向者：宮原龍司 氏（藤華医療技術専門学校）

前田和規 氏（別府リハビリテーションセンター）

村上英治 氏（訪問看護ステーションいづみ）

大野天聖 氏（別府リハビリテーションセンター）

⑥介護認定審査会への認定委員派遣（県下6圏域に対して19名出向者）

⑦障害者介護給付費等認定審査会への認定委員派遣（県下2圏域に対して2名出向者）

⑧社会福祉施設経営指導事業への指導員派遣（県下4施設に対して4名出向者）

⑨別府溝部学園短期大学「リハビリテーション」講座への講師派遣

### 【理学療法の知識の普及啓発に関する事業】

#### (1) 理学療法士の活動について啓発事業 公開講座

日 時：平成22年11月14日（日）

場 所：日田市総合体育館

テーマ：「五十肩解消法」

講 師：社団法人大分県理学療法士協会 会長 河野礼治 氏

参加者：43名

#### (2) 介護研修センターまつり2010への協力

日 時：平成22年11月07日（日）10：00～14：00

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：①筋力・バランス能力測定 ②パネル展示

協力者：池田孝臣 氏、村上英治 氏、後藤景子 氏、深田敬子 氏、小野涼子 氏、  
生野 旭 氏、武内未穂 氏、服部 亮 氏

参加者：80名

#### (3) 大分県保健医療団体連絡協議会「げんきフェア」

日 時：平成22年10月23日（土）10：30～13：00

会 場：大分銀行ドーム 東口周辺通路

内 容：①理学療法に関する相談会 ②パネル展示 ③筋力・バランス能力測定

参加者：40名

#### (4) 別杵速見ブロック理学療法啓発事業

日 時：平成23年02月27日（日）杵築市生涯学習館

テーマ：「やってみよう骨盤底筋体操～理学療法士のはなすトイレの話～」

講 師：別府リハビリテーションセンター 理学療法士 毛井 敦 氏

参加者：杵築市民27名

#### (5) 維持期リハビリテーション研修会（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

県内各団体共催）

日 時：平成23年01月30日（日）09：30～12：40

会 場：別府ビーコンプラザ

テーマ：「維持期リハビリテーションの効果について考える

～訪問リハビリテーションの現状と問題点を見つめて～」

講 師：全国訪問リハビリテーション研究会 会長 伊藤隆夫 先生

(シンポジスト 理学療法士 池田孝臣 氏、作業療法士 児玉隆典 氏、  
言語聴覚士 中村太一 氏)  
参加者：259名 (理学療法士協会 129名、作業療法協会 80名、  
言語聴覚士会 45名、非会員 5名)

(6) 理学療法週間の実施

期 間：平成 22 年 07 月 11 日（日）～17 日（土）  
後 援：大分県、大分県社会福祉協議会、大分合同新聞社、N H K 大分放送局、  
O B S 大分放送、T O S テレビ大分、O A B 大分朝日放送

①高校生対象理学療法説明会

参加者：25校 113 名

②理学療法週間イベント

日 時：平成 22 年 07 月 11 日（日）10：00～14：00

会 場：あけのアクロスタウン

内 容：①理学療法に関する相談会 ②パネル展示 ③筋力・バランス能力測定  
④記念品等の配付

参加者：96名

3. 地域リハ活動における課題・今後の展望

# (社) 大分県臨床検査技師会

会長 佐藤 元恭



## 1. 会の現状

会員数：592名（5月11日現在）

支部構成：大分地区、別杵地区、県北地区、県南・豊肥地区、県西地区

大分県臨床検査技師会は創立57年目を迎え、事務局、学術部、組織部、企画部、経理部より成り、学術部は各学術分野を6部門23の専門分野に分け、組織部では県内を5地区に分けて定期的に学術集会や研修会を開催している。臨床検査は医療現場において、疾病の早期発見や正確な臨床診断には欠かせない業務である。医療だけではなく、検診事業や公衆衛生、新薬の開発、予防医学などの分野でも臨床検査技師の技術が生かされている。NSTやICTなど他のメディカル・スタッフと協力のもとリハビリテーションの必要な急性期・慢性期患者に対しても積極的な関わりを持つようになっている。

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### ①第42回大分県臨床検査学会

日時：平成23年3月13日(日)

場所：大分県立病院 3階 大講堂

特別講演：「輸血の安全管理について」

産業医科大学 臨床検査・輸血部 助教 中田 浩一

### ②ガン征圧、乳がん撲滅に関する事業

「リレー・フォード・ライフ大分2010」に参加

日時：平成22年10月9日～10日

場所：大分銀行ドーム 西側大芝生広場

内容：(1)参加会員49名によるタスキリレー及びがん患者との触れ合い

(2)企画テントにおいて「インボディー計測」と「骨密度検査」「呼気CO測定」を実施

(3)掲示ポスターにおいて臨床検査技師とがん早期発見の役割を啓発

### ③エイズ・STI予防に関する事業

日時：平成22年12月11日

場所：大分市府内町 大分駅前周辺、赤レンガ館2階大ホール

内容：①大分駅周辺においてエイズ予防啓発リーフレット、

脂取り紙の配布

### ②市民公開講演

「性行為感染症の現状」

大分県衛生環境研究センター 小河正雄 技師

「エイズはよその国のことでしょうか？」

大分記念病院 名誉理事長・常務理事 高田三千尋 先生

参加人数：109名

④生活習慣病予防啓発に関する事業

日時：平成 22 年 9 月 12 日

場所：別府ビーコンプラザ

内容：①パネル展示、骨密度測定、血流速度測定

②市民公開講座

「笑医と感動で心のパワーアップを」

東京医療保健大学教授・笑医塾長他 高柳 和江 先生

⑤学術合同講演会

日時：平成 23 年 1 月 22 日

場所：大分記念病院

講演 1：「人間力とは」

日本文理大学副学長兼経営経済学部長 濑川 紘一 先生

講演 2：「人間力育成プログラムによる人材育成」

日本文理大学工学部建築学科准教授兼人間力育成センター長

吉村 充功 先生

参加人数：34 名

⑥学術部主催 生涯教育講習会・勉強会

全 36 回（平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月）

部門：生物化学分析部門、生理機能検査部門、形態検査部門、

感染制御部門、移植検査部門、総合管理部門

⑦組織部主催 生涯教育講習会・勉強会

全 32 回（平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月）

地区：大分地区、別杵地区、県北地区、県南・豊肥地区、県西地区

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

数年前に比べ医療団体協議会等の横のつながりが確立してきた。しかし、臨床検査は地域リハビリテーション活動との関わりにおいてはまだ希薄であると感じられる。従来の臨床検査の多くは検診事業や病院診療における疾病の早期発見、早期診断に主眼を置いてきた。しかし、ここ数年で疾病診断以後の慢性期、回復期に対しても、身体の状態把握などにおいて側方支援を行うことが求められるようになった。寝たきり患者の感染防御対策、慢性疾患患者の栄養状態把握、循環器患者の心肺機能把握など支援できる検査項目は少なくないと思われる。データ標準化事業の推進により、大分県の多くの施設で測定された検査値は同様の尺度で解釈できるまでとなってきている。今後は臨床検査においても迅速かつ正確なデータを臨床側にフィードバックするだけでなく、少子高齢化に対応すべく介護福祉分野での貢献も考えていかなければならないと考える。

# (社) 大分県臨床工学技士会

会長 小川 一



## 1. (社)大分県臨床工学技士会の現状

設立：平成 2年 6月 24日

社団法人設立：平成 20年 1月 31日

(1) 正会員数 245名 (H23. 4. 16 現在)

(2) 賛助会員数 20社

## 2. 大分県地域リハビリテーション関連の活動・取り組み

(1) 大分県リハビリテーション支援センター第7回拡大運営会議への出席

平成 21年 5月 27日 (水) 湯布院厚生年金病院 保健学習棟3階研修室

(2) 第7回大分県地域リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会

参加協力

平成 22年 7月 11日 (日) ビーコンプラザ国際会議場

シンポジウム「地域連携を考える～認知症を地域でどう支えるか～」

司会大分県臨床工学技士会(小川 一) 運営・会場スタッフ 2名派遣

(3) 第3回大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会 参加協力

平成 22年 10月 31日 (日) はさま未来館

(4) 大分県保健医療団体協議会 げんきフェア

平成 22年 10月 23日 (土) 大銀ドーム

(5) 大分県地域リハビリテーション研究会第15.16回役員会への出席

平成 23年 5月 31日 (月) 湯布院厚生年金病院会議室

平成 23年 3月 14日 (月) 井野邊病院会議室

(6) 大分県地域リハビリテーション研究会運営会議への出席 6回／年

(7) 大分県保健医療団体協議会理事会への出席 3回／年

## 3. 大分県地域リハビリテーション関連の活動における課題・今後の展開

(1) 大分県地域リハビリテーション関連大会・会議等への出席参加協力

(2) 内部障がい者への臨床工学技士としての対応

(3) 咳痰の吸引の研修等の各リハ関係職種との協同開催

(4) 日本臨床工学会、九州臨床工学会開催時の公開講座参加の各団体への協力依頼

(5) 学会開催予定

学会名：第21回日本臨床工学会・平成23年度日本臨床工学技士会総会

会期：平成 23年 5月 21日 (土)～22日 (日)

場所：別府国際コンベンションセンター「ビーコンプラザ」

テーマ：「臨床工学技術の伝承～未来へのアプローチ～」

学会長：(社)大分県臨床工学技士会 会長 大石義英

参加予定人数：1500名～2000名  
教育講演 1演題 特別講演 1演題 招聘講演 1演題  
市民公開講座 2演題 シンポジウム 2  
ワークショップ 10 JACET BPA 10演題 共催セミナー 10社  
一般演題 337台 機器展示 49社 で行う予定です。

# 大分県臨床心理士会

会長 大嶋 美登子



## 1. 会の現状

正会員 167名、準会員 24名 (平成23年3月末 現在)

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### (1) 会議への参加

- ・大分県リハビリテーション支援センター 拡大運営会議
- ・大分県地域リハビリテーション研究会 22年度の役員会議・運営会議

### (2) 研修会の企画・参加・発表

- ・平成22年度 九州・沖縄地区臨床心理士会研修会

日時：平成22年7月11日（日）10:00～16:30

場所：別府大学

テーマ「今、臨床心理士に求められるもの—認知行動療法の時代的要請—」

分科会(3)「他職種・多職種の中で臨床心理士が役立つためのコツを学ぶ

—専門職間の連携と共同—」

司会：加藤真樹子（湯布院厚生年金病院）

出口直子（別府リハビリテーションセンター）

演者：三木浩司（社会保険小倉記念病院 精神科部長／医師）

辻真理子（独立行政法人国立病院機構九州医療センター感染症対策室  
／臨床心理士）

江口美和（大分大学 医学部・病院事務部総務過安全衛生係／保健師）

野上美智子（臼杵市医師会立コスモス病院 地域医療福祉連携室室長  
代理／医療ソーシャルワーカー）

\* 実行委員会参加（加藤真樹子・出口直子）

### ・第3回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会

日時：平成22年10月31日（日）9:30～15:40

場所：はさま未来館 文化ホールほか

テーマ「暮らしを支えるリハビリテーション～ネットワークを深めよう～」

口述発表 「思春期の高次脳機能障がいに対する相談支援

～相談事例を通して臨床心理士としての一考察～」

大分県臨床心理士会・別府リハビリテーションセンター 出口直子

口述発表座長 大分県臨床心理士会・湯布院厚生年金病院 加藤真樹子

\* 運営参加（川村麻衣子、宗申也）

### (3) 医療部門主催自主研修会

#### ・第2回大分県医療現場に携わる臨床心理士の集い

日時：平成22年9月12日（日）10:00～12:00

場所：別府リハビリテーションセンター 体育館2階研修室

内容：「医療現場における臨床心理士の役割・職業アイデンティティについて」

- ・第1回医療部門＆子育て・発達支援部門合同企画研修会  
日時：平成22年12月3日（金）19:00～21:30  
場所：大分大学教育福祉科学部附属教育実践総合センター  
内容：「発達障害のある人の支援ニーズ、適応行動、認知機能  
— 最近のいくつかの発達検査の標準化作業に関わった経験から —」  
講師：佐藤晋治先生（大分大学）
- (4) 「大分リハビリテーション心理研究会」の開催
  - ・第10回研究会  
日時：5月28日（金）  
場所：別府リハビリテーションセンター  
テーマ：「脳の損傷部位と症状を読み解く力を養う1」  
事例提供者：羽坂雄介（湯布院厚生年金病院）  
出口直子（別府リハビリテーションセンター）
  - ・第11回研究会  
日時：7月23日（金）  
場所：別府リハビリテーションセンター  
テーマ：「頭部外傷による高次脳機能障害を抱える高齢女性との面接過程」  
事例提供者：中川裕也（諏訪の杜病院）
  - ・第12回研究会  
日時：10月1日（金）  
場所：別府リハビリテーションセンター  
テーマ：「動作法を中心としたリラクセーション技法」  
発表者：川村麻衣子（湯布院厚生年金病院）
  - ・第13回研究会  
日時：11月19日（金）  
場所：別府リハビリテーションセンター  
テーマ：「脳の損傷部位と症状を読み解く力を養う2」  
事例提供者：徳永裕香（別府リハビリテーションセンター）  
テーマ：高次脳機能障害のグループ訓練」  
発表者：中川裕也（諏訪の杜病院）
  - ・第14回研究会  
日時：2月18日（金）  
場所：別府リハビリテーションセンター  
テーマ：「視床について」  
発表者：出口直子（別府リハビリテーションセンター）  
テーマ：「リハビリテーション領域で臨床心理士に求められていること」  
事例提供者：宗申也（井野辺病院）

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

- ・地域リハビリテーション分野にかかる臨床心理士の職場確保
- ・他職種との交流活動とネットワーク作り

## 連絡先一覧

### 1. 県リハセンター・広域支援センター

#### ○大分県リハビリテーション支援センター（県リハセンター）

**湯布院厚生年金病院**

〒879-5193 大分県由布市湯布院町川南 252

TEL (0977-84-3171) FAX (0977-85-5880)

#### ○大分県地域リハビリテーション広域支援センター

圏域	地域	施設名	所在地	TEL/FAX
東部	東国東	国東市民病院	大分県国東市安岐町下原 1456	0978-67-1211 0978-67-3190
	別杵速見	農協共済別府リハビリテーションセンター	大分県別府市鶴見 1026-10	0977-67-1711 0977-67-1712
中部	大分	井野辺病院	大分県大分市中尾 255 番地	097-586-5522 097-586-5656
		大分岡病院	大分県大分市西鶴崎 3-7-11	097-522-3131 097-522-3777
	臼津	臼杵市医師会立コスマス病院	大分県臼杵市戸室 1131-1	0972-62-5599 0972-62-3928
南部	佐伯	長門記念病院	大分県佐伯市鶴岡町 1-11-59	0972-24-3000 0972-23-6640
豊肥	大野	帰巖会みえ病院	大分県豊後大野市三重町赤嶺 1250-1	0974-22-2222 0974-22-0222
	竹田	大久保病院	大分県竹田市久住町栢木 6026-2	0974-77-2341 0974-77-2247
西部	日田玖珠	大分県済生会日田病院	大分県日田市三和 643-7	0973-24-1100 0973-22-1269
北部	中津	川嵩整形外科病院	大分県中津市宮夫 14-1	0979-24-0464 0979-24-6258
	宇佐高田	介護老人保健施設清流荘	大分県宇佐市山本 1658	0978-33-5200 0978-33-2589

## 2. 県内専門職能団体(拡大運営会議構成団体)連絡先

団体名	事務局	TEL	FAX
大分県医療ソーシャルワーカー協会	〒879-2201 大分県大分市佐賀関750-88	097-575-1172	097-575-0732
大分県栄養士会	〒870-0912 大分県大分市原新町9-2	097-556-8810	097-556-8921
大分県介護支援専門員協会	〒870-0928 大分県大分市下郡1016-5	097-504-7500	097-504-7501
大分県介護福祉士会	〒870-0921 大分県大分市萩原4-8-58	097-551-6555	097-551-6555
大分県看護協会	〒870-0855 大分県大分市豊饒310番地の4	097-574-7117	097-545-3751
大分県言語聴覚士会	〒879-5193 大分県由布市湯布院町川南252	0977-84-3171	0977-84-3969
大分県作業療法協会	〒870-0838 大分県大分市西春日町3-2	097-547-8662	097-547-8663
大分県歯科医師会	〒870-0819 大分県大分市王子新町6-1	097-545-3151	097-545-3155
大分県歯科衛生士会	〒870-0819 大分県大分市王子新町6-1	097-545-3203	097-569-2109
大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会	〒870-0907 大分県大分市大津町2-1-41	097-558-0300	097-558-6001
大分県地域リハビリテーション医師懇話会	〒870-0862 大分県大分市中尾255	097-586-5522	097-586-5656
大分県地域リハビリテーション研究会	〒870-0945 大分県大分市津守888-7	097-567-1277	097-567-7377
大分県病院協会	〒870-8563 大分県大分市駄原2892-1	097-540-5526	097-540-5597
大分県放射線技師会	〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1-1	097-586-6010	097-586-6029
大分県薬剤師会	〒870-0855 大分県大分市大字豊饒光屋441-1	097-544-4405	097-544-1051
大分県理学療法士協会	〒870-0127 大分県大分市森町250-7	097-521-9066	097-521-9077
大分県臨床検査技師会	〒875-0051 大分県別府市鶴見字鶴見原4546	0977-27-1712	0977-27-1719
大分県臨床工学技士会	〒870-1195 大分県大分市宮崎1509-2	097-569-3121	097-567-1612
大分県臨床心理士会	〒874-8501 大分県別府市北石垣82		























	事業所名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号
479	水沼医院	876-0803	佐伯市駅前2丁目4番9号	0972-23-0123	0972-23-0206
480	曾根病院	876-0813	佐伯市長島町2丁目18番24号	0972-23-8877	0972-23-2640
481	馬場内科クリニック	876-0813	佐伯市長島町2丁目133番地2	0972-20-3344	
482	塩月内科小児科医院	876-0823	佐伯市女島7238-1	0972-20-0070	0972-20-0065
483	西田病院	876-0831	佐伯市大手町3丁目3番24号	0972-22-0180	0972-23-3053
484	西田厚徳病院	876-0832	佐伯市船頭町15番8号	0972-22-1103	0972-22-7281
485	渡辺内科医院	876-0833	佐伯市池船町18番20号	0972-23-3553	
486	長門記念病院	876-0835	佐伯市鶴岡町1丁目11番59号	0972-24-3000	0972-23-2809
487	杉谷診療所	876-0836	佐伯市西谷町5番24号	0972-22-4800	
488	谷口医院	876-0836	佐伯市西谷町2番12号	0972-22-3355	0972-23-4056
489	やぐちレディースクリニック	876-0836	佐伯市西谷町1-27	0972-20-3322	
490	志村内科・胃腸科	876-0843	佐伯市中の島3丁目2番2号	0972-25-1211	0972-25-1311
491	ファミリー歯科・こども歯科	876-0843	佐伯市中の島2丁目19番30号	0972-20-0648	
492	つつみ泌尿器科医院	876-0847	佐伯市城下西町1番12号	0972-20-3232	0972-20-3233
493	東内科医院	876-0853	佐伯市中村東町6番11号	0972-22-2916	0972-23-3465
494	健康保険南海病院	876-0857	佐伯市常盤西町11番20号	0972-22-0547	0972-23-4435
495	曾根内科医院	876-1106	佐伯市大字戸穴1515の1	0972-27-8818	0972-27-8818
496	岡本医院	876-2401	佐伯市蒲江大字蒲江浦2153	0972-42-0015	0972-42-1841
497	上浦歯科クリニック	879-2602	佐伯市上浦津井浦1400番地6号	0972-32-2320	0972-32-2320
498	直川診療所	879-3101	佐伯市直川大字赤木34番地の1	0972-58-3100	0972-58-2593
499	前田医院	879-3205	佐伯市宇目大字千束2150-5	0972-52-1010	
500	神宮医院	879-3301	佐伯市宇目小野市新徳寺2884番3	0972-54-3014	0972-54-3963





## 地域リハビリテーション 活動報告書（平成22年度版）

---

発行日 平成23年6月30日

発行責任者 大分県リハビリテーション支援センター  
センター長 森 照明

編集事務局長 久保 博明  
県リハ運営部長 佐藤 浩二  
支援連携室 日隈 武治  
" 梅野 裕昭  
" 稲積 幸子

連絡先 〒879-5193  
由布市湯布院町川南252  
湯布院厚生年金病院内  
TEL・FAX 0977-85-5880

---